滿洲日報
夕刊　十二月二十六日
發行所 株式會社滿洲日報社　大連市東公園町三十一番地

天皇陛下親臨の下に けふ帝國議會開院式

冬空の陽の光輝く日 貴族院にて擧行さる

【東京二十六日發電通】第五十九議會開院式は冬空の陽光輝く二十六日午前十一時貴族院に於いて最も莊嚴裡に擧行された午前九時頃より貴衆兩院議員は何れも大禮服燕尾服にシルクハットの禮裝にて續々登院し轉て天皇陛下には午前十時三十五分宮城御出門第二公式鹵簿にて鈴木侍從長御陪乘諸員奉迎裡に同四十五分貴族院御着便殿に入御幣原首相代理以下に拜謁を賜つた各議員は十時五十分振鈴と共に貴族院本會議場に着席會場の傍聽席には各國大公使並に武官等着席天皇陛下には午前十一時林式部長官、一木宮相の御先導にて式場正面の玉座に着かせ給ひ幣原首相代理の捧ぐる勅語を受けさせられ諸員最敬禮裡に玉音朗かに勅語を賜り斯くて德川貴族院議長は玉座に參進勅語書を拜受し茲に開院式を終らせられ陛下には便殿に入御十一時十五分御機嫌麗しく貴族院御發還幸あらせられた、次いで開院式勅語奉答文作成に關する衆議院本會議は二十六日午前十一時三十二分開會藤澤議長より十八名の勅語奉答文起草委員を指名し同三十五分休憩に入つた

開院式 勅語

【東京廿六日發電通至急報】廿六日第五十九議會開院式に賜りたる勅語左の如し

朕、玆ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及ヒ衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之レヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和六年度豫算案及ヒ各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協贊ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

外相の首相代理は 非立憲を意味せぬ

民政黨幹部の意嚮

【東京二十六日發電通】政府並に與黨では休會明け議會に濱口首相一の出席が遅れる場合は首相の意志に基き現幣原首相代理を繼續せしむることに根本方針を定めてゐるに對し政友會では施政演説の後首相の出席能否を質問し且つ幣原外相を代理せしむるを非立憲なりとして追及する意嚮あるやに傳へられてゐるがこれに對し與黨幹部の意嚮は

幣原臨時代理は濱口首相の意志に依りその名に於て上奏御裁可を得たものであるから幣原代理も自己の意志で自由に辭める譯にも行かぬし況んや他から勝手にこれを更迭せしめることは出來ぬ、畏くも　陛下の御意志に依り内閣官制第八條に依り決定したものたる以上法律上何等疑惑はない、只政治上黨出身閣僚でないので多少の不便あるは免れぬが等しく民政黨内閣の閣僚としての主義政策の實行の任に在るは勿論であり且つこれには先例もあること故議會に入つて幣原代理で何も非立憲ではない

と云ふに一致して居り少壯派に多少異論あるとは云へ首相が今十日か二十日で出席し得る以上敵を前に内輪揉めをなすべきでないとの意向に傾いてゐるので黨議一致して議會に當ると

議會對策協議

【東京二十六日發電通】民政黨の原筆頭總務は二十五日午後四時から五時迄麻布廣尾町の私邸に安達内相を、五時から六時迄赤坂の私邸に江木鐵相を訪問し今期議會に提出の諸法律案殊に減稅案、勞働組合法案、小作法案、米穀法案、婦人公民權案等の重要法案の提出に就ては其の時機を誤らざるやう政府及び與黨との連絡上に就き協議を遂げ尚休會明け劈頭政友會が濱口首相の議會出席能否問題に就き緊急質問を爲し場合に依つては首相の出席迄休會の動議を提出するやに傳へらるゝに就き之等の對策に就ては深甚の注意を拂ひ萬遺算なきを期すること等を協議する處あつた

政友會の委員長候補

【東京二十六日發電通】政友會は二十六日午前九時四十分院内に代議士會を開き森幹事長より勅語奉答文起草委員全院委員長各常任委員の氏名報告あり十時半散會した尚全院委員長及び常任委員長の候補者左の如し

全院委員長　佐々木平次郎
豫算委員長　井上孝哉
請願委員長　山下谷次
決算委員長　工藤十三雄
懲罰委員長　名川侃市

民政院内總會

【東京二十六日發電通】民政黨は二十六日午前十時半より院内に於ける初議員總會を開き櫻井院内總務より勅語奉答文起草委員の氏名を發表し委員長は正式に西村丹次郎氏に決定し牧山總務より本日若し議場において突發事件が起る樣なことがあつた場合は萬事院内役員に一任されたいと提議しその通り決定した

樞府貴院廢止案 何としても提出

兩代議士の意氣込み

【東京二十六日發電通】無產各派から五十九議會に樞密院並に貴族院廢止に關する決議案を提出する事け過般の無產黨共同委員會に於いて決定した處であるが樞密院並に貴族院廢止は憲法事項に屬することゝて衆議院の權限以外に在るため衆議院事務局が果して決議案を受理すべきや否やが第一の難關とされてゐる、依つて大衆黨淺原社民黨片山兩代議士は二十四日召集日に衆議院事務局と早くも内交涉を遂げつゝある、即ち議事課に於ては若し秘書課が決議案を受理しさへすれば問題なく議事日程に繰込む旨を回答したのに對し秘書課は憲法事項に屬するとの理由の下に甚だ難色があるので淺原、片山兩代議士は先例を楯に交渉を進めてゐるが多少形式を變更しても是非該決議案だけは提出すると意氣込んでゐる

第五十九議會成立

廿六日召集日の衆議院議場(上)同外部の光景(下)

各植民地特別會計 明年度豫算案決定

總額四億六百六十八萬五千圓 けふの閣議に附議

【東京二十五日發電通】昭和六年度各植民地特別豫算に就いては拓務、大藏兩省に於て協議中であつたが二十五日左の如く決定し二十六日の閣議に附議さるゝ筈である

豫算總額四億六百六十八萬五千圓で節約及び繰り延べ總額は二千四百三十一萬九千圓新規事業二千七百九十八萬五千圓で其の内譯左の如し(拓務省發表、單位千圓)

項目	金額
豫算總額	四〇六、六八五
經常部	三一〇、五九五
臨時部	九六、〇九〇
節約總額	一九、九一八
經常部	一四、〇五七
臨時部	五、四六一
繰延總額	四、四〇一

にして各廳別豫算及前年度との比較次の如し(單位千圓、新規增加額は前年度實行豫算との比較)

朝鮮總督府

		金額	比較
歲入	經常部	二〇七、七三八	(五、六一八增)
	臨時部	三二、三一五	(四、五八七減)
歲出	經常部	一八三、四二〇	(三、二五二減)
	臨時部	五六、六三三	

既定經費節約額 (四、三四七增)

歲出	金額
經常部節減	九、八三四
臨時部節減	二、〇九四
繰り延べ額	三、一〇五

新規增加額 一五、四〇〇

内主なるもの

項目	金額
キャベツ栽培補助	八七
畑作改良補助	一〇八
北鮮開拓調査	九五
煙草販賣直營	三、三二八
私設鐵道補助	四〇〇
窮民救助	五二五

窮民救助工事費總額約六千六百萬圓(二ヶ年に施行の事)六年度割額約二千二百萬圓地方公共團體にて預金部低利資金の借入れにより施行し右に對し國庫より補助す

項目	金額
恩給分擔金	二、八一六
災害復舊費	五八一

臺灣總督府

		金額	比較
歲入	經常部	一〇三、四九九	(一、九五四減)
	臨時部	一一、四六五	(五二六減)
	内公債金	五〇〇	(一、〇〇〇減)
	前年度剰餘金繰入れ	八、〇二三	(九三增)
	其の他	二、九四三	(三八一增)
歲出	經常部	八八、二七〇	(一六、六二增)
	臨時部	二六、六九四	(四、一四三減)

既定經費節約額

歲出	金額
經常部節減	二、六〇四
臨時部節減	二、三四二
繰り延べ額	四〇四

新規增加額 八、九八五

内主なるもの

項目	金額
恩給分擔金	二、五五〇
糖業試驗場實施費	四〇五
臺南高等工業開始費	二三〇
基隆及高雄臨港線增設費	三一六
烏溪及曾文溪改修費	八二五
淡水河護岸用堤新營費	一五〇
花蓮港築港費	四二二
移民補助費增額	一五九

關東廳豫算總額 二千二百十餘萬圓

新規增加額百六十萬圓

關東廳(單位圓)

		金額	比較
歲入	經常部	一四、五七一、六八九	二、三八五、五八八減
	臨時部	七、五九九、六二七	一、六〇六、九六五增
	内補助金	四、〇〇〇、〇〇〇	增減なし
	公債金	六〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇增
	前年度剰餘金繰入れ	二、五七四、一七四	一、三七六、一三三增
	其の他	四二五、四五三	一三〇、八三二增
歲出	經常部	一七、六五七、二七三	九〇、七〇八減
	臨時部	四、五一四、〇四三	六八七、九一五減

既定經費節約額

歲出	金額
經常部節減額	六三〇、五四〇
繰り延べ額	なし
合計	六三〇、五四〇
臨時部節減	三四一、九二二
繰り延べ額	六三四、四三三
合計	九七六、三六四

新規增加額 一、六〇八、三二六

内主なるもの

項目	金額
警察力充實費	五五、八七三
郵便電信電話事業費	一〇五、八八八
恩給分擔金	四四五、四〇四

南洋廳(單位圓)

		金額	比較
歲入	經常部	四、一三六、七三三	八三六、六〇九增
	臨時部	八一六、七二〇	七三三、五〇三減
歲出	經常部	二、六九八、〇四二	七、三九四增
	臨時部	二、二五五、四一一	九五、七一二增

既定經費節約額

歲出	金額
經常部節減額	八三、七一一
臨時部節減額	一二、三〇二

新規增加額 八二一、七〇三

樺太廳(單位圓)

		金額	比較
歲入	經常部	二二、六三〇、一三七	三、六六三、四三二減
	臨時部	一、九一四、五一八	二、四六七、四六六減
歲出	經常部	一八、五五〇、二三一	一、九四二、五〇〇減
	臨時部	五、九九四、四二四	四、二八八、三九八減

既定經費節約額

歲出	金額
經常部節減額	一、三三四、八八三
臨時部節減額	六七三、九三九
繰延べ額	二五九、四八九

新規增加額 一、一六八、九五九

豫算案審議

【東京二十六日發電通】本年最終の閣議は二十六日開院式後午後一時より首相官邸に開會植民地特別會計豫算其の他の審議を行ふ事となつた

走馬燈

犀生

第二の故郷

騷然たる人生には到る處に青山ありと云ふも、故郷、忘じ難しの念こそ唯一の憐味ある人生に與ふるものであらねばならぬ。さればにや、第二の故郷と云ふものも、相當に津々たる情趣を、そこに寄せしめらると見られぬでもない。

◇

戴季陶と云ふよりも、戴天仇なり、戴サンで通る處の、國民政府考試院長の戴天仇君は、近く日本に遊ばんと傳へられて、日本と支那との間に、何らか重要なる使命を帶ぶるが如くであるが勿論、時局から戴サンの使命はそれと推察せらるゝのであるが戴天仇君は何氣なく、たゞ第二の故郷に遊ばんがためといつてゐる。國民黨發生の歴史より見れば、日本は確に彼等の生みの親であり、その育くまれたる故郷である。戴サンの云ふまでもなく、第二の故郷として日本を見ることは、決して日支の將來に於て無意義でない。

◇

孫總理は全くコスモポリタン式であり、故郷と云ふものには餘り關心がなかつたやうであつた強て、その故郷を求めたなら、革命起義の地か、その記念すべき故郷と云ふかも知れぬ。それと均しく汪精衛君も、多年の江湖に落托せるためには、第一の故山も第二の故郷も省するに暇がないやうである。パリーを第二の故郷とするならば、汪精衛君や張繼君も、その類であらう斯うして見る時に、蔣中正君に對して、その第二の故郷が何處であるかを聞きたいと思はざるを得ないのである。

◇

革命軍北伐の達成は、種々の機運が熟したに歸せればならぬが黃埔軍官學校で育成した處の、ソヴエット式訓練が與つて力ありと云はれてゐる。それは蔣介石君が親くモスコーに學んだ賜の結果であり記念である。從つて蔣君の身邊に若し第二故郷の印象がより深く感ぜらるゝとしたら、それは確にロシヤと言ふべきであらう。併しながら最近の蔣中正には、戴天仇や胡漢民君等と均しく、日本を第二の故郷と見るやうに思はれぬでもない、ことが認識せらるゝのである。下野から亡命の間を東京に送つたと云ふ割合には、確に日本を第二の故郷とする氣分が感ぜらるゝ。

◇

伍朝樞とか孫科とか云つた人々は、アメリカとは切つても切れぬ關係があるやうに思はるゝ。そして張漢卿君にも何となくアメリカ臭が、その身邊に絡まるやうである。若し第二故郷と云つたものが必要の場合には、日本よりもアメリカを選ぶでないかとも思はれる。アメリカの地を踏んだことは絕無であるにしても、その氣分からいへば。

トロツキー 孤島で重態

【ハルビン特電二十五日發】ルイコフ去りスターリン氏獨裁の天下に返り咲きを傳へたトロツキー氏は裏海の孤島に病魔に襲はれ目下重態であると、ルイコフ氏一派の失脚で再び工業團の如き反スターリン運動が釀成しやうと言はれてゐるがスターリン氏の天下を覆へすことは覺束ない

工事部を皮切に 滿鐵の一部移轉

年内には全部一段落

滿鐵々道部裏に新築中であつた五階建の新館は内部の煖房裝置電燈その他の部分的工事も兩三日前に一段落を告げたので二十六日工事部の引つ越を皮切に近く各部からの引つ越が開始されることゝなつた、而して新館全部の室割はまだ決定してゐないが一階々部は鐵道部が占有し二階、三階、四階の一部が工事部に振當てられ元消費組合本部に封じ込められてゐた土木課及建築課も新館に引越すことゝなり工事部の引越は二十六、二十七日の兩日に終了する筈である、準備事務所六階に遠島の浮目にあつた總務部調査課も新館が舊本館かに舞戻ることゝなるが未だ新館の室割が全部決定してゐないため何れに落付くかは不明である、然し交渉部の職制改正が近く實現するので同部の擴張は當然考査課の移轉を見ればならぬまい、各部各課の移轉先については目下總務部庶務課に於て研究中であるが勿論年内には一段落を告げる筈だといふ

大連市參事會

大連市役所では明春一月七日午後一時から市參事會を招集し

一、戸別割制定規程に伴ふ定員制改正の件

を附議すると

在支邦紡 對策協議

【上海二十五日發電通】日本側紡績業者は祭日にもかゝはらず二十五日緊急會議を開き支那側の統一稅案對策を協議した結果重光代理公使より外交々涉に移す前に今一度我最後の對策を以て支那側の反省を促し何とかして局面を打開すべく最終的努力を試みるに決し在支紡績同業者會理事長船津氏は石黑(豐田紡)木村(東洋紡)兩理事と共に十六日南京に赴き宋子文氏に直接會見折衝することゝなつた

滿鐵職制變更

滿鐵交渉部の一部職制變更は既報の如く庶務課の增設でこの改正による人事の異動も現資料課長の石井成一氏が庶務課長に轉じその後任に高見成氏が就任することゝ内定してゐるが目下上京中の仙石總裁に決裁を仰いでゐる關係があるので正式發表を見るのは來年一月

田中署長赴任

新任貔子窩民政署長田中稔氏は廿六日午前十時大連發列車で令夫人同伴赴任の途に就いたが驛頭には辛島民政署長、田中市長、森本法院長を始め大連官界實業界のお歷々多數の見送りがあつた

新任挨拶

新に警務局刑事課長心得を拜命した上武氏および同課田口警部、大崎警部補、上郡山部長、齋藤、阿部兩刑事は廿六日各所を歷訪し新任挨拶をなした

大觀小觀

陛下、貴族院に親臨、第五十九議會の開院式に方り、優渥なる勅語を賜ふ。

◇

國民の代表たるもの、上、陛下の大御心に對し奉り、議場の混亂だけは御免、蒙りたし。

◇

張學良氏の山西、西北兩軍善後案、甲に厚く乙に薄しといふので殊に西北軍に不滿あり。

◇

張氏の天津滯在、かくて遷延、そこで蔣介石氏側からは例により疑眼みのあるのは當然。

◇

そこで支那の内、この政問題もま、明年に持ち越され、問題は問題として依然、殘される譯。

天氣豫報

廿七日(南西の風)[illegible]

各地溫度

	十一時	昨日最低
大連	六、三	零下二、三
旅順	六、四	同一、九
營口	二、一	同一一、一
奉天	〇、〇	同一一、七
長春	零下六、〇	同一四、三

注連屋さん張り店 けさ常盤橋筋で

俄然、絹布類の値上りに 呉服屋さんが大狼狽

トテも荒い問屋さんの鼻息 來春の仕入氣遣る

不景氣、諸物價低落と悲鳴のうちに昭和五年も暮れやうとするが、今まで釣瓶落しに半額にまで暴落した絹布類が十一月末から俄然値上り氣味となり今大連の呉服店で内地の問屋へ注文すると二割以上も高く、問屋から言つて來る値が現在市中小賣店の賣り値と同樣といふ有樣で

書入れ時 の師走を控へて仕入の少かつた呉服屋は大狼狽をしてゐる、この原因については本年七月末生絲が五百四十圓の記錄的安値に下り、八月九月に六百四十圓から五十圓を動き上り氣味となつたが、十月にまた〻百圓臺になつた、そして最近生絲の輸出が漸く殖えて現在六百五十圓から七十圓を動いてゐるが、これによつて原絲相場は約半年の間に充分に

苦い經驗 で鑑みられ綿絹の底値も知つたうへ此頃六百六七十圓と約二割上つたので、從つて織布の値にも影響を及ぼしたわけ、なほその上從來の安値で金紗銘仙等がどし〳〵賣れた爲め特に年末を控へて需要增加し內地問屋の藏は殆ど掃つてしまひこの値上りをみたものであるとしてゐる先般石川縣に約二百十六萬疋注文があつたのを始め各機業地にそれ〴〵注文があり、職工の工賃まで値上して仕事を始める勢ひで、內地機業界では昭和六年から漸々

景氣持直 しと騒いでゐる有樣である、大連の各呉服屋では大てい十月末に仕入れてしまひ特に歲末賣出しの時期でもあるので小賣値には現在未だ一般に高くなつてはゐないが、品物を賣切つて後から仕入れた分は前記の如く高くなつてゐるので漸く上り氣味の亂調子を示さうとしてゐる、右について某呉服店主は語る

事實內地問屋では高くなつてゐます、本年秋の絹物の値段は全くお話にならないほど安いものでした、小紋が格安九圓八十錢からあつて十七、八圓どまり、無地金波が九圓から十三圓なんて値で買へたんですからね、また問屋に注文したら恰度この値段で送つて來ますよ、今問屋の鼻息の荒いことつたら、當地の或る呉服屋さんが問屋の高値に驚いて

値下交涉 したところ、「直ぐ品物送り返せ」と電報でいつて來た程ですよ、來春の仕入が難しいもので恐らく絹布類は一割ところは上るだらうと私共は思つてゐます

機關車に男の生首

北崗子—濱橋の中間に胴體轉る 死因に殘される疑問

廿六日午前八時ごろ大連驛構內で機關車の入れ替へ中機關車前部の附近に五十歲前後の男の生首が密着し機關車と共にグル〳〵回轉してゐるのを驛夫が發見、大騒ぎとなり

大連署 から千葉司法主任、檢察局から高井檢察官現場に出張檢視したが、胴體は驛附近に見當らず自殺とも他殺とも判明せぬので奇怪な事件として胴體及び身元の搜査を行つた結果、胴體は北崗子と濱橋との中間線路外に投げ出されてゐるを小崗子署員が發見、胴體を取調ると哈爾濱國際觀光局發行の青島行き切符五枚を所持してゐるので、團體の一員と睨み市內支那宿を搜査して見ると監部通り六六番地天泰棧に哈爾濱吉泥河の宮玉美(三九)と妻子三人、友人二人が廿六日午前七時着列車で來連投宿したが宮玉美の姿が見えぬので不安に思てゐるとの話に、てつきり同人に違ひないと妻に

首實驗 させた結果、全く本人に相違ないことが判つた、一行は揃つて七時着列車から大連驛に後車したが何時の間にか宮玉美だけが北崗子方面に後戾りし轢死を遂げたかは今なほ疑問とされてゐる

開院式の還幸に 直訴を企て

直ちに取り押へらる 犯人は山口縣生れ卅二の青年

【東京二十六日發電通至急報】今二十六日午前十一時二十分、天皇陛下開院式を終はらせられ宮城還幸の御途次、裁判所前にて鹵簿に對し直訴狀を捧呈せんとする者あり直に取押へられた、犯人は大阪市此花區上福島九七不詳方山口縣平民吉武繁(三二)である

上海の檢疫方法

至極穩健文句はない

大連海務局あて上海檢疫處より明年一月一日より上海に入港する船舶に對し改訂せる檢疫規則を適用するとあつたが廿五日當地大汽にその大體の檢疫方法を通知して來た、即ち

一、一九三一年一月一日より上海に入港する船舶に對し訂正せる檢疫規則を適用する

一、大型客船は潮流の都合にてはその最後寄港地において傳染病の發生なかりし時又は呉淞錨地において檢疫信號を揭揚せざる場合はその儘上海埠頭に進航する事を得、但し此場合は陸上との交通を開始する以前に檢疫官の臨檢を受くるべし

一、上記の取扱ひは神戸長崎線、大連青島線の船舶も適用す

一、船醫(醫師免狀を有するもの)の乘船船舶の檢疫は省略す

一、支那沿岸航路の船舶に對しては沿岸諸港內に傳染病の流行なき限り檢疫を省略す

一、以上の便宜以下尚改良すべき事又は氣附た事は申出られたし

大要前述の如くだが右につき海務局の木村檢疫官は

大汽の方から通知があつたのでその大要を知る事が出來ましたが頗る砕けた穩健な檢疫法だからあんな位の事なら別に文句を云ふ必要はないと思ふ、何れにしても實際を見るより仕方あるまい

ますく尖鋭化する 電氣のサービス

一九三一年への前奏曲……(E) 天の川の發電所

巨大なタービンが發てる物凄い唸り聲、渦を描いて回轉するベルト此處天の川發電所の構內に漲るダイナミック美は關東州の光と動力の源泉であり、發電所を起點に縱橫に張られた何萬ボルトの高壓線は鐵骨の架柱に支へられてまことに1930年代の關東州に機械美を現出したのであつた、そうして最新式のタービンがつくり出す電力は遠く瓦房店まで供給されてゐる

◇ ◇

家庭の電化すらも近い將來に實現を約束された現今、迎へる1931年こそは電氣のキカイ文明を現出するであらう、げに天の川發電所は約束されたメカニズム文明の發祥地である

◇ ◇

現在同發電所には本年六月新たに備へつけた一萬五千キロの最新式スイツツル製ブラウンボベリー式タービンを始めとして、五千キロ及び補助機七千五百キロの大タービン三臺が活動し、永年の歷史を有して居つた濱町發電所は天の川にブラウンボベリーの大タービンが備へつけられると共に現在では漸く午後四時より同十時までの六時間夜間、補助機關として使用されて居るのみで今は殆ど天の川が一人舞臺となり、大連を始めとして遠く瓦房店方面まで州內至るところに電力を供給してゐる、同發電所の各地に送られる一日の送電量は平均廿四、五萬キロ

◇ ◇

天の川發電所の一九三一年は—現在の三[illegible]ービンの外に更に三菱製の純國產品一萬五千キロタービンを增設することとなり、既に家屋改築も終へて目下ボイラー据つけに着手してをり來年秋までには完成する筈だそうである、前記ブラウンボベリー式及び新設大タービンは何れも東洋に誇る優秀なもので滿電自慢の1931年型シツクタービンである、これ等一萬五千キロ大タービンの持つ最も優れたるものは給水加熱器の特別裝置であつて、燃料消費量の節減と完全燃燒裝置の微粉炭が燃料として使用されるため今日まで沙河口住民より散々苦情の出た煤煙にも救はれ、新設タービンによつて操作機の增加となり今後停電の範圍が縮小される、かくして1931年の電氣サービスは益々尖鋭化されて行く……

誰何されて 拳銃發射

海城驛附近で 二人組の曲者

二十五日午後五時卅分ごろ海城驛附近密行中の大石橋署員は擧動不審の支那人二名を誰何したところ矢庭に拳銃を發射し頑強に抵抗を試みたので署員は線路を隔てゝ拳銃戰を演じたが、賊はモーゼル拳銃一、ブローニング拳銃實包四挺を現場に遺留して逃走した、大石橋署では署員を督勵して犯人嚴探中である【大石橋電話】

水上署柔劍道納會

大連水上署においては廿六日午前十時より柔劍道の本年度納會を開き高點試合を行つたが優勝者は ▲劍道一等中島、二等砂田、三等荒川 ▲柔道一等神崎、二等荒川、三等河野

日本から米國へ「六段」の調べ

國際放送に出演者緊張

【東京廿六日發電通】クリスマス交驩のラヂオ放送は二十五日午前のアメリカのエヌ・ビー・シー放送の好成績に力を得て愛宕山放送局でも軍縮放送以來の國際的ラヂオの進出だと二十五日午前中から北村技術長指揮の下に準備に忙殺されてゐたが、いよ〳〵二十六日午前零時三十八分になると堀內アナウンサーが

明確な 英語で「ハロー ハロー」とエヌ・ビー・シーのボイントレースタヂオを呼出しメリークリスマスの祝辭を送り出演者の名前と樂器を簡單に紹介する、マイク前の雛壇には宮城道雄、牧園子、吉田安子の諸氏、尺八の吉田晴風氏等が晴れの國際放送に緊張して待つてゐたが、堀內氏の合圖の瞬間四氏の指は一齊にさつと動いて夜半の放送室から忽ち三曲六段の妙音が流れ有線で檢見川へ檢見川からボインレーへ、そして全米の人の

耳と心 へ、六段の曲が終ると堀內アナウンサーが再び閉會の挨拶をなしかくて零時四十分に放送を終つた

ニッポンのピアノ『琴』 米國で大受け

【サンフランシスコ二十五日發電通】太平洋を渡つて日本、ハワイ比島より響いて來る國際放送の電波は當地では午前七時から、ニユーヨークでは午前十時から極めて調子よく受信され全米のクリスマスの朝の食卓に爽かな東洋的情緒を漲らせた、六段の曲については「隨分落附いたテンポだ」とか「琴と云ふ日本のピアノはどんなものだらう」とかいろ〳〵な批評や疑問が出た、時々空電の妨害が入り受信技術上からは相當困難があつたが一般の批評は大受で最初の試みとしては成功であつた

歳晩の巷に命の總決算

『復讐して呉れ』 債鬼の居据り催促を苦にして 大工職がネコ自殺

大晦日を前に債鬼に責め立てられ命の總決算をする人々……市內二葉町八六番地大工職山口驥一(五〇)は廿六日午前零時ごろ强か酩酊のうへ猫いらずを呷り「復讐して呉れ」と口走りしつゝ覺悟の自殺を遂げた、驥一は山なす借財に苦められ、生活の手助けに妻を西田病院の附添婦に出してゐたが、最近妻の友人から年末に支拂ふからと金を借り昨今手嚴しく返濟を迫られ自殺當夜も居据はり催促を受けてゐたので、これを苦に自殺を圖つたものらしい「復讐して呉れ」と叫んで息を引取つたことは何の意味か判明せず大連署で關係者を呼出し取調中

これも借金で カルモチン自殺

『滿洲は景氣がよい』に乘せられ 渡滿した無職の男

市內山手町遠藤方の木元三郎(三九)—何れも假名—は廿六日午前四時ごろカルモチン小量を嚥下苦悶してゐるを家人が發見、手當の結果生命を取止めた、三郎は本年六月頃「滿洲は景氣がよい」といふ空宣傳に乘せられて來連、爾來就職運動に奔走したがどこも同じ不景氣で思ふやうな職なく知人の家に居候中、先月末近所の人から十圓を借りうけて鬱憤晴らしにカフエー遊びをしたが、昨今きびしく返濟を迫られこれを苦に自殺を企てたものである

列車便所から 飛降り自殺

精神異狀の支人

二十六日午前四時十分ごろ第一八列車で瓦房店、田家間を急速力で進行中、機關車より五輛目の三等客車便所の窓より線路を目がけて飛び込み自殺を遂げたものあるこ[illegible]とを聞いた車掌は、列車の田家驛到着と同時にこの旨驛長に報告したので驛長は直に驛員を驛派出所員と共に現場へ急派檢視せしめたところ右自殺者は大地で頭蓋骨を破つて即死してゐた、自殺者は山東省登州府招遠縣當時黑龍江省綏化縣生れで自動車の運轉手をしてゐた張鴻泰(三〇)といひ、最近精神に異狀を來したゝめ友人二人が附添ひ原籍地へ送還すべく來連の途中、附添ひの目を盜んで便所から飛び降り自殺をしたものと判明、死體は附添ひに引渡したがわたされた附添の友人二人は死體を眞ん中に途方に暮れてゐる(瓦房店電話)

大連運動場 氷滑場

けふから開場

大連運動場內に新設された大連アスレチツク俱樂部主管のスケートコートはいよ〳〵二十六日から開場されることゝなつた、既報の如く同コートは縱二百十五呎、橫百呎中に縱百七十呎、橫七十呎のホツケーリンクを有し夜間使用の設備がある、使用時間は每日午前八時より午後十時まで(フィガースケーティングは午後八時まで、八時からアイスホツケー)使用を許される、なほ入場券期間券小學生一圓、その他二圓、一日券十錢で滿鐵々務課、運動會及び大連運動場に於て發賣

不景氣風よ どこを吹く

だが爭へない收入減 大連三業組合三〇年の成績

呪はしい不景氣の聲に閉ざされた一九三〇年の裏を花柳界からのぞいて見る—大連三業組合の料理屋、貸席、置屋が稼いだ昭和五年度の總揚高は二百八萬六千四百十五圓といふ尨大な數字で、こゝばかりは不景氣風はどこを吹くかといふ譯だ、しかし昨年の總揚げ高に比べて見ると四十七萬五千十八圓の減少で流石緊縮時代のハンデカツプは附いてゐる、揚高の內譯は

料理屋四十八萬二千二百九十五圓、貸席七十八萬九千八百八十圓、藝妓置屋八十一萬四千二百四十圓で何れも昨年より一割以上の減收である

更に忘年會で書入れ時の本年十二月の揚げ高豫想を見ると三業を合せ十五萬五千九百九十圓で、これも昨年に比べ一萬七千三百八十三圓の減少である、何れにしても經濟緊縮から全然外視されたこれだけの尨大な金が美濃町を中心とする柳暗花明の巷に流れ込んでゐるのだ

無効パス使用

飛降りて大怪我

廿五日午後七時五十分ごろ沙河口驛西方線路上に顏面に裂傷を負ひ人事不省に陷つて居る支那人があるのを同所を通過した貨物列車機關士が發見し沙河口署に屆出でたので取調べた結果、この支那人は市內入舟町泰山寮內滿鐵埠頭事務所職員方親廣成(二〇)にて懷中には廿二日より廿三日までの汽車のパスを所持して居るところより同人は瓦房店に歸郷したが、歸連するのが遲れて所持のパスが期間滿了したゝめ無効パスを持つて乘車したため改札で發覺を虞れ沙河口驛構內に列車が差しかゝつた際飛び降りて負傷したものらしく目下大連醫院に收容し手當中

少女方に急告

「少女俱樂部」新年號—スグお求め下さいスキな附錄が四つ附いて大評判！賣切れぬ中にお早く

奇特な女學生 花賣代を寄贈

お正月も迎へられぬ貧困者にせめてお餅でけ上げたい……と健氣にも師走の街頭に立つて造花を賣つた少女—技藝女學校生徒と羽衣女學校生徒五名は廿六日賣上高廿五圓四十錢を大連署へ寄贈した、同署では健氣な女生徒の行爲を賞揚し早速貧困者救濟基金のうちに繰り入れたが奇特な女生徒の氏名は ▲技藝女學校阪本ハルエ、長岡キミ子 ▲羽衣女學校藤本タツ子、大迎節子、阪本トキエ

台所メモ 公設市場物價

品名	單位	價格	價格
鯛	氷百匁	八〇〇	五〇〇
まぐろ	同	一〇〇〇	七〇〇
ぶり	同	四〇〇	三〇〇
ほうぼう	同	一八〇	一三〇
たら	同	一〇〇	〇六〇
甲いか	同	二五〇	二〇〇
水こ	同	二五〇	一八〇
たち	同	一〇〇	〇六〇
ぐち	同	〇八〇	〇五〇
かながしら	同	四〇〇	二五〇
えび	同	一五〇	一〇〇
ひらめ	同	[illegible]	[illegible]

侠艶一代男 (150)

米田華紅作・伊藤幾久藏畫

悲戀相合傘(七)

「道玄か?」と、加賀屋の鐵太郎も苦々しく眉を寄せ「お前のやうに氣心のいゝ娘に、どうしてあんな父親があるか、俺も不思議に思つて居る、お前を前にして言ふ變な事だが、神田川沿ひの櫻の馬場前で、加州浪人依田八左衞門さまを殺害した。いやまだそれ許りぢやない。重なる惡事が露顯して、江戸市中はおろかなこと、街道筋の要所〳〵に人相書きで、手が廻つてゐる。氣の毒だが身から出た錆、長い娑婆とは思はれない」

「あい、その事なら覺悟してゞござんす」

「覺悟?」と、鐵太郎が意外と言ふ風。

「堀の藝者、叶家の一粟もその時まで、お前さんも、清さんとも、永のお別れでござんす」

漸りかれたか、ほろ〳〵と涙が頬を濡れる

「無理もねえ」と、鐵太郎はしんみりと「お前の日頃の氣性なら、さう覺悟はしやうけれど、一粟!

「二つか三つで別れて二十年餘り立派な藝者姿のあれが妹とは思はれねえ位だが、血を分けたと云ふ奴は爭はれねえ。俺ア無性にひと目に逢ひたくなつた。爺さん。これから俺が一走り妹を呼び戻してくるから、晴れて親子を名乘り合つては呉れめえか」

興膳が心からの叫びである。

「ならねえ。そりやならねえぞ」

芳五郎は烈しく首を振つて

「折角あゝして何も知られえで居るものをまたあの上に嘆きを見せるには忍びねえ。時がある。時があるよ」

「さうか?俺ア餘程このかつぎ屋臺の陰から飛び出して、道玄はお前の父親ぢやねえ。こゝに居るのが本當の生みの親だと知らして呉れやうかと、むづ〳〵してゐたが俺が身のことを思ひ返し、ジッと耐へてゐた。生じに江戸で知られた大惡黨の火の玉小僧興膳が、實の兄だと名乘つて出たら道玄を父に持つたところの悲しみぢやあるめえと思つてな。俺ア、今も云ふ通りジッとジッと耐らへてゐたんだ」

「芳松!、よく耐へてくれた。われがその氣になると、俺はもう先刻言ひ過ぎた事が悔れえ。こりやア俺の本心からの頼みだ。どうかこれからは惡い事をふッつりと止め、どこぞで地道に活してくれ!お官のお手を逃れろと、俺の口から言ひ難いが、出來ることなら、どんな山中、離れ島でも、お前が一日も長く生き長らへることを、俺ア頼む。な。芳松!頼んだぞ」と、性態もなく爺は咽び入つてたろ〳〵聲で頼んだ。

「爺さん。折角の決心をにぶらしては困る。不孝な餓鬼が世間さまへのみせしめに、俺を最後のお役に立てゝくれ」滂沱と流れる涙を拂はず「爺さん、さらばだ」「まア待てッ!芳松……!」と引留める雨の中、跡をも見ないで走り去つた。

「そりや考へ違ひだらうぜ」

「いえ、私ア前から考へぬいて居ります。あゝ云ふ父親を持つた身の不幸せより、立派な男を二人まで、思ひ思はれて、添ひ遂げられない因果に泣いてござんす。勝手なことゝお思ひか知らないが、私アお前にしろ、清吉さんにしろ、他所の女を女房に持つたと知つたなら、どのやうに悲しいことか?どうで生きては居りますまい。二人の男を思ひ詰め、一方が破れたなら一方へ行くが世間普通の慣わしでござんしやうが、私ア人と違つて居ります。そんな片意地な性の心地なら、今日までかうして苦んで居りませぬ。私のやうな女から思はれたお前も、清吉さんも因果なら、思ひ詰めて、どうにもならぬ私も因果でござんす」

鐵太郎も、あまり一筋な女心に何といつて慰めていゝか言葉に迷つて居つた。

さん〳〵と降る雨の下、悲戀を語る相合傘、鐵太郎と一粟とは、右と左からしつかりと堅く、傘の柄を握りしめ、暗に溶け込んで行つた。

「爺さん!」と、屋臺の蔭からぬッと立ち上つた火の玉小僧興膳は「今のが叶家の一粟、妹のひさだねえ!」

暗に消えて見えなくなつた後姿を、いかにも可哀さうに腕を組んで見送つた。

キネマと演藝

萬歳大會は二回興行

辨慶辨天一行

既報の如く歌舞伎座の正月興行はエロとナンセンス百パーセントの五條家辨慶、辨天一行の全國萬歳珍藝大會に確定したが、入場料は時節柄大衆を目標として特等一圓五十錢、一等一圓二十錢、市内各商店から二十錢引の割引券を發賣し、開演時間は晝間は正午より、夜間は六時からの晝夜二回興行なると(寫眞は五條家辨慶)

話

今夜陸路歸連する南帝國館主を最後に内地へ行つてゐた連中が全部歸つた賑やかだつたが、この際一つ内地土産珍表放送の夕をやつたら興行價値滿點▲その上に上海にまで飛火してゐるのだから大連映畫界も大したものではある▲夏川靜江と村田監督は三十日か元日に京都を出發陸路來連するが▲目下撮影中の大河内の浪人と「阿片」があがらないと撮影所の休みが出ないので他人の仕事をやきもきしてゐる▲嵐寛壽郎一行の實演「幕末」に琵琶が入るので大連で適當な人を物色中、一役買つて出る人はありませんか▲常盤座はけふから連鎖商店の年末奉仕で無料解放、時節柄いゝ値だなんて他館の連中が人の懷を勘定するのも年末氣分か

映畫週間準備の 撮影所訪問記 (四)

永賀見太郎

十五日

朝九時に東亞等持院撮影所に行く、全部ロケーションに出てスタヂオ内はガラン堂、天谷本社大阪支社長と小泉常盤座主を待合せて東亞の車で事務所の青山氏に送られてマキノ營業所へ、火災後新築された營業所は立派に出來上つてゐるが撮映所の爭議化した紛糾で活氣に乏しく何となく淋しい、小泉氏に釜山の櫻座觀會主を紹介される、マキノ滿男氏がまだ起きないといふので車を上加茂に馳せる神社前の菖蒲園を本據にして仁科と堀江組が附近の社家町を背景にロケーション。堀江組は「天誅黑馬隊」で紋彌が東の近藤勇に追はれて逃げ廻つてゐる。野球チームに有名な仁科組の捕手連中はヅラをつけたまゝ野球に餘念がないこの附近の社家町は例へば「逃げゆく小伜次」で千惠藏が逃げ廻つた屋敷町になる有名なロケーション地である。仁科組は寛壽郎の「鞍馬天狗」物で扮裝の原駒子と寛壽郎が出來上つてスナップを一枚。原駒子から「一チャン(早川一郎氏)によろしく」といふ傳言を聞いて北野に歸る。マキノ營業所を再び訪ふて映畫展覽會の打合せをすまして大連に來演する東と同車して帝キネ太秦撮影所へ(小泉氏は正月番組で大阪に行つた後だつた)阪妻プロ時代に較べて流石に新興帝キネの意氣に滿ちてゐるが、内部の紛糾から立花所長が辭表を提出したとか傳へられ、立花所長は出所してゐず、宣傳部の伊藤磯氏に面談そこへ朝日グラフの佐々木氏が正月物のスナップ撮りに顔を見せる、映畫展の出品を依頼して、松竹の京都撮影所に急ぐ、スタジオが設立當時の姿もまだ殘つてはゐるが、附近は家で埋まつてゐる、衣笠監督岸田秘書も不在、白井所長の顔も見えず宣傳部に出品を依頼。天谷支社長に別れて記者の友人である下加茂の旅亭「サガミヤ」の主人を訪れると原駒子と共に撮つたエロ的なスナップを見せる、こゝにも日本の聖林の權威がある、何處へ行つてもシネマの話であり、映畫人の街である京都を後に夜行で東京へ。

◇◇若者よなぜ泣くか◇◇ 文壇の耆宿佐藤紅綠氏原作「富士」連載小説の映畫化、牛島虚彥監督、鈴木傳明、岡田時彥、田中絹代主演オールスターカストで、主題歌はサトウ、ハチロー作、資本階級へ對する、其の赤裸々な諷刺は、けだし現代社會の一斷層を描くものであらう。松竹蒲田の超特作映畫【帝國館正月第三週上映】

ラヂオ

大連 JQAK 十二月廿七日午後七時

▲ラヂオ體操

▲獨逸講座(第二十課)大連語學校

講師荻榮

▲「萬歳」川田梅丸、正木ツネ

▲筑前琵琶(新琴)法祭山大賀旭檠

▲職業紹介事項

▲料理獻立

▲天氣豫報

東京 JOAK 十二月二十七日午後六時二十五分

▲放送喜劇(未定)曾我廼家五郎一座

▲ラヂオドラマ(新家庭双六)佐々木邦作嚴谷三一脚色(場景)里見君の家、或る會社の事務室、垣根の外(配役)里見君(花柳章太郎)妻繪子さん(水谷八重子)其の他、解說(柳永二郎)放送指揮(嚴谷三一)

第廿七回 滿日勝繼碁戰 【秋元氏四回勝五回目】

先番互先 秋元豐三郎氏 高本吉郎氏

●八一チの三 ○八二ルの三
●八五ルの二 ○八六ハの十三
●八九への十四 ○九〇への十二
●九三への十三 ○九四ホの十二
●九七トの十三 ○九八ロの八
●八三チの二 ○八四ルの五
●八七ヌの六 ○八八ホの十三
●九一トの十二 ○九二への十一
●九五ロの九 ○九六チの十三
●九九への八 ○一〇〇ロの十

▲清水三段講評 白八六は(い)に當て黒を(ろ)に粘がせ八七に約へるのが至當です白九四は(は)に突當り黒(に)の覗きを防がば白は九八に尖んで打てます

—【5】—

社説

反蔣軍の整理
依然として殘る支那統制上の癌

蔣張の南京に會するや、その主なる要件は反蔣聯盟であるところの山西、西北の兩軍を如何に處分するかにあつた。然るに張氏は手を拱して黄河以北を勢力範圍に入れ得ただけに、すくなくとも山西軍の善後措置を餘儀なくせられ、西北軍は中央政府の手で何とかするといふやうなとであつたらしいが、蔣氏は共匪の討伐に出征し歸北した張氏は兩軍の整理を引受けた形となつて、山西軍や西北軍の將領を召集して評定したと傳へられるが、もとく何よりも第一に必要なものは金であり、その金となるとサスガの奉天側にも難色あり、それが原因で張學良氏も容易に天津から歸奉し能はなかつたやうな次第とも察せられる。蔣氏が自分の正面の敵であつたところの山西、西北兩軍の殘始末をなさんとするのに、それを張氏に一任したといふのも結局するところは金の問題からであつた。それを引受けたのであるから厄介であるといはればならぬ。尤も奉天派の勢力は金を出しただけ擴大する譯であるが、併しヘタなことをすると却つて問題を惹起せぬとも限らぬのである。

勿論、大勢は一に歸するともいふべく、閻錫山氏にしても馮玉祥氏にしても、また汪精衞氏などにしても時代の趨るところに向つて居られば結局、敗殘者たることを免れぬけれども、さりとて過渡期である以上、敗殘者たる山西、西北その他の雜軍などが、何時、如何なる問題を起さぬとも限らぬ。傳へらるるが如く張氏の措置が石友三軍に手を觸れず、山西軍に少しく厚く西□軍に薄いやうなことから不平不滿が起り時局を紛糾せしむるやうなことがありとすれば奉天側の迷惑は勿論のこと、引いては支那の統制を攪亂することになるのではあるまいか。

尤も支那の統制といふものも明年の一月一日から撤廢するといふことを中外に發表してゐる釐金税問題の如きも長江沿岸の數省において試みに行つて、といふ程度であり、それさへ國家の元首であるところの蔣介石主席が高が地方の土匪草賊に毛の生えたやうな共産匪軍を退治に出て行かればならぬやうでは、大體の狀態は推して知るべしともいふべく、蔣氏としては男壯活潑、この上なしとも觀られるが少しく輕率の誹りを免れぬではあるまいか。それは兎にかく山西、西北兩軍の整理が張氏の手に一任せられてゐるとして結局は金が問題で捗々しく行かぬとすれば支那の統制問題も蔣張會見の當時と自ら形勢の變化を示すものといはればならぬ。眞の統制に邁進せば奉天閥を絶滅せれば徹底せぬことになり、そこに張學良氏としても撞着矛盾があり蔣介石氏としても撞着あることを承知してゐる。ゆゑに南北の統一が中途半端に停頓せざるを得ぬのであつて、その邊は例の支那流に中止落下の不得要領で當面を糊塗するより外はあるまい。それでは對外的に大きなことをいふても結局、仕方がないといふことになり、蔣介石、張學良らの面子も立たぬことになる。

反蔣軍の整理ばかりではない。支那の建設には各方面に亘つて各種の整理整頓が行はれればならぬのであるが、多年の懸案であるところの釐金税さへ長江沿岸の八省かに行はれ他は後になるといふのを見ても大勢を推するに足るべく長江の八省でも一月一日から必ず撤廢し得るとも限らず支那のことは愈よ實現して見れば豫斷は出來ぬところから察すると山西、西北の處置が明春の禍亂の因子とならぬとも限らぬ。吾人は何よりもそれを恐れるのである。それだけまた張學良氏としても些少ぐらゐの金のとなら、この際、一ト奮發して支那統制上の癌ともいふべき反蔣軍の殘黨、それから雜軍の善後處置に最善の努力を盡されんことを望まざるを得ぬ。吾人は明春において蔣張の對峙衝突を見るべしなどと不吉のことを豫言するのは避けるけれども若し張學良氏にして山西、西北兩軍の善後處分を土手にやり蔣介石氏にして共匪の討伐に失敗するが如きことあらんかそれこそ支那の統制は必ずしも期することの出來ぬことを懼めるしてて置くの要あるを思はざるを得ない。

全員總起立のうちに
滿場一致奉答文可決
宮中の御都合を伺ひ議長捧呈
きのふ衆議院本會議

【東京特電二十六日發】開院式勅語奉答文作成に關し二十六日午前十一時三十二分開會された、衆議院本會議は藤澤議長より十八名の勅語奉答文起草委員を指名し同三十五分休憩、奉答文起草特別委員會を開いて文案を決定、零時四十五分再開藤澤議長は奉答文起草委員長西村丹次郎（民）を指く西村委員長登壇特別委員會の經過を報告し委員會で作成せる奉答文案を朗讀すれば總員起立滿場一致可決議長は宮中の御都合を伺つた上で參内捧呈する旨を述べたる後

藤澤議長　島田俊雄君（政）から動議が提出されてゐます之れより暫時休憩します

と宣す時に零時五十五分、勅語奉答文左の如し

恭シク惟ルニ車駕親臨シテ茲ニ第五十九回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケ優渥ナル聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至リニ勝ヘス臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス衆議院議長臣藤澤幾之輔誠恐誠惶謹ミテ奏ス

直訴犯人に關して
政友、緊急動議提出
『甚だ遺憾』と内相報告

午後一時五十八分三度開會安達内相は議長宣席に先立ち議席を離れ一人大臣席に着く

藤澤議長　先刻島田俊雄君より陛下御還幸の際起つた容易ならざる事件につき政府は眞相を明にすべしとの動議が提出されて居りますが安達内相よりの報告があります

と告げ安達内相登壇

安達内相　陛下御還幸の際日比谷公園裏門にて拜觀者中に行動怪しきものあり直ちに引致取調べた結果何か奉書に認めたものを懷ろにしてゐた事判明し此の者は山口縣人で今朝四時…

けふの兩院

【東京二十六日發電通】二十七日貴衆兩院の議事順序左の如し

貴族院　午前十時開會勅語奉答文の決定を爲し十一時徳川議長參内し奉答文を捧呈す、其の間蜂須賀副議長議長席に着き全院委員長の選擧を行ひ徳川議長より奉答文に對する優渥なる詔勅を賜りたる旨報告して散會

衆議院　午前十時開會全院委員長の選擧を議長より奉答文に…

緊急質問打合

【東京二十六日發電通】政友會は二十六日午後零時五十分院内總裁室に代議士會を開き森幹事長より我が黨は島田總務をして左記の緊急質問を爲さしめることとしたから御諒承を乞ふと述べ異議なく決定次で議長が休憩を宣するに只動議が出てゐるからと云ふだけで如何なる動議か其の内容を說明せざるは先例に依る事であるから議長に警告を發したいとの意見出で適宜の處置を院内役員に一任することとして一時十分散會した

動議

本日の陛下還幸の際突發したる容易ならざる事件に就き政府より顚末を求む

緊急質問答辯方針協議

【東京二十六日發電通】幣原首相代理安達内相江木鐵相鈴木翰長は勅語奉答文議事に入る前大臣室に集り本日陛下の御還幸途上起つた不敬事件につき野黨より緊急質問をなすとの情報に依り答辯方針を協議した

民政代議士會

【東京二十六日發電通】直訴事件に關する政友會側の緊急質問に對する動議に對し民政黨は院内總務に於て協議の結果之を許すに決し直に代議士會に諮つた結果反對意見も出たが、事皇室に關する以上進んで國民に眞相を明かにした方が良いと云ふに決し質問を許可する事となつた

幣原首相代理天機奉伺

【東京二十六日發電通】幣原首相代理は二十六日議會散會後午後三時五十分宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付られ直訴事件に就き恐懼御機嫌を奉伺して退下した

犬養總裁天機を奉伺

【東京廿六日發電通】政友會では本日天皇陛下開院式より御還幸の途上直訴事件發生したるは恐懼に堪へずとなし午後三時犬養總裁は森總務は黨を代表して宮中に參内天機を奉伺した

山本悌二郎氏園公訪問

【興津二十六日發電通】山本悌二郎氏は二十六日午前九時五十分興津に西園寺公を訪問し政友會の談議一時間にして十一時五十分辭去會議策を述べて公の諒解を求め會午後零十六分興津發歸京した

朝鮮總督府豫算
其他植民地は原案通り

【東京廿六日發電通】各植民地豫算は二十六日の閣議で朝鮮を除く外既報の通り決定したが朝鮮の分は左の如し（單位千圓）

歳入

經常部六年度豫算總額	二〇六、三三一
前年との比較　增	四、二六三
臨時部　減	三二、三二一
公債金　減	四、六五〇
補充金　增	一、〇〇〇
	一五、四七三

歳出

項目	增減	金額
前年度剩餘金繰入れ	增	一、三六五
	減	四、六八九
		一、九一二
其他	減	九六一
計	減	一三八、五七二
		三八六
經常部	增	一八四、八五二
	減	一、八五八
臨時部	減	五三、七二〇
	增	一、四七一
計		一三八、五七二
		二八六

野黨の緊急質問は
拒否する要もない
閣議で決定の對議會策

【東京二十六日發電通】二十六日の本年最後の閣議は午後三時より首相官邸に開會、本年は本日で終り來る三十日及び一月二日の定例閣議は休み一月六日初閣議を開くことになつた、次で井上藏相より植民地豫算に就き報告決定し鐵道省特別會計豫算は本日提出の豫定の處財政整理の都合上兩三日中に持廻り閣議にて決定したい鐵道豫算に就ては嚴に閣議に報告した通り異議はないものと思ふ

と述べ此の時幣原、安達兩相は中途退席宮中に參内、鈴木侍從長と會見本日の直訴事件を報告し天機奉伺の執奏方を依賴し午後四時半退下再び閣議に列席した、之より明二十七日の議會に對する方針に就き意見の交換を爲し結局政友會方面より明日の議場にて緊急質問をなすが如き場合には其の質問の内容如何に拘らず別段拒否するにも及ぶまい質問の要旨に依り黨外大臣より之を答へる

と申合せた飜ち野黨方面より幣原首相代理が議場に臨んでゐるに對し黨外閣僚を以て議會に首相代理を爲すことは非立憲なりとし濱口首相出席の有無及び幣原首相代理を糾彈せんとするやに傳へられてゐるが政府としては萬一斯かる緊急質問あつた場合は幣原首相代理より濱口首相の病氣も漸次恢復し休會明け議會には必ず出席し得べきを關係一同信じてゐる次第であるが而して首相代理が黨外出身閣僚である爲めに非立憲なりとは考へられない這は既に先例もあり又黨外閣僚なりとも濱口内閣の主義政策を體して其の任に在る以上何人が首相代理となるも政府の主義政策を實行するには變りはない首相代理に對する野黨側の非立憲呼ばはりは全く論據なき妄論であると云ふ趣旨を以て之を一蹴する方針である尚議場の掛引に就ては年内は左程の事はなからうが萬全を期する爲め安達内相と與黨幹部間に適宜の處置を講ずるを申合せて午後五時半散會した

絶對多數の威力で
緊急質問等は一蹴
素晴しい與黨の意氣

【東京二十六日發電通】民政黨は廿七日本會議に際し政友會が休會明け議會に於ける首相出席能否問題に絡まり緊急質問その他の形式を以て動議を提出し來る場合を顧慮し院内總務にて對策を試みてゐるが

問題は來年休會明前に決すべき事柄であるからこの際かゝることを豫め說明すべき限りに非ず政友會が萬一かゝる擧に出づる時は斷然反對し絶對多數の權威を以て一蹴すべしと云ふに一致し二十七日朝院内にて更に協議する豫定である

昭和五年掉尾の閣議

【東京二十六日發電通】政府は二十六日午後二時より首相官邸に本年納めの閣議を開き昭和六年度各特別會計豫算を決定した後議會休會中に完了の要ある提出法律案の取捨政策撤揚の準備貴族院對策を中心とする對議會策代理首相を以て休會明け議會に臨む場合の法律的政治的說明方針等につき協議を遂げ四時過ぎ散會した

開院日の濱口首相
たゞ、ムッツリと默想に耽る
正月半ば頃には退院

【東京二十六日發電通】議會開院式の日病室生活の濱口首相は午前九時二十分起床と云ふ男敵振り經驚の上に坐り椅子を乘せて兇れながら家人と談笑し九時半の診斷も健康者と變りはない濱口首相は病室に鮮侖りなし本當に更生の新年を迎へると云ふ議會開會以來訪問客もウンと減つて病院は俄に寂寥の感がある、首相は相變らず無精者の本領を現はし髯も剃らず一日中南向きの窓から差し込む冬の日を全身に浴びながら只ムッツリと默想してゐる退院は正月半頃の豫定であるが鹽田博士は溫泉にでも行くのでなかつたら當分病院生活が一番よからうと云つてゐる

海員失業公債
大藏省不許可

【東京二十六日發電通】遞信省から大藏省に交渉中なりし海員失業救濟のための公債發行に就き二十六日の閣議にて井上藏相は右起債は許可し得ぬから他に何等かの財源を見出すべく折角努力してゐると報告した

朝鮮のビール
專賣案不承認

【東京二十六日發電通】朝鮮總督府のビール專賣案は二十六日の閣議にて不承認となつたが右案に依ればビール一本十六錢六厘にて買入れ運賃及び元賣捌六分、小賣一割の利益を得三十五錢で販賣せんとするもので明年度は收入なく昭和七年度より約三十萬圓の收益を擧げることゝなるものである

對米團匪賠償金で
東三省の鐵道建設
南京の一部にて計畫

【南京二十六日發電通】國民政府は全國鐵道並に北方軍事整理の爲め新發行公債六千萬元の發行を決定し二十四日の中央政治會議で之を可決通過した、細目條令は二、三日中に公布の筈、尚既報滿蒙鐵道網完成の八千萬元公債發行案はまだ具體化してゐないがアメリカの團匪賠償金九萬元を以て十年計畫にて葫蘆島築港の完備を始め滿洲支那鐵道の完成金に充當する案が有力者間に考慮されてゐる

鐵道運輸收入
五千萬圓減收

【東京二十六日發電通】鐵道運輸收入は年末に近付くにつれ益々減少の步調を早め二十五日に至つては遂に左の如く前年度より四千萬圓以上の減收を示すに至つた

旅客收入	一六、五一六、〇〇〇圓
貨物收入	二三、四九九、〇〇〇
計	四〇、〇一五、〇〇〇

を減じ而して本年一杯では五千萬圓を突破するものと見られてゐる

六千六百萬圓で
朝鮮の窮民救濟
三年繼續事業に決定

【東京二十五日發電通】朝鮮總督府では窮民救濟のため各道を主體として事業を起す事となり大藏省と折衝中であつたが二十五日左の如く決定した

資金融通方法、大藏省預金部より千五百萬圓、銀行經由四百萬圓、各道自己資金三百萬圓、合計二千二百萬圓

これを三年間繼續合計六千六百萬圓を以て事業を起す事に決定した尚朝鮮總督府より補助金として年額三十餘萬圓を交附する事となつたが次年度よりは多少增額される筈である（拓務省發表）

男女名優戸籍調べ

評判の俳優三百數十名の本名年齡から出身地出身校、親子兄弟、趣味嗜樂まで詳細にわたる三百餘頁のクラピヤ大書籍が附錄についた富士新年號は大變な評判！

全國銀行主要勘定調

【東京二十六日發電通】大藏省發表、十一月末全國銀行主要勘定調に依れば（單位千圓）

預金	一一、五〇一、七二二

で前月より二千九百萬圓を激減した、また

貸出高	一一、二三九、九七一

で預金とは反對に前月より四千二百萬圓前年同日より九千百六十八萬九千圓を增加してゐる

釐金撤廢通電
遼寧當局に到着

遼寧省政府は昨日財政部長宋子文氏の釐金撤廢に關する二十三日附通電を接受したがその要旨左の如し

財政部は中央執行委員會全體會議の議決を奉じ明年元日より釐金及び釐金に類似する一切の税金を撤廢するに決定したが之に依つ、財政部收入の損失は一年釐金八千萬元、常關税七百七十五萬元、輸入税五百四十萬元、鐵道貨物子口税三百六十萬元、郵便小包税百五十四萬元、總計九千九百三十六〇七萬元であつて、現下の金融恐慌國庫窮乏の際これを廢止することは非常に苦痛とするところである

安樂椅子

▲【東京特電二十六日發】「世間では濱口さわしを會はせたがつて居るやうだがあれが興奮するといかね、滅多なことには會はれんぞ」と口では頑張ながらその實は早く會ひたくて會ひたくてぞくくしてゐた仙石滿鐵總裁▲既報の通り一日おきには必ず帝大病院を訪問して總理の容體を聞かれば治まらなかつたが、昨日到頭念願が叶つて面會、日頃氣短な總裁だけによくも今迄こらへ通したものだと喝采り々▲そこで氣もいそくと紋服着流し姿の總裁が病室の中に吸ひ込まれると五分、十分、十五分なかく總裁が出て來ないので隣室に控へて居た夏子夫人はじめ氣を揉むことく▲約二十分經過して漸く出て來たが多少興奮し乍らもうすつかり安心の體で「もう大丈夫だ、これでワシも滿洲に歸れる」とニコく顏▲令息の巖根氏を見返り「君も長いこと御苦勞ぢやつたれ」とシンミリ言つて歸つて行つたので居合せたものは何れも感激して眼頭を熱くした

人事

▲戸谷博士、盛博士　二十七日うらる丸にて離連する

關東廳辭令（廿六日付）

任關東廳屬　關東廳譯生兼同屬　秋吉勘三

任關東廳屬　正七位　橋本一郎

特典範圍擴張
貨物の吸收策

滿鐵鐵道部は現在營口、吉海、瀋海四鐵道の聯絡運輸貨物に對する通過税その他の各税は滿鐵の便宜の爲め各驛に於て徵税事務を代理取扱はしめ且つ特産物に對しては税率を半減するの特典を與へて極力貨物吸收を獎勵してゐるが近く開始さるべき北寧、瀋海、吉海、吉敦四線の聯絡運輸貨物に對しても同様の特典を與へ各驛にて税金を代收し特産に對しては課税を半減する筈であると【奉天電話】

航空隊員視察

東北航空隊の教導隊は日本教官の指導に依り大體高等航空術を習得し近く卒業式を擧行するとになつたがその内偵察班は藤田教官に引率され朝鮮の航空隊及びその他の各軍事機關見學の爲め不日赴鮮することになつた（奉天電話）

中央擁護は名のみ
學良氏の態度露骨
事によつては北方大同團結で蔣氏の勢力に對抗

【天津特電二十六日發】張學良氏が西北、山西の將領を召集して連日會議を續けてゐるとは北方の大同團結を意味するものであり、各方面の注目を惹いてゐるが蔣介石氏は非常に神經を尖らし再三速かに歸奉するやう督促してゐる、學良氏はこれを知るや知らざるもの如く悠然として中央にして東北の主張を行はざるにおいては北方の大同團結を以て見えんとの姿勢を示すに到つた、學良氏は今や中央擁護を名に隠れて日露兩國の滿洲問題を交涉しつゝ西北、山西の將領を利用して蔣介石氏の勢力を抑へんとしてゐる

整理具體案
大評定で決定

【天津二十五日發電通】北方軍事善後問題は二十四日夜の大評定で左の如く決定實行に移ることゝなつた

一、山西軍は現在の十軍團十五萬を四軍團六萬とす

二、西北軍は現在の五萬を三萬とす

三、雜軍三萬は全部を解散す而して今後の正式軍隊十一萬を大奉天派の統制下に置く事にした

共匪討伐後雜色軍整理

【天津特電二十六日發】蔣介石氏は共匪討伐後北方各地に駐屯する雜色軍を解決すべく決定し旣に韓復榘氏の部隊騎兵第一師（師長王靖國氏）は兵匪混合の理由を以て中央軍から武裝解除された、蔣氏は正月四日頃北上し韓復榘、石友三軍を始め所在の雜軍を續々武裝解除する筈である

討共軍の給與を增額

【南京特電廿六日發】蔣介石氏は共匪討伐中士氣を鼓舞する爲め江西では部師長を嚴罰し漢口では輕旅長を拘禁し討伐軍の首領を鼓へ上らしめたが一方各首領は徐源泉、夏斗寅、蕭之楚、岳維峻氏らを筆頭に蔣介石氏に向け共匪討伐の擴張を要求したので蔣氏は漢口銀行團に三百萬元の借款を申込んだと傳へらる

北方軍整理に一抹の暗影
西北軍は滿腹の不滿

【北平廿五日發電通】張學良氏は二十四日夜自邸に西北、山西兩軍將領を招致し各個別に會見して高壓的に北方善後策として山西軍全軍を四軍に、西北軍を一軍三個師に縮小すべき旨を申渡した、これに依れば兩軍の勢力は反蔣戰中の三分の一に、現勢力の二分の一に縮小されるが、西北軍は山西軍に比し餘る步の悪い結果となり、西北軍第一の武將たる孫良誠氏は兵權を奪はれ一方に於ては實力五萬を持つ石友三軍が何等整理されず甚だ片手落ちを免れない、恐らく西北軍側では滿腹の不滿を抱くべく張學良氏が天津滯在二十日間の產物がこの偏頗なる善後策とすれば今後西北軍方面に一抹の暗影を殘すものと見らる

蔣氏昨日歸京

【漢口二十六日發電通】蔣介石氏は二十六日午前七時飛行機で歸京の途についたが正月明け再び來漢し共匪討伐並に四川問題の解決に當る筈である

【南京二十六日發電通】蔣介石氏は軍艦にて二十六日午後三時三十五分漢口より歸京官邸に入つた、氏は頗る元氣で吳稚暉、邵力子等の幕僚も同行歸京した

警察部長更迭

【東京二十六日發電通】茨城縣警察部長死去に伴ふ地方警察部長の更迭は左の如く決定二十七日發表の筈である

任茨城縣警察部長　宮崎縣警察部長	吉永時次
任宮崎縣警察部長　栃木縣警察部長	伊藤爽哉
任栃木縣警察部長　青森縣警察部長	足立達夫
任青森縣警察部長　山形縣學務部長	林信夫
任山形縣學務部長　愛知縣事務官	秋田千勝

滿鐵重役會議

【東京特電二十六日發】仙石滿鐵總裁は二十六日午後二時より東京支社總裁室に伍堂、神鞭、十河、齋藤の在京理事を集めて昭和六年…

王子製紙總會

【東京二十六日發電通】王子製紙は二十六日午後二時工業俱樂部に定時總會を開き配當年一割二分（据置）案を可決し取締役原鐵三郎氏辭任に依り文書課長一柳貞吉氏取締役となり監査役に原鐵三郎田中傳太の二氏新任を決定した

中國銀行支店大阪に設立

【大阪二十六日發電通】大阪市西區本田一番丁に資本金二千五百萬元の中國銀行設立許可を申請のハルピン同行副支配人韓振花氏は日下大藏當局と許可交涉中であるが明春早々開業の豫定で支配人は范某氏に内定してゐる

錢鈔
反動的に鈔票軟調

前場仕手關係で強調を辿つた地場鈔票は反動的に軟調を辿り再び五十圓臺に崩れた

商品
綿糸不勢
麻袋變らず

大阪三品後場引は二十錢乃至一圓安と報じたので當市見送り、麻袋は變らず

市況（廿六日）
株式
當市軟調
内地株軟弱

東西市場とも後場引は軟弱を報じたので當市新豆十錢安、錢鈔同事大新三十錢安、東新一圓二十錢安

市場電報

特産
買氣添はず一齊軟弱

羅馬御訪問の高松宮殿下

目下歐洲御巡遊中にわたらせられる高松宮殿下には十二月二十日スペインよりイタリーに入らせられローマの名所古蹟を御巡覽あそばされた（寫眞は羅馬御訪問の高松宮殿下）

本日聽報及聽報附錄を添ふ

文藝

レヴュウを語る
＝大劇場出現せよ＝（七）
酒井眞人

レヴューは、安直に、近代人の末梢神經を滿足させるので、空前のレヴュー時代を現出するに至つた。

實際日本に於けるレヴューの流行は、寧ろ遅過ぎる感があつた。これは勿論流行を助長すべき誘導劇場がなかつたことが一つの原因であつたが、又一方、これを實際に實現しようと踏ん張る人がなかつたせいもあつた。

レヴューには勿論、俳優以外に優秀なオーケストラや、贅澤な舞臺裝置が必要であり、それはパリーのムーラン・ルージュを取り入れたトーキーや、その他のレヴュー映畫によつて私達にも知られてゐることであるが、かういふ條件を考へると、レヴューはどうしても中々容易ならぬ大事業であるのだ。たゞ芝居が出來て、踊りが踊れて歌が唄へる丈けでは、本來のレヴューとまでは豪語し得ぬのである。レヴューには是非とも贅澤な舞臺裝置が必要なのである。

絢爛だとか、莊麗だとかアメリカのレヴューがいへるのも、實にその華麗極まりなき舞臺裝置によるのだ。狂亂に溺れる前に、觀客は、先づその舞臺面から來る夢幻境に溺れるのである。レヴューを助けるものは、舞臺なのである。そして舞臺に金をかけてゐる點では、パリーのレヴューも、アメリカのそれには到底及ばぬのだ。

この舞臺に金をかけることは、しかし向ふでは、一シーズンも繼續するのだから、引き合ふ譯であつて、素晴らしい當りを取つたレヴューなどになると、何年も同じものを打ち續けてゐる位だから、華麗な舞臺も意のまゝな譯である。ローズ・マリーの如きは、三年も打ち續けたといふ長期興行の記錄を持つてゐて、かうなると出演劇團の名を呼ぶよりか、劇場の名で呼んだ方が、分りが早い位である。

そして又かういふところの舞臺を踏む踊り子達は、大概座附で三年位は稽古するのである。だからこそ、眼をとめた寸法までも、描いたやうによく揃ふので、かくの如く長期興行の出來るのも、又六十何人もの踊り子達が一齊に踊れるといふのも、畢竟レヴューの爲めの大劇場があればこそなのである。

そこで必然的に、この日本のレヴューに要求される事柄は、大劇場の創設である。レヴューを革新し、本當のレヴューを創成する爲めには、是非ともこの大劇場が必要なのだ。

そしてこの大劇場に相應しい唄ひ手や、踊子達が出て來れば、日本もやつと映畫常設館的レヴューと離れた概念の、本格的レヴューを持つことになる譯だ。

試みに今臺辭の問題を捉へて見れば、歌舞伎劇に於ける女形として第一流、たとへば梅幸、松蔦を始めとして多賀之丞、時藏、秀調、福助等は、皆女に扮して舞臺に立ち、何れも隅から隅まで聞える臺辭の持主である。

これを見ても分る通り、臺辭の徹らない俳優に立女役はないのであるから、レヴューの踊り子達に於ても、結局臺辭の徹らないものは、落伍者となるのである。

しかしそれかといつて、徒らに日本のレヴューを悲觀すべきではない。既に前にも述べた如く、寶塚にも、日本劇場にも、聲樂、舞踊、臺辭等の、それぞれ長所を發揮せしめる專門研究科があつて、大劇場出現の曉、その大舞臺に立つて十分美しい本領を見せてくれるやうに訓練を積んでゐるのであるこの上は、大劇場さへ出來れば、レヴューは萬歳である（完）

飛行士（一七）
ヴ・イテイン作　浦路觀譯

彼等はしみ〴〵輕い煙を樂しんだ、つい前までは飢をしのぐ爲めに藥草か何かのやうに煙草を嚙んでゐたのであるが今は滿腹の上に充分煙を味はふことが出來た。

——愉快だなア——とチャンツエフが言つた。

——そこでさ……チャンツエフ君、プロペラーを廻して見やうぢゃないか——とエルテイシエフが力を入れて言つた。

彼等は壞れたプロペラーを廻して見た、それから貯藏したガソリンを注ぎ込んで今一度懷しそうに機械を檢べ始めた、チャンツエフは又高い所に立あがつて緊張した顏付きで何人かの信號を聞くかのやうに耳をそば立てた。

——確に飛べる——と彼は自信ありげに靜かに言ひ放つた。

彼はそれからプロペラーの破片を拾つて不時着の原因と日附とを書きつけてそれを一番高いどちらからも見える岩の角にしつかりと立てた、後で彼は今度は無電裝置の前に來てしきりに聞いてゐた。

そんなことをして又一日が暮れた。又嚴しい寒さが雪と星とに手を延ばして來た、二人は蒲團を何枚も重ねてその中に寢て更に五枚づゝ上に掛けた、石の上に寢てゐるのであるが蒲團の下には不自然な溫かさがあつた。

——君、言ふなよ——とエルテイシエフは最早夢心地で言つた。

——何をさ？——

——いや、僕が奴をファシストらしいと言つたことをさ——

——ウム、よし……——

チャンツエフは煙草をふかしながら微笑した。彼れは上衣と靴とを脫いで寢た、何時だつたか年寄のユダヤ人が汽車の中で彼をゆり起して言つたことを彼は思ひ出した、その時チャンツエフは着たまゝ眠つてゐたのでその男は履物をつけたまゝ眠る人は六十分の一だけ死んでゐるのだとタルムードに書いてありますよと言つた、甘いことを言ふと思つた、履物をはいておまけに腹が空いたまゝだつたらこれア六十パーセント位は死んでゐるのかも知れぬ、脫がなくちやいかぬと彼は思つた。

チャンツエフは又先のことを考へ出した、自分の足下に展開される世界のことを考へて見た、明日見るだらう所の世界、それは一切の物を飛び越へて最短距離を、高い天空を走つてゐる自分だ、溫かい海の上に出る、女共が水浴着を着て横たはつてゐる、褐色に色取られた山の中腹には葡萄が實つてゐる、目の前の世界は益々急テンポに先きへ先きへと展がつてゆくモーターの奏する三絃が高く鳴り響く。

山、山、そしてそれらを閉した氷、それは皆他の何人も考へたことも見たこともない未知の光景だ

明日は今日のやうに又あの黑い鐵色のユンケルが飛んで來るだらう、そして又大きな柔かい包みを落してくれるだらう、その中には新しいプロペラーが入つてゐる……。

チャンツエフは煙草も吸ひ飽きて寢返りを打つた、それから暗闇や淡い光線やの交錯してゐる中で靜かに目を閉じた。

彼は安心して靜かに睡つた、父に抱かれて自分の後には大きな、力強い、親切な保護者のついてゐることを知つて安心して眠る子供のやうに（終り）

「雪崩」その他
——ジャック・フエデイのこと
大庭武年

巓峰には雪が過青に輝いてゐるけれど、然し麓村には平和な春の陽光が溢れ、村人は咲き亂れた高山植物の花の間を屈託もなさゝうに野良に通つて行く——斯うした明媚な瑞西山村を背景に、牧歌調豐な物語が、天才少年俳優ジャン・フオレストを中心に抒情詩の如く繰展げられたあの名畫「雪崩」（原名——子供の顔）を諸君は觀られたであらうか。私は若し出來るなら此映畫を三度迄觀た私の感激を諸君に告げたい。又若し何人かゞ私に「嘗て觀た最高の映畫は？」と問ふたならば、私は直に此映畫を擧げるに躊躇はしないであらう　それ程この映畫は私を惹きつけた　キャメラの良い畫なら、ストオリイの良い畫なら、アクテングの良い畫なら私は他に幾編もの優れた映畫の名を擧げることが出來るだらう然しこれ程迄に綜合的な映畫美で私を魅了した映畫を、私は他に擧げることが出來ないのである

藝術に限らず、その國柄といふものはどんなものにも著るしく反映するものであるが、實際此の映畫なぞを觀ると、フランスの作品でなければ見られない味が沁々と感ぜられる。そしてなほ、映畫を製作監督者の全人格（才能、個性、性格、教養）のよき反映物とするならば此の映畫は、ジャック・フエデイでなければ示し得ない味を沁々と感ぜさせてゐた。

私は「雪崩」を觀て一度にジャック・フエデイの心醉者になつた　そして次々と發表される氏の作品に限りなき憧憬の念を寄せた。然し、私が氏を知る以前に封切られて了つたのか、又は輸入せられなかつたかして、私の渇望に拘らず遂に私が見る事が出來なかつた次の三本、即ち「女郎蜘蛛」——1919「クランクビーユ」——1922「成り上り者」——1928等は別として「雪崩」——192[illegible]「面影」——1925「カルメン」——1926「テレズ・ラカン」——1929等は幸ひにして、一度乃至二度は沁々と觀賞する事が出來た。決して惚れた欲目ではなく、私の氏に對する期待は一度として裏切られた事はなかつた。例に依つて氏の自然に對する詩情は「面影」に於てはオーストリアの地方色を「カルメン」に於てはスペインの高原地帶を自由にキャメラに求めさせた。そしてそのワン・カット、ワン・カットは詩のスタンザの如く美しく相關聯して一篇の抒情長詩を生んだ。

又氏の針の如き纖細な心理描寫のリアリズムは「雪崩」を極致として他の孰れも他人の追從を許さぬ鋭明さ、深刻さを示し、又氏の持つ運命觀上のニュアンスは、特に「面影」ドイツで撮つた「テレズ・ラカン」等に著るしく認められるが如く、その畫面に妖氣な含んだ陰を醗漂はせた。

私は氏をロマンテストであるとするには異論はないが、然し氏が徒らにリリシズムのみを追求する詩人であると考へる者には反對したい。氏は常に人間の宿命を凝視めてゐる。人間の性格のどうにもならない悲しいもつれを眺めてゐる「愛慾と性格の相剋」「運命と死」は、氏の一貫した暗い人生觀らしく思はれる。

映畫雜誌を久しく手にしない私は氏の近狀を知る者ではないがニユースによると、氏の渡米第一回作品「接吻」が近く日本に公開されるとの事である。必ずや刮目に價するものと期待される。なほ聞く所によると氏はまだ若いさうである。氏は先輩アベル・ガンスやエプスタンやレルビエに決して負けぬ未來性を有してゐる。氏の將來にこそ「雪崩」以上の作品が期待さるべきかも知れない。

此の一文は折にふれ別段の理由もなく成つた隨想であるが、私は讀者の中にも必ずや隱れたるジャック・フエデイ宗がゐるものと信じ、敢てそれ等の諸君と共にひそかに氏を可憐しまんと考へたのである。

追記——最近當地常盤座に於ける「テレズ・ラカン」の映出方法は筆者をして憤激さすのに十分であつた。心なき業ではある。

スタヂオ風景
白藤愛光

所長——。

能率といふことのみを朝から晩まで考へてゐる人種。

そして次に賣出すべき女優に就て熟慮する。然しA子は彼の待合行に賛成しなかつた——その理由で端役から一歩も出さず、Bは彼のウインクに心よく答へたといふ結果から準幹部に昇進の辭令を出す。

所長とはまアそんな役である。

◇

監督——。

全地球上に絶讚を買ふやうな大作品が創つてみたいと一樣に誰もが考へてゐる。

幸か不幸か、そんな映畫はたゞの一本も創られない。

如何に經費を節減し、如何に時日をカットするか、それにのみ腐心する。

先づ配役が決定して、その主役女優と遠出の一泊を樂しむ——そんな餘得でもなければ、迚も歩に合はない職賣と。

◇

男優——。

大會社の大幹部とまで月俸が百五十圓級。であるが故に、いつも金持の後家かなんぞをパトロンとして物色する。

毎月下宿屋の支拂ひに困惑し通して、たまに地方の撮影旅行に汽車の一等待遇にノホホンと收まりかへり、この時とばかり威張り散らす。

配役が悪いとゴテる。色男役をやりたがる。女優とすぐクックツ。不良少年上りでないとても出來ない職賣である。

◇

助監督——。

カントクの小使兼給仕なり。

◇

女優——。

處女を護つてゐるやうでは、到底ワンサから一歩も出られない。今日本で一流と謂はれてゐる人たちは、皆揃つてそれぞれ、特殊條件を具備してゐる。

最近梅村蓉子がその消息を暴露して了つた。

朝にAに嫁ぎ、夕にBと試す、まさかそれほどでもないけれども彼女等は概れカントクと結婚する。それが最高の安全瓣だからだ。

その例外の人はたいてい、シネマ・ブルヂョアの事何號がある……と思つてい。

◇

字幕人——。

原作者の間違つた臺本の文字を修正しないでその儘書いて了ふ。故意にだ。月給が安いから妙なところで仇を討つ。

◇

脚本家——。

月々の責任脚本に苦勞する。獨創がない。地方から送つてよこす無名作家のシナリオを、良い部分だけ切り拔いて、それをいくつも繼ぎづけにして一つの筋を構成させる。それが特作品——。

そして誰もか自分の職業を呪つてゐる、それほど惨めな役廻りである。

◇

撮影者——。

撮影師の味を表現しやうとすればカントクと喧嘩になる。何れにしても縁の下の力持だ。撮影所で一番損な役所。唐澤弘光だけは別。

◇

黑んぼ——。

大切な俳優が、危險な撮影をする場合、遠景にしてその替り役をさせられる。水へ飛込んで一圓五十錢の手當。勿論會社から生命保險にも傷害保險にも加入させない。死んだら金一封で追拂はれる。

條件がむづかしいやうに、この黑んぼも、お役俳優に酷似してゐないと不可ない。だから志願者が多くても成功する者が少い。今東亞で賣出してゐる争秀人は、死んだ目だまの松ちやんの有名な黑んぼだつた。

◇

撮影助手——。

カメラを擔いで廻る人足。

◇

大部屋女優——。

臨時待合御用職人。

探偵小說　D市の暗殺事件（六）
瀧銑三郎

さて事件のあつた日の三日前から私は持病のために寢込んでゐました。此れは私にとつて非常な苦痛だつたのです。なぜと云へば、丁度其の頃出來た、妻の新らしい相手青柳新之助との秘密の遊戲を見て樂しむ事が出來なかつたからです。處が事件の前日、より以上の心配が私の枕元へ飛び込んで來ました。それは無名の主より一振りの青龍刀が送られて來た事です　貴方とは御存じないかも知れませんが、某方面の手先となつて働いてゐる秘密結社紅巾會では或る人物を暗殺せんとする場合には必ず其の當人、又は最も身近の人物に青龍刀を一振り送る事になつてゐるのです。私の場合、此れは淺親王暗殺の前ぶれである事は勿論の事です。私は其の青龍刀を秘かに私の部屋にかくしておいたのですが何かのはずみに藤澤秘書が其青龍刀を手にしたものと思はれます。從つて當然彼の指紋が殘つてゐたのですが、事件後現場にあの青龍刀が發見された際、藤澤秘書が嫌疑を受ける動機となつたのです。では何故其の青龍刀が現場で發見されるやうになつたか、それは後に御わかりの事と思ひます。

心配と焦燥に驅られた私は遂に其の翌晩、つまり事件當夜、眞夜中に親王と相談する爲病軀をおして庭へ出たのです。御存じでせうが私共の居る庭から親王の寢所へは庭を通りぬけて行かなければならないのです。

處が私が庭の中程まで行きますと、其處で實に意外なものを見たのです、何と其處で私の妻と現在主人の淺親王とが密會してゐるではありませんか、いかに變態的になつてゐるとは云へ、私も相當腹にすゑかねずには居られませんでした。

しかし、これも今になつて考へて見れば、私がもう少し二人に近づいて居たなれば、此度の此事件をもつれさせずとも濟んだかも知れなかつたのです……何故なれば、私や妻が花井氏から突き込まれたやうに當夜は闇夜で見たとは云ふものの、ハツキリ二人のしてゐる事を見るには餘りに暗過ぎたからです。

とにかく私がいきを殺らして二人の樣子をうかゞつてゐる時、私と反對側の木陰から一つの影がスツと飛び出して來るなり、親王の横腹へ短刀をブッスリ突き込んだのです。

しまつたッ……身に寸鐵を帶びてゐない私は大急ぎで部屋に飛んで歸りました。そして持ち出したのが例の青龍刀です。

再び庭へ飛び出して見ると……

勿論犯人がいつまでもそこに居やう筈がありません、それに私の妻の姿も見えないのです。唯親王の死體が横にわつてゐるのみです。

處が親王の死體を引き起した私は二度びつくりさせられたのです

……」

と急に花井氏が口を出した。

「殺されてゐたのは親王の服をつけた青柳新之助だつたのでせう」

「えッ」今度は私が驚かされた。

「さうです、親王ではなかつた。新之助だつたのです。そこで思ひついたのが、新之助の首を切りおとして、かくし、あくまで親王が暗殺されたと云ふ程にする事です

……」

「で貴方は青龍刀で新之助の首をおとした。が、不注意にも其の青龍刀を現場に忘れた。處がそれには藤澤秘書の指紋が殘つてゐた。それは何故藤澤氏が證明しなかつたか？ それは青龍刀の持主が戀人の父である事を知つて居る彼としてはどうしてもそれを云ふ事が出來なかつた。そこで持つて來て淺江夫人の自己防禦の爲めでたらめの證言があつた。で藤澤氏が犯人と云ふことになつたと云ふ譯ですね」

まくし立てる花井氏の言葉に對し、松本老顧問は一々肯定するのみであつた。

其夜例のバーで、私は花井氏に云つた。

「どうして始めつから殺されたのが親王でないと云ふ見込みを立てたかね」

「解らないかね。人殺しッ……と叫んだのは日本語だ、わかつたかね、親王は支那人だ、いくら日本語を使ふと云つても、あの咄嗟の場合日本語が出るはずがない、もう一つは淺江夫人の假證だ。夫人は、一度假證をしらべておくとよかつたのだよハハハ」

× × ×
× × ×

花井氏の慨で、日本名にかくれ潜み或計畫を進めてゐると聞いてゐた淺親王も、遂に病にはかてず、業中ばにして斃れたと花井氏の使ひにあつた事が私に此の手記を書かしめる事になつたのだ。（完）

滿日各地版

哈爾濱

お約束に觸れねば何も構はぬ
鐵道問題に餘り神經過敏だ
宇佐美所長の話

滿洲の鐵道問題は最近神經質的に各方面に報道されセンセーションを與へてゐるが、これにつき宇佐美所長は

內地で騒ぐ程のものではない、滿鐵は支那鐵道のために包圍狀態となり貨物を吸集され殆ごそのため鐵道收入は激減し瀕死の有樣だとみる向も多いが、第一內地では北滿と南滿の領域がはつきりしてをらぬらしく、吉林から

會寧線をも北滿の部に入れるものもあり、長春を北滿としてゐる人もある、そして吉海、瀋海、洮昂、四洮等が運賃を割引し貨物を吸集してゐるので滿鐵は全く苦境に陷つてどうすることもできないやうに傳へるのはチト早計である、中國鐵道が借款の元金利子も支拂はずごこまでも資本をかけない鐵道であるため割引をするさいふならばイザ知らず、年限が經てば新らしいレール、機關車車輛も替へねばならず購入するには資金を要し、かつ借款の元利金を決濟するさなれば到底現在の

銀安による鐵道收入にては行き詰つてしまふことは瞭である、來年一月十五日南京で全支那の鐵道會議を開くのも、其の理由は交通の統制も主なる點だが何でも銀安の運賃率でしかも舊いタリフだからこれを改正せねばならぬといふてゐるから當然運賃を引上げる肚裏で會議を召集する考へであるから運賃率は現在よりも高くなる事であろ、さうでなければ支那鐵道は自滅するより仕方がない、從つて一時的現象の支那鐵道銀安運賃に對して

滿鐵が 競爭的態度にでることは地方の共同資源開發のために良い結果を齎すものでないそれが合理的のものならばよいたさへば鐵道の集貨策により經費を節減しそれだけ運賃を安くするさいふことは研究せねばならぬ問題である、尙內地で騒がれてゐる東北交通委員會の鐵道網政策——北滿の新鐵道敷設さいふが如きも本年一ケ年間にいかなる新線ができたかさいへば僅かにチチハルから克山に至る廿五キロの延長が竣工したに過ぎぬ狀態である

中國が 東北四省間に鐵道を敷設することはそれが日中協定、條約に抵觸しないものならば支那はごしごし新線を敷設すればよい、兎に角神經過敏にならぬことこそだご思ふ

哈市輸入組合の擔保貸出不成績
非常な不便に原因

[illegible]、三梱賣約し小口打出をしようとすると先づ輸組の承認を得て正隆に現金を持參しその許可を得てから國際の倉庫に到り小出しをするといふ有樣で銀行は午前九時から午後二時の營業時間なためごうかするさ其等の手續を經るのに一日を空費し自然機を逸し中國商人の

購買力 を阻害する結果となり、このため輸組への擔保を直接國際の倉庫を利用し金融を講じてゐるのであるさいふのである、この點が改革せられない限り擔保貸出の便宜は全く有名無實であると

いや驚いた日本の不況
軍司顧問談

內地からこのほど歸來したハルビン滿鐵事務所顧問軍司義男氏の印象談

兎に角十年振りで日本にかへつたので東京なごはすつかり樣子が違ひ銀座街の一路にはいつてごちらが北か南かさへ判らぬのに驚いた、日本の財界は極端な不景氣で一例をいふと三越の如きも顧客は多數つめかけ食堂の如きも人でうづまつてゐる景氣だが、總體的の賣揚高はと聞くと何でも二割五分乃至三割の減少だといふ、絹布類の如きも好況後の時價として半額以下になつてゐる、各方面の深刻なる生活苦に思想的傾向も左翼化してゐることは事實である、一女事務員を雇ふとの廣告が出ると百有餘の希望者が殺到する狀態で[illegible]の恐しいストーム來たと警惕せしめる、誰でが全然變つてゐるのでみるもの聞くもの一つとして愕きの種であつた、それに東京、大阪目拔の場所に貸屋札が橫に張られてあるのが眼につき、家賃の如きも家主の言ひ値ではいるものはないさいふ有樣でごこまでこの現狀が續くか豫測できない

お醫者も不景氣

不景氣のせいか各方面では緊縮、節約、節儉の聲でいづれも一つの品物を購ふにも手控える有樣である、そのためでもあるまいが無くてならぬ醫師の收入まで半減し景氣が惡いと病氣まで緊縮するのだらうといふ、その代りに賣藥が賣れるかといふと平常よりは矢張り三分の一は賣行が惡いとあり、大體の病氣は我慢するためであらうと年末大賣出しもこのため例年にない不況である

嚴寒の北滿には兒童保健が第一
先づ運動をさせやう

放課時間だらう校庭の銀盤上には大きい黑いまりをほうり投げたやうに兒童が飛んでゐる、スッーと風を切つて辷つて行く勇ましい姿、嚴寒零下廿度、眼鼻を切るやうに痛い、太陽の光も微いスケート場に活躍する兒童の元氣のよさ——をながめて校長室にはいつて來た白髮校長は語る

大體に元氣で運動をしてゐますが南滿さちがつて腺病質系の血色の惡い子供が多いので父兄保護者の人々と相談して肝油を與へてはと目下御意見を伺つてゐるのです、公主嶺では感冒のため全校生の大半が感染し休校してゐる狀態ですからできるだけ豫防法について家庭とも連絡をとり子供の壯健といふことに注意せねばならぬと思ひます、最近催しました母の會も主としてそのためでしたがこれからは各シーズン毎に會を開きたいと思ふのです、たとへば春先とか夏の如き疫病豫防の必要がある際に會を開く考へですが皆さんの熱心に嬉んでゐます、來年度の卒業生は高等科が二名で一名は師範入學の希望で他は家庭で働くとのことです、五、六年生中から男女生約三十餘名が中等程度の學校へ入學する希望ですが入學には滿洲ではやはり學校の內申が一番效果的ですれ、大阪では內申制のために弊害を現はしましたが、先生の罪ですよ、先生さへしつかりしてなれば內申はよいと思ひます

——と眞の我子が入學するやうに今から校長は心を惱ましてゐる樣子がチラツと見える——來年の新入學生は男女とも約八十餘名です、學級は本年度同樣十一學級でやつて行かねばなりません——と言ふ、校長室の硝子戸棚に見事に陳列する衛生、學術其他の[illegible]が就任以來の努力で補充備したらしく識別レッテルが光つてゐた

露支電話權會議の露代表

東鐵の露支電信、電話權會議はデニソフ副管理局長が病氣のためモスクワに歸還したので一時停頓してゐたが、デニソフ氏の後任代表として電信課長メルズーロフ氏が任命され、委員として次長が就任した、これによつて近く交渉を續行することに決定した

バルコニー

ソウエート聯邦の滿洲における輸入——ダンピングの實質について調査したのは總領事と副領事の二つ▲ところがその數字がマルキリ反對で總領事は一ケ年分の統計か、副領事のが半ケ年分かの判別がつかぬといふ▲同一の調査資料に二重の數が出るのだから中村調査主任は眼を丸くしてゐる▲愕いたのは中村さんばかりではない聞いたバルコニー子も調査といふものの甚だしいに魂をつぶした▲これでは領事と副領事の腕比べといふことになる▲机上の調査ではない實地調査は仲々困難なものにて候？

北京村今＝昔
顧問全盛時代
辻野朔次郎氏談

村の生立

[illegible]滿朝の有識者の間に政教の改革が、唱へられ、先づ改革の第一として國民教育から改造せねばならぬと氣付いた、如何にして氣付いたかと云ふに、日本の維新からヒントを得て、國民の、重大なる事が悟つたからである、それで先づ第一着に教育にするには日本に學ぶを得策とする人々が多くなつた。

村の住民

[illegible]三十六七年に亘つて盛んに[illegible]の教育家を招聘した、その[illegible]が北京村の戸數は一大飛躍をなし、戸數一一六戸、男子三三七名、女子一二二名となつた、是等の人達は主に教育家であつた、その當時警務學堂は川島浪速氏之を監督し、教習は全部日本人で占めて居つた、それから、京師大學堂には服部宇之吉博士外九名が教職を執つて居り又京師法政學堂には巖谷孫藏博士を始め外五名、更らに、京師法律學堂には岡田朝太郎博士外四名、その他、陸軍測繪學堂には岩永義晴氏外五名その他藝徒學堂に十七名、八旗高等學堂第一師範學堂農事試驗場、北京税關等にも多數の日本人が招聘されて居り是等の人々の總計六十五名を越ゆる勢ひであつた、斯くの如く北京村も一時は教育方面に於て却々勢力のあつたものだ、この時代を稱して教習時代と云ふべきであらう。

▽——△

更に一年を越えて明治三十七年には一六二戸、男子三五六名、女子一六八名で合計五二四名を示すに至つた、ところが三十七八年の日露大戰に依り、一時北京村の人口は減つたのである、その原因は北京に在つて多少支那語を解し支那事情に通じた者は相踵いで通譯等として滿洲に去つたからである、此の結果三十八年には一〇八戸になり、男子二二二名、女子一六九名で合計三九一名となつた、女子が減らないで男子のみ減つたのは男子が滿洲に行つた結果である、それから一年を過ぎ三十九年に至つてはや、殖えて戸數は一二九戸男子二七七名、女子一九五名、合計四七二名になつた。

▽——△

四十年に至つて更に殖え一四八戸、男子四一七名、女子二六七名で合計六八四名になつた、斯んな工合で北京日本人村は北清事變で開け、日露に依つて發展の緒に就いた、教習時代の全盛は光緒三十四年卽ち光緒の末年に至つて了つた、是は西太后と光緒帝の相繼いでの崩御と共に南方に於て革命運動が盛になり、淸朝が動搖を來した結果である。

▽——△

それで北京村も宣統一、二、三の三ケ年の間は非常に淋れた。然し教習時代の人々は減つたが、商人や事業界の人達は殖えて來た。

▽——△

それから愈々革命が成功して民國元年となり、民國の基礎がやゝ固まるに及んで教習時代に代るに顧問時代が擡頭して來た、民國二三年頃から七、八年迄は顧問時代と稱す可きである。

▽——△

その招聘された顧問連中は、大總統府には軍事顧問として靑木宣純中將、鐵道顧問には平井晴次郎博士、通信顧問には中山龍次氏、財政顧問に有賀長雄博士、財政顧問に常吉德壽、川田貫道の兩氏が居り、それ他諸機關に多くの顧問が招聘されてゐた、此の時代を稱して顧問時代と云ひ得るであらう

村で最も古い銀行は橫濱正金銀行支店で、明治三十六年頃から開かれてゐる、又村の銀行としては天津銀行支店がある、會社には三井三菱、大倉、等の支店及滿鐵公所日本鐵道省の辦公處等がある、數年前迄は古河公司、住友公司等の支店もあつたが今は無い、その他所謂土着の商店は可なりの數に達してゐる、病院には同仁會の經營になる日華同仁病院があり、廣く日華兩國民の間に一視同仁の主旨により仁術を施して、大いに村人に安心を與へて居る。

安東

メリケン粉で銀貨を僞造
……すると稱して詐欺

鳳凰城邊郡南松面龜頭洞一〇一八李日賢(三七)は貨幣僞造の妙技を有するが如く吹きかけて利慾な鮮人から金を捲き上げた事が發覺し安東署に捕へられたが連累者として李の友人三名も相前後して擧げられ目下取調べを受けて居る首謀者李日賢は連累者の金總額以下を夫々手先に使ひメリケン粉又は木炭等を藥品だと欺罔しこれを練つて五十錢銀貨をメッキするさて手品師の如き手段で巧に本物の五十錢銀貨とスリ換へ甘く僞造が出來た風に裝ひこれが資金として現金を提供せしめたものだが被害者は同地の利慾者三名で捲き上げた金は八十八圓に上つて居る

郵便事務延長

安東郵便局では現金出納の多忙な歲末に迫つたので公衆の便宜を圖る爲め特に二十五日大正天皇祭の休日を廢し午前九時から正午迄爲替貯金振替貯金等一般現金受拂事務を取扱つたが二十八日の日曜日も前同樣取扱ひをなす筈

リンクに注水

大和小學校では數日前より校庭に設置せる氷滑リンクに注水を行つて居るが二十五日全部の注水を終る筈である同リンクは約百五十米突程度の滑走が出來凍結の曉には可愛いスケーターで同リンクは大賑はひを呈するであらう

高橋貞二氏就任を承諾
競俱後任會長

安東競馬俱樂部は創立以來事毎に紛糾を續けてゐた爲め創立以來同俱樂部會長たりし荒川六平氏は圓滿なる諒解の下に會長を辭任する事となり高橋貞二氏を後任會長として推薦した結果過般開催された同俱樂部總會に於ては滿場一致を以て高橋氏を推薦したが時恰も同氏は歸鄕中にて同氏の歸安を待つて幹旋役たる藤平、中川、瀬ノ口三顧問より就任方交渉を開始したるも同俱樂部紛糾の後の事であり暫く就任方を承諾せざりしが二十四日各方面よりの切望の爲め就任方を承諾した就正式就任は荒川現會長旅行中に付き歸安を待つて兩氏より發表の筈

水道事故激減

近年稀なる暖かさで鴨綠江の凍結も明年であらうと觀測されて居るが地方事務所水道係は此の暖かさの爲め水道事故がなく冬季に入つて僅に凍結事故四件にすぎず同係は非常に閑散である、今後も一層注意を拂つて事故の發生を未然に防いで貰ひたいと語つてゐた

集金を橫領

去る十九日安東署刑事が市內大和橋通大和旅館に於て僞名投宿の擧動不審の內地人男を認め本署に引致取調べるとこの男は原籍熊本縣熊本市無職住所不定の田中某(三一)にて本年二月頃まで撫順印刷所に勤め約二ケ年間に亘つて同所の集金を約二千六百餘圓橫領全部遊興に費消し發覺を惧れて同所を辭め同地の洋服店より新調の背廣を買ひ求め代金を支拂はずして出奔各地を流浪の揚句當地に來り大和旅館に投宿したもので當局に於ては業務橫領詐欺罪として目下引續き取調中である

警察武道納會

新義州署の武道納會は二十三日午後一時より擧行し劍道及柔道とも個人並高點試合をなしたが來賓の參加もあり盛會であつた當日の入賞者左の通り

▲劍道 一等加茂、二等鄭春山、三等金奎煥、四等三瓶
▲柔道 一等鈴木、二等柴田、三等今田、四等田中

宮代校長赴任

安東高等女學校教諭宮代周輔氏は今回長春高等女學校へ轉任する事となり二十五日午前の列車で單身赴任し家族は明年三月當地を引揚げる筈尙後任としては撫順高等女學校教諭小川讓太郎氏が近日中着任すると

大麻雀會を開催
五地方の同好者を糾合
本社煙臺取次店の迎春催物

本社煙臺取次販賣店に於ては迎春の催し物として沙河、十里河、煙臺、張臺子、煙臺炭礦等の各地同好者を以て煙臺炭礦クラブに於て大麻雀會を開催することに決定しました、優勝者には本社及取次販賣店より賞品を贈呈いたします、尙大會期日其他は追つて發表する筈であります

四平街

更新の生花大會
一般の生氣を添ふべく
本社四平街支局の新春催し

光輝ある昭和六年を迎ふるに方り本社四平街支局は全市各階級の夫人達を網羅して一月十五、十六兩日新裝成れる驛前輸入組合事務所階下に於て生花大會を催すこととなつた、生花大會は各流生花の出瓶を歡迎し興新の氣に燃ゆる市勢に一段の生氣を添ふる筈である

四洮列車の襲擊事件
多數の犧牲者を出さん

去る九日四洮列車の馬賊襲擊事件は所管警備區域である梨樹、昌圖の兩縣長並に公安局長及公安分局長以下の警戒不充分にして斯の如き大椿事を惹起せるものなりとて目下奉天警務處に於て嚴重に責任者を審議中なりといふが問題が重大なるだけに責任者の範圍も相當擴大するならんと見らる

震災義捐金

靜岡、伊豆地方の地震罹災民に對する義捐金申込は純地方人二百四名にして金額二百〇九圓八十八錢、これに滿鐵側を合計すれば四百八十七圓八十八錢と云ふ數字に達した

市井雜俎

四平街キリスト敎會所屬日曜學校は廿六日午後六時より滿鐵俱樂部に於て例年の如くキリスト降誕祝賀會を開く▲盧洲骨を碎るきのふ午後四時頃昭平橋畔に一見勞働者風をした年齡四十歲位の支那人の男が凍死してゐたが、地方に身寄りのない者かあの寒い吹き晒しの橋の袖にいつまでもコロがしてあつた▲國際支店のタイピスト佐藤芳子さんと谷口龍次郎氏のお孃さんの二人は輸入組合の聯合賣出しで白米三俵と西陣お召一反の一等景品の籤を引當てゝ嬉しいやらキマリが惡いやら綺麗な花のかんばせに時ならぬ紅葉を瀉へてゐた

鄭家屯

元旦の行事

鄭家屯居留民會の元旦行事左の如し

(一)午前十時 小學校新年祝賀式 領事館御眞影拜賀式
(二)午前十時半 [illegible]
(三)午前十一時半 鄭家屯ホテルに於て新年互禮會

民會役員認可

鄭家屯領事は昭和五年十二月廿二日附を以て昭和六年度民會役員を左の通 認可した

▲會長稻田、架裟義▲副會長、山口雄造▲會計主任岩崎鐵平

菅野氏引揚

特產商として又は民會副會長として日支人の信望を鳩かりし菅野高治氏は今般都合に依り四平街に引揚ることゝなつたので二十三日各方面を歷訪挨拶した

長春

各學校御眞影

聖上陛下の御眞影を捧持した太田滿鐵會社學務課長は二十四日二十時三十分着列車で來長した、同課長は官民多數の奉迎裡に驛貴賓室に入り御眞影を奉置、直に御下賜の光榮に浴した長春高等女學校、長春商業學校、室町小學校、西廣場小學校の四校々長は貴賓室に伺候、太田課長より夫々御眞影を拜受し出迎への職員生徒等と共に歸校し御眞影室に奉安した、尙御眞影は各學校長より貴賓室にて學務課長まで奉還、同課長は同夜二十二時發列車で南行した、官民の奉送迎の外に憲兵隊、守備隊の護衛があり嚴肅莊重を極めた

大正天皇祭

大正天皇祭遙拜式は二十五日午前十時から長春神社境內において執行、官民多數參列型の如き式次嚴かに十一時式を閉ぢた

各校正月休み

各學校の樂しいお正月休みが來た長春市內では左の日時である

▲商業學校、高等女學校 十二月二十五日から一月八日まで▲室町小學校、西廣場小學校 十二月二十八日から一月五日まで

奉天

商埠地に强盗頻々
居住民脅ゆ

廿四日午後六時半ごろ南市場石炭商福順號に强盗二名現はれ脅迫の上金品を强奪し逃走した、最近商埠地には强盗被害事件が續發するので支那側公安局でも必死となつて搜査中であるが、賊團はいづれも警戒網を潜つて逃走するので同地居住民は戰々兢々としてゐると

新城子附近に又も馬賊

この程新城子附近に大馬賊團現はれて以來同地方居住民は戰々兢々としてゐるが又もや廿四日夕新城子を西北方に距る二邦里の支那部落大孤家子、黃固子に約二百名より成る馬賊團が現はれ盛に掠奪を行ふため同地方居住民は不安に堪へず新城子附屬地內に續々避難し來り、同夜までこれ等避難民が二百名も押しかけて來たとの急報により奉天から守備兵一ケ小隊並に奉天署から織田巡査以下二名同夜新城子に急行し同地を嚴重警戒してゐると

全滿飲食店聯合會長問題

大連飲食店組合長兼全滿飲食店聯合會長である桑島氏の辭任問題に關し撫順組合長と出連し大連組合と折衝を重ね廿五日歸撫せる白石撫順飲食店組合長は語る

桑島氏と直接面會して色々辭任された事情につき聞き又全滿聯合會長の後任も桑島氏以上の人物を推すから承認して貰れわかと組合側の方針を聞いたが、自分は斷然桑島氏の留任を主張したため大連側は役員會を開いて打合せをなすことになつてゐたしかし更に大連組合側と會談したところ別個の人を會長に推したる態度に出たので自分は聯合會には少からず助力してゐる桑島氏を一期でもよいから會長を勸め双方とも可成り硬化したがその中桑島氏を相談役に推すことに妥協成り桑島氏も承認したので歸つて來た

人事

▲柳澤少佐(奉天第三十三聯隊第三大隊長) 千葉步兵學校入校のため二十八日離奉の筈
▲草川少佐(同第二大隊長) 二十八日着任
▲谷口大尉(同第三大隊第十中隊長) 三重縣名賀農學校服務のため廿五日夜離奉大連經由赴任
▲加藤特務曹長(第卅三聯隊留守隊附) 廿六日安奉線にて離奉赴任
▲守中淸氏(大連醫院長) 廿五日大連より歸奉
▲米澤安東領事 二十五日大連より來奉
▲田中新義州署長 二十四日夜歸任

同情の金品

市內松島町峰八十一氏は金百圓を、隅田町十一番地竹內繁夫氏は百一圓十二錢ほか子供衣類數點を何れも貧困者救濟のため奉天署に屆け出た

藤村領事歸省

奉天總領事館藤村領事は亡夫人の遺骨を携へ廿五日十五時二十五分發安奉線で鄕里大分に歸省したが約三週間で歸任の豫定である

震災義捐金

豆相地方の震災義捐金は奉天に於ても續々集つてゐたが奉天署でも廿五日を以て一先づ打切り廿六日集つた金七百十三圓六十六錢を關東廳に送付した

瓦房店

御眞影奉還と奉戴

瓦房店小學校に御眞影を御下賜になつたので廿四日午前十時二十分小學校々庭に職員、兒童は勿論、各所屬長、地方委員、新市街在住有志、新聞記者等集合、最敬禮の下に中條校長舊御眞影を奉じ猪田警部補前衛、小野寺所長、佐藤署長後衛沿道警戒、諸員奉送裡に十時五十分奉還、更に新御眞影を奉戴、小學校に奉還したが莊嚴として堅なく謹嚴其儀であつた

危險な賣藥

越中富山市丸一泉藥舖販賣に係る賣藥通じ丸は劇藥を多量に含有してゐるので關東廳に於て服用を禁じ且つ賣藥を差押へて居るが約二百二十餘袋に達した

モーターサイレン出來あがる

附屬地警備用及毎日の正午を知らしむべくモーターサイレン吹鳴に關しては先般來地方事務所に於て機械の購入に付內地方面に交渉中なりしが幾多の應照を重ねて今回漸く到着したので直に警察署々屋上に取付けた、試驗の結果は良好である、今月中は試驗、元旦より正式にならすが吹鳴方法は毎日正午の時報と、次は火災その他天變地異の非常事變とを在住民に報知せしむるので前者は一分間長鳴後者は一分宛三回に區分して吹鳴する事となつた

大石橋

大石橋小學校に下賜の御眞影

恙なく奉迎還を終る

旣報の如く御眞影の奉送迎に當つた谷口校長は二十四日午後零時三十七分谷口校長御眞影を捧持して安置せる校長室を出づるや、林警部補は先驅警衛の任に當り河內地方事務所長大津警察署長、橋本司法主任、齋藤憲兵所長、增田地方係長、伊藤地委議長その他官民有志多數參列し全校生徒は中央通りに整列し奉送申上げ、驛―學校間の通路の要所々々には警察官の嚴重なる警戒ありプラットホームに着御間も無く急行列車到着無事奉還、新御眞影を奉戴し谷口校長恭々しく捧持して校內に安置し恙なく奉送奉戴を終りしは午後一時であつた

地方委員有志懇談會

二十四日午後三時より地方事務所會議室に於て公會堂改築に關し場所その他を協議し、なほ地方委員は奉天より豫て廻附し來たれる委員選擧に關する規則改正問題を討議し終つて忘年會を日本館に於て催し八時過ぎ解散した

滿鐵社員俱樂部落成式

七時より小學校講堂に於て第三回修了式を擧行するさ

鞍山滿鐵社員俱樂部は新築中の處いよく完成したので二十七日午後四時三十分より有志多數を招待し落成式を擧行するさ

非常消防演習

鞍山製鐵所の非常消防隊は二十九日非常消防演習を實施すべく目下計畫中であるが三十日より一月七日までの休業中は特に火氣に注意されたしさ

石川醫長博士に

鞍山滿鐵醫院內科醫長石川精一氏は博士論文提出中であつたが二十五日博士論文通過の報に接したさ

四氏の退團宴

鞍山實業青年團では今年定年に達し退團する植田團長外伊藤益太、野尻瑞一、伊藤春治の四氏は廿五日午後六時より實業會本部に於て團の役員二十數名を招待し退團に際し開宴したが頗る盛會であつた

富永次長招宴

鞍山製鐵部次長富永能雄氏は二十五日午後二時から新聞記者數名を自宅に招き談話、圍碁、將棋等の競技を爲し懇親宴を催したが盛宴であつた

鞍山

消防出初式七日擧行

鞍山消防隊では恒例により新年の消防出初式は一月七日午前十時より構內に於て擧行する豫定である

御眞影奉安

鞍山小學校及中學校に新に奉戴する御眞影は二十四日十四時四分着急行列車にて到着したが驛頭には富永次長、上田大隊長、井之上局長、地方委員、實業青年團、小學校生徒、中學校生徒等數百名の奉迎者中ホームに整列した太田驛長先頭に日向校長、矢澤校長捧持して林所長、松木署長、小山田憲兵隊長等護衛し一般奉迎者最敬禮裡に驛を出で警察官の先驅にて自動車にて小學校、中學校の奉安殿に安置せられた

大正天皇祭

鞍山神社では二十五日午前十時より大正天皇祭遙拜式を擧行せられたが多數の參拜者があつた

青訓所修了式

鞍山青年訓練所では二十七日午後七時より小學校講堂に於て第三回修了式を擧行するさ

田園地帶を旅して

滿鐵沿線に働らく人々

—(二十七)—

生波難

大石橋附近には工業用の鑛石が多い、就中滑石やマグネサイドなど、歐洲戰爭の與へた刺戟によつて、鞍山製鐵所が出來、內地の紡績が發達した當時から、我も我もさ採掘に從事したが、南滿礦業會社や、滿州公司も大石橋に出張所を置くやうになつた、今は一時ほど盛んでないが、驛發送貨物中の重要品は矢張りマグネサイドだ、卽ち昭和四年度の統計を見るさ礦物(マグネサイド)一七、三三五六噸、石材一三、九一七噸、生石灰一、九四二噸、栗一、二九七噸、棉花八二八噸などだ、この外到着貨物では石炭八九、七七〇噸、高粱五、五六九噸、麥粉二、四四五噸、大豆二、〇四九噸、木材一、九六〇噸、コークス一、六四五噸、鹽類一、一七二噸が重なる品目であつた、猶筆のついでに目下の人口を擧げるさ、附屬地內に於て、日本人五六四戶、二、四〇八名、朝鮮人十戶、六三名、支那人二七五戶、一、六一四名だが別に接續地に支那人が二、四六三名居る

〇―〇

時間の都合で營城に立寄ることが出來なかつたが、私には思ひ出多い土地だ、其處には守備隊の外に軍馬班があつて、駿野輜重大尉が四五年間馬匹の硏究に從事して居た、奮桑名藩出身の眞面目な武人だが、支那馬に就ては確に一權威であつた、君は之が爲に蒙古に探險旅行を數回試みたが、馬の話になるさ徹夜しやうさ厭はぬ

歐洲戰爭は武器の發達を證據立て、從來重要視された騎兵の能力は消滅した、日露戰役で露軍を惱ました哥薩克兵も、速射砲の連發に逢ふては敵はない、況んや自動車、タンク、毒瓦斯が出來、空には飛行機、飛行船が縱橫に飛び交ふに於てをや、然し馬匹は益々必要になつた、キャプテン、ヘエスが歐洲戰爭は人の爭鬪であり、同時に馬の爭鬪であつたといつたが、誠に眞理だ、唯だ騎兵が廢つて馬が必要になつた、隨つて馬の標準が違ふ、速力よりも持久力に重きを置くやうになつた、輜重さ傳令、速力を無視するではないが、强健第一には、この點國風の類馬型は駄目、この點古を發祥地さする支那馬は理納だ、殊に背の低い脚の短い本人向だが、私は蒙古旅行に依つて益々その長所を經驗し……さ語る

〇―〇

それだけ君は總に馬匹を調査し……

獨逸語講座

第二十課

c) 紹介	
Darf ich Sie mit Herrn Greiser bekannt machen?	グライゼル様＝御紹介致シマセウ
(Dies ist) Herr Greiser!—(Dies ist) Herr Kimura!	(之ハ)グライゼル様—木村様
(Herr G.: Sehr angenehm, Sie kennen zu lernen.)	G氏：ドウゾ宜敷
(Herr K.: Ganz auf meiner Seite.)	K氏：私方コソ宜敷
Es ist meine Ehe, Ihre werte Bekanntschaft zu machen.	宜敷御願申上マス
Wollen Sie die Güte haben, mich Ihrem Freunde vorzustellen (mit Ihrem Freunde bekannt zu machen)?	失禮ですが僕を君の友人に御紹介下さいませんか
Mit Vergnügen! (Dies ist) mein Freund Herr Takahashi, (dies istmein Freund) Herr Ikeda.	よろしい僕の友人の高橋君之れが池田様
d) 辭去	
Ich wage nicht, Sie länger in Anspruch zu nehmen. (Wir dürfen Sie nicht länger belästigen.)	餘りお邪魔してはなりませんから
Aber bitte, bleiben Sie doch noch ein bisschen; Sie halten mich ganz gewiss nicht auf.	まあ、何卒、今暫く、いゝぢやありませんか少しも邪魔になんかなりませんよ
Habe die Ehre, (mich zu empfehlen.)	では失禮さして頂きます
Bitte, bemühen Sie sich nicht.	何卒、御かまひなく
Leben Sie wohl! (Aufwiedersehen!)	御機嫌宜しう(さよなら)

遼陽

新年初諸大會

鞍山滿鐵醫院の院內新年祝諸大會は一月四日午前九時より三階廣間に於て開催する豫定であるさ

阪元理事歸鞍

鞍山輸入組合理事阪元藤三郎氏は鐵嶺、四平街、長春、奉天等に取引狀況視察出張中であつたが二十六日用務を終へ歸鞍した

小學校自治會

遼陽小學校では四年生以上の生徒をして自治會を組織せしめ學校內に於ては勿論放課後は家庭さ聯絡して風紀、體育、衞生、學藝等の向上を圖つて居るが最近學藝品展覽會に於て其の成績著るしきものあり引續き三川訓導が主さなり冬期休業中にも實行せしむべく廿三日午前十時から自治總會開催左記項目の行方につき協議した

一、風紀に關する問題(1)氷上で物を食べぬ事(2)休暇中敎室に入る時は必らず當直敎師の許可を受くる事(3)夜おそくまで起きて居らぬ事

二、體育に關する問題(1)休暇中家庭にのみ居らず時々外出して(2)なるべく外氣を吸ふて運動する事スケートの練習をなす事

三、衞生に關する問題(1)外出先より歸宅の時は必らず含嗽する事(2)食物を食ひ過ぎぬ事(3)夜寢る時は寢衣さ着換へる事

四、學藝に關する問題(1)一月二日には書初めをなす事(2)趣味的方面を伸ばす事(3)新學期登校の際は俳句、圖畫、手工、綴方等を出す事

開原

恐るべき密殺肉行商者入り込む

開原署に二名檢擧さる

最近當開原市內に密殺肉を行商する者あり警察署にて嚴探中の處隣接地より入り込める行商二名を檢擧したが右は密殺肉を以て作れる生餃子を行商する者である、この種の肉中には霍蟲さ稱する人體中に入り榮養を害するサナダ虫さ化する虫及び胞蟲さ稱し之を食する時は發熱し一命を失ふに至るが如き恐ろしい虫も含んで居る、各自大いに注意して僅かな値段の違ひに釣られて恐ろしい密殺肉や密殺肉で作つた饅頭等を買はぬ樣に又斯る行商人を發見次第公衆衞生上直に其筋に屆出られたいさ

兩校の御眞影

二十四日午後五時開原小學校に奉安の御眞影は永野校長捧持、川崎所長同乘自動車にて開原驛に着驛接室に小憩之れより先驛上りホームには驛長室北側に軍隊南側、在鄕軍人分會、小學校、後列に職員、官民一般奉送迎者の順位に整列し列車の到着を待つた、午後五時十四分定刻到着御眞影を奉還申上げ新に開原小學校に御下賜の御眞影は永野校長、昌圖小學校に御下賜の御眞影は瀨川昌圖校長奉戴し川崎所長付添ひ諸員最敬禮中を通過驛長室前より自動車にて小學校に奉安申上げたこの間御通路は警察官によつて警衞された、また廿五日午前八時五十六分第十三列車にて昌圖小學校へ御下賜の御眞影は瀨川校長捧持、川崎所長附添ひ阿部警部補外一名警衞同乘同九時三十三分昌圖驛着、小學校生徒軍人分會、官民一般有志の奉迎裡に直に小學校に奉安申上げた

吉林

大弓部

非常な成績

吉林大弓部は本年初めて開いたにも拘らず部員の熱心さ師範の親切丁寧の指導さに依りてメキメキさ上達したので愈々沿線を試驗中であつた滿鐵道場の石原一弓齋範士の立寄りを煩はして居る沿線よりは遙かに成績良好さの事であつた、發表された有段級者は次の通りである

▲二段林大八▲初段三ケ島伊作、遠藤梅三郎、江村武次郎、大高和三▲一級工藤正次、山崎保之丞、上杉策、芝元正次郎、堀梅治、米田喜一、寺尾民雄、細井時之助▲二級岩島勇太郎、平尾芳治郎、町田喜三▲三級石橋啓利、花田牛三郎

右の樣な成績であるが、部員は目下此處來春迄待つて居るを好ます最近は名古屋館の地下室に於て點燈して盛んに練習を續けて居る、因に會費は電燈料、的張代さして月一圓を徵收して居る

滿鐵公所忘年會

吉林滿鐵公所山崎保之丞氏は豫て病氣入院中の處此程退院し二十一日から出務したので吉林公所も氏の退院で一段さ活氣を呈して居る、濱出公所長も氏の退院を見たので非常に喜び早速二十四日忘年會を催した

水道稅免除の請願

扶餘縣前省議會議員傅心一及び同縣商務會長田瑞符等の一行六名は二十一日夕來吉し該縣の水道稅當分免除のため省政府に請願したさ

大賣出し活況

吉林商店聯盟の大賣出しは奉仕的大廉賣のため豫想以上の景況にて旣に福引券の不足を感じたので、今回更に多數の福引券を追加し一層景氣よく大賣出しを催すことになつた、因に從來の十等以外の景品はマッチの外に封筒、ちり紙、鉛筆等をも加へることに改正した

警官年末學科試驗

吉林總領事館警察署にては廿二、三の兩日部長以下の年末學科試驗を施行したが何れも頗る良好な成績にて午後四時終了した

人事

▲省政府委員並農鑛廳長馬德恩氏は滿般赴奉中のさころ二十二日歸來した

▲農鑛廳技正張春恩氏は先般紅密……

旅順

歲末氣分漸く溢れる

日一日さ押迫る年の暮に旅順警察署では晝夜の別なく密行張込等の特別警戒に從事し事故防止保安警察の徹底に努めつゝあるが、これがためか玆數日來は石炭泥棒一人さへ無き平穩さ態にて……

▲滿洲公所長濱田有一氏は二十六日頃公務のため長春四平街方面に出張するさ

山火事

二十四日……三十分ごろ旅順管內羊頭窪屯九八四官有林に山火事……つたが同十一時鎭火した燒積約二千町步の枯草で損因不明目下調査中

新年用洋食皿盛

……町食堂キムラの新年來客用洋食皿盛は二圓より五圓までのもち注文を受けてゐるが、……の腕利きが趣向を凝らした皿は歡迎を受けてゐる

不老不死 仙遊記

(八十一)

竹內克己

淺枝次朗畫

甘きは男よ(一)

その夜、樂しかつた女さの思ひ出の妄想に惱まされ、まんじりさもしなかつた温公子は、女からの品々が氣になり、朝起きるさすぐ女の手紙を繰返しくて讀んだり黑髮の香をにほいで見たり、女の靴にじーつさ見とれたりするのであつた。

お午近くに苗の禿が「又やつて來ましたよ」さ云ひながら部屋に這入つて來た。

「今日は斷然あなたに最後の話をしますがね、もしあなたがあの女さほんさうに手を切らるお考へなら昨日の品物は返してやつて下さい、金鐵を可哀相さは思はないんですか」

「あんなもの燒いてしまつたよ」

「アハヽヽ、まあそれはそれさしておいて、一寸來て見て下さい」

温は何事かさ思つて隣りの室へ行くさ、其處には澤山の色々のご馳走の贈物が並べてあつた。

「こりやなんだね」

「實はね、屋方の親方が二日前から私のさこへ來ましてね、あなたにあやまつてくれつて言つてゐるんですが、それでこのご馳走を……」

「僕の家にこんな穢らわしいものはおけない、早く持つて歸つてくれ給へ」

「ほんさにあなたは酷い人だ、金鐵もあなたは情がきついさ云つてゐたがほんさうだ。親方が態々遠路をかついで來たのに、又持つてかへすなんて……」

さ言ひながら苗の禿は外に飛び出していつたかさ思ふさ、この時旣に門の前まで來てゐた親方の鄭三を書齋に引つぱつて來るさ、親方の鄭三は、温公子の前に跪づいて頭を地にすり伏して何かくどくどとあやまる。

温「オイ、オイ、そんなにしなくてもいゝ、まあこゝへ腰掛けたまへぢやないか」

親方「それでは失禮さして……す。誠に何さもはや、私どもの不調法やら、私どもは申し譯もございません。……そこの處をご勘辨下さい……つまらぬものでございますが、お收め下さいませんか……どうぞ……」

温「そんなに言ふなら……う。君んさこの穢の……お立ちになつたそうだ……」

親方「それをおつしやられますと穴へでも這入りたい氣……ます。私んさこの穢の……の他にはございません……んさうに……」

温は厭い氣持もせず……僕に片付けさせ、持つ……のものには心付けさへ……親方「、體今度のこさ……の奴が惡いので、旦那……りを受けるし、それや……の中は娘さの親子喧嘩……くして居るさいふ始末……

日本郵船出帆
歐州行 ｛但馬丸 一月七日 / だあばん丸 一月九日｝ 漢堡行 / 李浦行

近海郵船大連出帆
神戸大阪行 ｛淡路丸 十二月卅一日 / 勝浦丸 一月六日 / 相模丸 一月十三日｝
天津行 ｛勝浦丸 一月二日 / 相模丸 一月七日｝
基隆高雄行 第二養老丸 一月二日

朝鮮郵船大連出帆
青島仁川行 會寧丸 一月四日
仁川、長崎、鹿兒島行 ｛羅南丸 一月十二日｝
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽車汽船出帆日時は天候其他の關係に依り變更することも有之候
水路圖誌「海圖」販賣所 キユーナード汽船會社
近海郵船株式會社 大連代理店
朝鮮郵船株式會社 大連代理店
船客業務代理店
日本郵船株式會社 大連出張所
大連市山縣通電話 ｛三七三九番 / 七八四六番 / 六七一二番｝

高橋汽船大連出帆
專屬客荷取扱店 大連市監部通吾妻橋
丸二商會
電話四二二六四・五八八八
命令定期大連芝罘線
芝罘行 福壽丸 十二月廿八日午後一時
代理店 松浦汽船株式會社
大連市加賀町三〇
電話六一一七・六一一八番

大阪商船出帆
門司、神戸、大阪行前十時出帆
うらる丸 十二月廿七日
香港丸 十二月卅一日
ばいかる丸 一月三日
はるびん丸 一月六日
上海福州基隆高雄行 ｛長沙丸 十二月廿九日 / 福建丸 一月七日｝
後三時出帆 盛京丸 一月廿一日
朝鮮經由長崎鹿兒島行 ｛關東丸 一月二日｝
北米シヤートル、タコマ行 (上海、神戸、四日市、横濱經由) ぱりい丸 二月八日
紐育行(神戸、四日市、横濱經由) 船客御斷り 關東丸 一月十六日
歐州行 ｛上海、香港 / 新嘉坡經由｝ 船客御斷り あるたい丸 十二月卅日
天津行 ｛貴州丸 十二月卅一日｝
天津沽灘江頭 佛租界埠頭 繫留 河南丸 十二月廿六日
横濱直行 ｛武昌丸 一月七日 / 貴州丸 一月十二日 / 一月五日｝
大阪商船株式會社大連支店
電話四一三七番
乘船切符發賣所 ツーリスト・ビユーロー
大連伊勢町案内所(電五五五四)
同 大山通出張所(電七〇三四)
同 沙河口出張所内(電九五〇六)
營口案内所(電三七〇六)
撫順案内所(電二五四八)
奉天案内所(電一九一四)
長春案内所(電一三九三)
哈爾賓案内所(電四七八八)
乘船切符取次所 滿洲旅館協會
專屬荷扱所大連市濱町電三六八二番
大連市山縣通
國際運輸株式會社大連支店
電話三一五一番
ニホーム荷扱所(電話四八〇二番)
當社左記の店所にて荷物發送引受內地各港行連絡引換證發行致ます
奉天、營口、公主嶺、鐵嶺、開原、四平街、長春、吉林、哈爾賓其他

日清汽船大連出帆
青島上海行 ｛唐山丸 一月十三日 / 華山丸 一月四日｝
午前九時出帆
代理店 大阪商船株式會社大連支店
電話四一三七番
專屬荷扱所(大連市山縣通)
國際運輸株式會社大連支店
電話三一五一番

島谷汽船大連出帆
南鮮裏日本北海道行 ｛大成丸 一月十四日 / 鮮海丸 一月廿六日 / 長成丸 二月八日｝
寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽、各等客室設備あり
鹿兒島、武豐、四日市、名古屋行 明石丸
島谷汽船株式會社大連出張所
大連市山縣通一五三
代理店 大三商會
電話四七二一・三四八二

阿波共同汽船
芝罘、威海衛、青島行 ｛共同丸 第十六 十二月卅日 前十時｝
芝罘行 ｛共同丸 第卅六 十二月廿六日 前十時｝
芝罘、威海衛、仁川行 ｛共同丸 第廿六 一月三日 後七時｝
芝罘威海衛青島行 ｛共同丸 第廿一 一月二日 後七時｝
天津行 長山丸 十二月卅日
滿鐵さは貨物連絡取扱致候
大連市山縣通二〇〇番地
阿波國共同汽船會社大連支店
電話六八九一・五〇〇一

大連汽船出帆
青島上海行 ｛奉天丸 一月三日 / 大連丸 十二月廿八日｝ 午前十一時 長春丸 一月一日
天津行 ｛天朝丸 十二月廿七日午前九時 / 濟通丸 十二月三十日午前十時｝
天津沽灘航 天潮丸 一月二日午後一時
登州府龍口行 龍平丸 十二月廿九日
名古屋行 東嶽丸 十二月廿八日
阪神行 五大星丸 一月五日
香港廣東行 千山丸 十二月廿七日
大連汽船株式會社
電話代表番號四一八五番
專屬荷扱店(大連敷島町)
永和公司
電話七二七五・七八六八
阪神航路專屬荷扱店(大連須磨町)
澤山兄弟商會
電話長五二六五・四六八一
乘船切符發賣所(大連伊勢町)
ジヤパンツーリスト・ビユーロー
電話五五五四・四七一三番

にんしんあんま
乳もみ其他腰痛手足の痛む御方樣は御來堂下さい
ハリ灸、マツサージ、あんぷく
胃腸に病むお方は
大連市美濃町二五電話六六八八
辨天堂 主 風呂崎

銅化粧 口中香劑
銀粒仁丹

大增量
十錢包(八十粒)を百五十粒に增量
二十錢包(百六十五粒)を三百二十粒に增量
容器附三十錢包(二百五十粒)を四百粒に增量
德用五十錢函(五百五十粒)を一千粒に增量
德用瓶入壹圓(新發賣)は二千二百粒入

仁丹活用
音聲を使ふ時　運動散步の時
船車旅行の時　食前食後
宴會喫煙の時　口中惡臭の時
惡疫流行の時　疲勞倦怠の時
氣分惡しき時　集合觀劇の時
執務勉强の時　訪問接客の時

この年でも寒さ位にゃ負けんよ
トツカピン

急告
トラツク 客車 運轉手養成
每月一日開始
大連市北大山通十四番地
日華自動車研究所
電話二一〇六一番

三井保險
火災、海上、運送、自動車
契約高の多少に不拘御電話あり次第係員参上御相談申上ます
三井物產株式會社大連支店
大連市山縣通 電話代表七一〇一・一八一一番

大連工業株式會社
專賣特許 **耐寒防水覆布**
セル地 冬背廣三揃服 金二十二圓以上
冬學生服、外套
自動車用レザー 巾七十五吋モノア
洋服・家具 室內裝飾
大連市橋立町二 電話 八四四一 二一六一 八一二六

おしらせ
味覺百パーセントはていの勉强振り
階下の座敷でお手輕に
御晝食 五十錢　御會席 一圓
外に期節物、一品料理いろいろ勉强
大連市濵町帝國館筋
電話八五〇九・八七五六番
はてい

正高 健胃強肺
日露丸
一家の守護藥
主人の慢性腸カタル、坊やの胃腸
私の肺病が治りましてからずつと
一家の救生藥として常用して居ります
傳染病豫防の至寶
定價 五十入三十錢 二百入一圓 四百五十入二圓
賣る所の藥店にあり
本舗 東京 山田賓生堂
發賣元 大連 日本賣藥會社

登錄 商標
亞鉛引平板
亞鉛引浪板
地球獅子牌
品質本位の地球獅子牌亞鉛引平浪板

營業課目
鐵材、鋼板、管、棒、「I」「コ」異型鋼
眞鍮、板、棒、管、線、燐銅
亞鉛引針金、平浪板、釘、試力板
建築材料及耐火煉瓦
錫、鉛、亞鉛 ニツケル、アンチモニー バビツトメタル
電信、電話用機械及各種材料

本店 大連市監部通四十九番地
株式會社 **大信洋行**
電話代表六一四一番

支店出張所
奉天 大西邊門外路南
哈爾賓 道裡新城大街
長春 城內東三道街
錦縣 城內東街
天津 日本租界桃山町
大阪市 南區安堂寺橋通三丁目

敢てガツくする譯ではないが
味の素の美味さと來ては……
宮內省御用達 鈴木商店

資本金壹千貳百萬圓
株式會社 **正隆銀行**
大連市大山通十一番地
電話七一一一・振替(大連)二二〇
頭取 安田善四郎
常務取締役 安田善次郎
支店 旅順、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、四平街、鄭家屯、長春、公主嶺、哈爾賓、青島、天津、安東
派出所 小崗子、沙河口、奉天小西關、傅家甸

印刷一般
活版・石版・オフセツト・ヂンク版
東亞印刷株式會社大連支店
大連市近江町
電話 七三六六 八八九四番

溶崩れず三倍保つ
水にも湯にも 程よく溶け 泡沫が細やかで作用は緩和く 決して肌を荒すやうな事がありません 使つてゐる中に溶崩れる事なく 最後迄同じ調子に 完全に使へます

Mitsuwa Soap MADE IN JAPAN

不斷の品質向上の爲日夜科學的研究に盡しつゝある主要なる技術家諸氏
理學博士　藥學士　農學士　工學士　工學士

德用 ミツワ石鹼 ｛大形 中形 小形 極小形｝
化粧用 芳香煉石鹼 ｛十ノ番 二十番 フローラ 三十番｝
水石鹼 ミツワ・シアンプー(高級洗髮用)　ミツワ水石鹼(小壜及一封度入)
洗滌用 ミツワ・フレーク(削り石鹼)　ミツワ浮石鹼(家庭用極大形)　ミツワ洗濯石鹼(純粹高級洗濯用)

本舗 東京 丸見屋商店

頭目連の自然崩壞で 離散馬賊が野盜化す

コレは皮肉な支那の犯罪現象 關東廳管下接續地の匪馬賊

關東廳警務局調査に係る一九三〇年一月から九月に至る間の管轄地域に接續する支那法區域内における匪賊の狀況は實に一千六百五十件の多數に上り、既往十數年來曾て見なかつた猖獗ぶりであつた、これを昨年同期間内における匪賊の發生件數九百四十一件と比較對照すれば實に七百九件の增加で、比率から見れば約六割強の

激增ぶり を示してゐる、その害惡の質的方面から觀察すれば例年より著るしい狂暴性を有し、本年八月中の狀況について見るも人質として拉去された無辜の支那人の數は三百廿八名、殺害されたもの廿七名、軍警が討伐に際して殉職したもの五十三名の多きに達してゐる、翻へつて關東廳管下における馬匪賊事件を見ると流石に警戒網の完備によつて犯罪件數は管外支那法區域に比較して少いが、馬賊跳梁期たる夏季六、七、八の三ケ月間の發生件數は六十一件に上り、昨年同期の四十五件に對して本年度は十六件の有難からぬ增加ぶりである、これを

附屬地外 支那側の六、七、八月中の馬賊事件九百九十七件に比較すればその差は四百八十五件で法威行はれる帝國治下に棲む幸福が感じられる、更に一月から九月迄の匪賊被害者別調査に依ると日本人の被害は五十九件、支那人百九十六件でこれら匪賊の兇手によつて日本人五名は殺害され十名は負傷し、支那人は十九名の死者、三十名の負傷者、人質に十三名が犧牲を蒙つてゐる、本年度における馬匪賊事件の增加は支那における不斷の國内抗爭のため、中央或は山東省方面の避難民が滿洲さして

安住の地 を求めに來ること、奉票及び銀價暴落による下層階級の極貧化、北寧沿線の水害によつ馬匪賊の北滿洲移動等が主なる原因、これらが錯綜して各地に馬賊の猖獗を招來したものであるが、こゝに支那の國史的發展段階が馬賊の消長に及ぼす影響として現はれたものに、近時奉天當局が曩に中央政府と合流して國内統一を圖り、社會秩序の恢復を圖る手段として文武官の登用に事理を明らかにする方策を執ることゝなつた結果、從來匪賊、兇徒から機會を偸んで官界入りした登龍門が梗塞されたため、政治的野心から大馬匪賊團を形成してゐた頭目連が、自然的崩壞の運命に遭遇して

團徒解消 を行ふため衣食に窮した群小鼠輩が野盜化して兇事を働くのに基因するもので國内に群盜增加を來すといふ皮肉な犯罪現象が覗はれる

戸締りの粗忽は智識階級に多い

修繕を命じたもの六百廿七件 小崗子署の調査結果

小崗子署では既報の如く去る廿四日年末警戒と共に盜難豫防の一つとして實施した「戸締り」「錠前」の良否等について、戸口調査は廿六日をもつて大體終了したがその結果、不良箇所として修繕又は改作を命ぜられたものは日支人合して六百廿七件に達し内日本人は百四十九件でこれを細別にすると窓戸の破損五十一件戸締の不完全が三十二件、錠前の不完全三十五件その他三十一件であつた窓戸の破損は殆どボテの脫落で、ひどいのになると全然窓口等には施錠もせず開け放しにして居るのもあり、これ等の中には比較的滿鐵社員、學校教員等の知識階級のものが多かつたと

聖上陛下が靖國神社に 御獻納の釣燈籠

畏くも聖上陛下には本年三月十日陸軍記念日の當日日露戰爭二十五周年記念の思召にて靖國神社に角型釣燈籠一對を御獻納の御沙汰あり、過般來上野美術學校教授渡邊香崖氏設計、同清水龜藏氏主任となり金工研究科生徒等が謹製中であつたところ、このほど完成したので今日午後二時御獻納遊ばされた、燈籠の高さは三尺五寸、屋根の直徑は二尺二寸にて全部黑味銅を材料としこれに透彫を入れその中央に菊花の御紋章を配した目方廿貫もある見事なものである(寫眞は靖國神社に御獻納になつた角型燈籠)

昭和六年度 陸軍大演習 熊本縣で御擧行

【東京廿六日發電通】金谷參謀總長は二十六日午後一時半宮中に參内聖上陛下に拜謁仰せつけられ、昭和六年度陸軍特別大演習は第六第十二兩師團を基幹として第六師團管下に於て御擧行あらせられたき旨の上奏をなし御裁可を得二時過ぎ退出した、なほ大本營は熊本市に決定してゐる

師團演習取止

【東京二十六日發電通】明年度陸軍特別大演習は六年秋九州にて擧行せらるゝ豫定にて參謀總長は二十六日右に關し上奏御裁可を得たが又六年度は師團對抗演習を實施せぬ事となり右何れも二十六日參謀本部より發表された

中央融和事業協會に御賜金

【東京二十六日發電通】天皇陛下には中央融和事業協會の同胞相愛の趣旨より種々功績著るしきものあるを聞し召され二十六日金一萬圓を同協會に賜はるの御沙汰あり同日午後二時一木宮相より同會に傳達された

滿鐵調査課と築港課移轉

埠頭ビルにあつた滿鐵調査課並に築港課は本社鐵道部に隣接して建築された調査課事務所に移轉することゝなり廿六日早朝より書類整理、本箱、机の荷造りに多忙を極めてゐる

直訴未遂犯人 精神病者?

所持してゐた訴狀内容

【東京二十六日發電通】警保局發表=聖上陛下が開院式より還幸の御途次、直訴を企てんとした犯人は、原籍山口縣佐波郡小野村字中山、現住所大阪市此花區上福島北二丁目二七石崎庄次郎方吉武翠(三〇)と稱し、今朝五時五十五分新橋驛着大阪より上京したもので警戒線突破前逮捕したが懷中には左の直訴狀を所持してゐた、當局は精神病者と見て鑑定中である

直訴狀(原文の儘)

上 恐惶謹言 平和なる昭和御聖代に置きましては微賤なれども帝國民の一人たる私は相當の理由なくして社會的には信用を拒否せられ且つ又生命は忙殺されんとしてあります、文明開化の御聖代に此の無謀なる事の平然行はるゝは實に人心を惡化せしむる事なるを思ひ默視するを得ず敢て此の重大なる不敬を犯しました次第であります、伏して願ふらむ嚴密なる御精査を垂らせ給はむ事を 恐惶頓首

擧動不審の 七十男逮捕

議長官舍附近をうろつく

【東京二十六日發電通】天皇陛下開院式より還幸直前今朝十一時十分衆議院議長官舍附近で擧動不審の廉で愛知縣海部郡富士松村瀧井安次郎(七〇)なる男を逮捕したが、この男は懷中に新聞の號外など所持し精神病者らしく目下取調べを進めてゐる

賭博を開いて 貧困者達に施飯

お客樣が毎日三千人 シカゴの俠賊キヤボーンが

ニユーヨークのダイヤモンドと並び稱せられるシカゴの賭博並に酒密輸入の大親分アル・キヤボーンは稼ぐことも大きいがそれだけに太ツ腹でサウス・ステート街の或る店を借りて其處で餓た人々に暖かいスープやパン等を供給して居る、此の恩惠に浴してゐる人が毎日三千人、其の額も毎週二千百弗(四千二百圓)に上るといふから大したものである、其の店頭には「スープとコーヒーを御接待致します」と大書した看板が揭げてあり、既に數千の人々がこの恩惠に浴した、獻立はといふと朝食はコーヒーと味付パン、夕食はスープとコーヒー而も二度でも三度でも御代りが出來るのである、キヤボーンは之れだけでは滿足せず更にもう二軒こんな無料食堂を開く計畫である、キヤボーンの相棒で捕まつたグジツクの裁判に於て證人が陳述した所によれば當局の目をかすめてあちこちと移動しつゝ開かれるキヤボーンの賭場の上り高は一月二萬五千弗から三萬弗に上るとの事である【シカゴ發】

京阪神、南滿間に 短波長無電聯絡

一月早々實施されん

【大阪廿六日發電通】大阪、大連兩無線電信局では京、阪、神及び大連南滿一帶との商工業上密接なる關係に鑑み過般來短波長に依る聯絡の準備中の處愈々二十六日より試驗通信を行ふ事となり成績に依つては一月早々實施されることゝなつた、又大阪無線局の短波長受信機の增設を行ひ京阪神と大連間の一日[illegible]五百通の電報の半數以上を無線に依つて取扱はんとする計畫で此の完成は明年三月と見らる

香港丸の 代船建造

商船の大英斷

大阪商船會社では現在内地大連間に就航してゐる香港丸に代るべき新造船を計畫してゐたが愈々三菱との間に契約成立し長崎造船所に於て建造に着手することゝなつた旨同社支店に入電あつた、右新船は形や大きさに於て現在のうらる丸と同級の優秀船である、昭和七年四月進水と直に内地大連間の定期船として使用されるが海運界不況の折柄大阪商船のこの計畫は大英斷

次回新小說

元旦紙上から連載

虹(にじ)と兜虫(かぶとむし)

龍膽寺雄氏作 一木弴氏繪

本紙夕刊連載小說仲木貞一氏作、一木弴氏挿畫「海の唄」は好評裡に去る十七日完結を見たので、本社にては次回新小說として文壇の寵兒で流行作家の第一線にあつて活躍し、其の新鮮な感覺と藝術の香り高い筆觸によつて名聲を馳せてゐる龍膽寺雄氏に依囑して「虹と兜虫」を元旦の紙上より揭載することにした、挿畫は「海の唄」でその麗筆を示した一木弴氏が引續き擔當し畫風を一變して讀者に見ゆることになつたが、今回の「虹と兜虫」は滿鮮新聞連載小說の尖端を行くものとして本社の自負し讀者の期待を約束する作品である

作者の言葉

言つてみれば、朗かなナンセンスです。面白いかどうかは書いてみなければわからず、讀んで頂いてみなければ、ともかくずいぶんいろんな人間がゴチヤゴチヤと出て、めいめい勝手な活躍をはじめますから、讀む方でもまごつかないで下さい。書く方でもせいぜいまごつかないつもりですから。では、いづれ。——

主なく漂流の舢舨

船内に兇行に用ゐた菜切庖丁 有力な容疑者逮捕

血染の舢舨——今年も暮ると云ふに血なまぐさい殺人事件が海上において發生した、廿六日午後三時ごろ水上署西埠頭派出所に轉がり込む樣に王有勒(四〇)なるものが出頭、同日午後二時ごろ大連港口東燈臺附近に一艘の主なき舢舨が漂流してゐたが船内に夥だしい

血痕が 附着してゐたので仰天して屆出たものと判明、派出所よりは直にこの旨を本署に急報、司法係ではスワと許り漸く該舢舨を發見九番バースに引張り込み檢査の結果、該舢舨は大連管内周水子金家屯二十二生れ大連北大山通居住、舢舨夫曹倉福(二七)のもので、曹の行方不明から何者かに曹はやられた事と判明、尚船内には兇行に用ゐた支那菜切庖丁があつた、司法係では取敢ず證據物件を押收すると共に廿五日夜、北大山通海岸で同時に船をつけてゐた原籍山東省登州府棲城縣生れ北大山通り舢舨夫趙起明(三[illegible])を有力なる嫌疑者として本署に連行目下取調中であるが、なかなか口を割らず

み調査したところ舢舨内には血のりのペツトリついた枕、滿團並びに支那着衣があり、しかも血のりの中に大人の前齒と覺しきものが數本散在してゐる始末、犯行全く明かとなつたので俄然色めき たち各方面に手配し

手古摺 らさせてゐる、一方水上署では刑事課その他各方面に手配し身寄りのもの等を召喚し種々調査した

選擧違反判決

【名古屋二十六日發電通】愛知縣選出民政黨代議士石川久兵衞氏外三十六名に係る選擧違反事件は二十六日午後一時半名古屋地方裁判所日下裁判長から判決言渡しがあつた

禁錮三月(未決拘留六十日通算) 石川久兵衞

禁錮四月(三年間執行猶豫) 貴族院議員 磯貝浩

瞭として見られてゐる

滿鐵社員の住宅 理想化は五年後

戸數は多分增加せぬ

滿鐵總務部人事課社宅係では社員待遇の一改善策として毎年百五六十萬圓から百七八十萬圓程度を計上して社宅の新築改造等に充てゝゐるが最近の五ケ年餘は主として補充新築及併合改造を行つてゐる關係上社宅戸數の

增加 は殆ど見ず只本年の豫算是正によつて長春に運輸、保線の三事務所が設けられたゝめの社員增加で五十戸餘を增築されたに過ぎない、而して今後五ケ年即ち昭和九年位までには補充及改造の社宅工事が一段落を告げることになる模樣で、從つて同年頃からは滿鐵社員の住宅待遇改善は理想化されることゝなるであらう、尤もこの十年計畫は住宅として當然改築を必要とするもの及手狹な

住宅 二戸を一戸に取擴げて改築する等に主として全力を擧げてゐるから、現在社宅總數より增加することは餘りなからうと見られてゐる

お母樣方へ急告

「幼年俱樂部」を讀む子は成績が大變違ふとは先生方が皆申されます、お正月は素適なオマケが八つもついて大變な評判

各官廳御用納

關東廳管下各官廳の五年度御用納めおよび六年度御用始めは左の通り決定した

御用納 十二月二十七日
御用始 一月四日

幽靈郵便物

始末に困る 細かく刻んで屑屋に賣る

名宛人不明の爲め差出元へ返送される郵便物のうち差出人の肩書氏名不完全、氏名無記載、虛僞の氏名記載等のため返す事が出來ずやむなく當地遞信局で處分される不能還付、いはゆる幽靈郵便物は四年十二月から五年十一月に至る最近一ケ年の數量七千五百餘である

これ等の郵便物に對しては

遞信局 でも送達の途なきや否やを確めるために有封の手紙類は之れを開封して取調べ差出人の判明するものはこれを返戻するの方法を講じてゐるが、名宛が洩れたり又は不完全であつたり、本文が脫けたりして還附する事も不能なものは遞信局に於て適宜處分する事になつてゐる、コウした郵便物は花柳界方面に緣ある戀の便りに多く、處分の方法も從來はこれを燒却して來たが、燒却すればこれを運搬する自動車賃もかゝる、人夫賃も要ると云ふので今年からは

商賣氣 をタツプリ發揮してこれを細く裁斷し紙屑屋に賣却する事になつた、そして自動車賃や人夫賃を節約した上賣却費を儲けやうと云ふ新案である、これから差出される年末年始の郵便物の中にもコウした幽靈郵便物が尠くない例であるから差出人は大いに注意して欲しいと遞信局では語つてゐた

嶺前屯に 大狼出沒

鷄盛んに喰る

毎年寒くなると大連の郊外には狼が出沒するといはれるが今年も嶺前屯方面に毎夜、三頭の大狼が出沒し盛に鷄を喰ひ去るとて元田警部その他で騷いでゐる

大連醫院休業

大連醫院では年末年始の休業日及び外來患者の診察日は左の如くである

▲休業日十二月三十一日、一月一日、三日、四日、五日▲外來患者診察日十二月三十日及一月二日午前中

双方示談交涉

市内山吹町百廿番地川上榮三から詐欺の告訴を出され大連署司法係吉富警部補の取調を受けてゐた市内若狹町九四番地高岡駿三は種々なる名目で川上から取つた約六百圓を返濟することを申出で雙方間で示談交涉中である

大東京の横顏（九）
ナンセンスな銀座の夜店點描

—記者—

日本の盛り場は、大抵神様か佛様を乃至は芝居小屋を中心として構成されてゐる。淺草の觀音様さか、深川の不動さま、日本橋の水天宮さま一帶に盛り場が生れた。ところが銀座のみは、舶來品を賣る商店街といふので、盛り場となつたところに特異性がある。

盛り場はなぜ出來たか？、それは神や佛が有難いからではない、善男、善女であらうと、惡男、惡女であらうと構はない、人なつかしさに、人が集るのである。激しい生存競爭から、人間は人間を嫌ふやうだが、人と人と揉み合ひたがる。あの華やかなネオン・サインを見たいのではない。人の臭がたまらなく嬉しいのである。

そして、その盛り場で、極手輕な程度の消費をしたい。お金を遣ひたい。それも所謂ナンセンスな金遣ひを享樂したいのである。そこに盛り場に夜店が必要となり、そ

お手輕な飲食店――お汁粉屋、おすし屋、おそば屋など――射的、魚つり場などが要求されて來る。

×

「夜店」は近代人にとつて、最もナンセンスな存在である。夜店の中に近代人の生命流が渦をまいてゐる。夜店には高い商品がないつまり手輕な消費の目的が多い。その上少々商品が古ぼけてゐるやうと、瑕があらうと、

「とんでもないものを摑まされた」

といつて、憤らずに笑つて濟ませる商品が多い。笑へる悲劇が演ぜられる所に夜店のナンセンスがあるといへやう。

管てある文房具屋が、安もの、直穂先が落ちるやうな毛筆を十本十錢で賣つたところが飛ぶやうに賣れた。二三回も使ふと、すぐ駄目になる萬年筆も賣れたので、僅な數で多く儲けやうと、上等の商品を持ち出したところ、

「何だい、夜店にそんな高い品があるかい。そんなべら棒に高いのなら、デパートか伊東屋へ行くよ」

といつて、何人も相手にしてくれないので、またも雜踏盛盛……

門に賣出して儲けたいといふ一笑話がある。そこに、夜店の眞實性が表れてゐるといへやう。

たゞ銀座の夜店の缺點といへば他の夜店と違つて、比較的高級な驅董屋がゐること、それと反對に夜店として最も本格的なテキ屋と演歌師のゐないことである。

「エー、デパートなら一枚三四圓もする純毛の襯衣！特に今晩に限り半値の二圓――一圓五十錢にまけておきます」

などゝいつて、だん〳〵値をせり下げてゐる、あのテキ屋のゐないことが、何より淋しい氣がしてならない。

また、安下宿を本據に、ヴァイオリンを提げて、縁日から縁日へとさすらう演歌師のあの唄ひ嗄れた聲、哀調、悲調のヴァイオリンの音は妙に人の心をひきつけるものである。それが銀座にゐない。

だが、電車通りから、ちよつと入つた横町や夜店の天幕の裏などに、悄然と佇んでゐる俥屋の姿は見受ける。亡びく車夫が、少々醉つてゐるブラ客と見ると「如何です、実端的にダンサーとは……」などゝいつて、哀れを乞ふやうな聲をかけるのは、盛り場になくてはならぬ點景の一つであらう。

（文彭畫）

萬有科學大系の完成　夙に類誌「科學畫報」を發行し、科學知識の大衆化を唱導せる新光社は先年「萬有科學大系」の出版を企劃した。正續合して十六巻、無慮一萬頁に亘り、其執筆者には科學界のあらゆる權威を網羅して、原理方面に、應用方面に、最新最精の理論と實際とを解説するに、夥多なる寫眞と通俗平易なる文章とを以てし、一讀何人にも諒解せしめ得るように勉めてある事と、その悉くが日本學界の新たなる研究の結晶で、我國學界の一大功績として世界に誇示するに足るものあるを確信する。刊行着手以來、茲に六ケ年、刊行者の異常なる努力は、各執筆者の精進と相俟つて完成したものである。今回完成紀念として各巻三百部を限り提供する由で詳細内容見本は下記へ申込み次第進呈する由。定價一冊金拾圓全十六冊金百六拾圓東京神田錦町一ノ十九新光社發行

滿洲日報
夕刊
十二月二十六日
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

天皇陛下親臨の下に けふ帝國議會開院式
冬空の陽の光輝く日 貴族院にて擧行さる

【東京二十六日發電通】第五十九議會開院式は冬空の陽光輝く二十六日午前十一時貴族院に於いて最も莊嚴裡に擧行された午前九時頃より貴衆兩院議員は何れも大禮服燕尾服にシルクハットの禮裝にて續々登院し轉て天皇陛下には午前十時三十五分宮城御出門第二公式鹵簿にて鈴木侍從長御陪乘諸員奉迎裡に同四十五分貴族院御着便殿に入御幣原首相代理以下に拜謁を賜つた各議員は十時五十分振鈴と共に貴族院本會議場に着席會場の傍聽席には各國大公使並に武官等着席天皇陛下には午前十一時林式部長官、一木宮相の御先導にて式場正面の玉座に着かせ給ひ幣原首相代理の捧ぐる勅語を受けさせられ諸員最敬禮裡に玉音最も朗かに勅語を賜り斯くて德川貴族院議長は玉座に參進勅語書を拜受し茲に開院式を終らせられ陛下には便殿に入御十一時十五分御機嫌麗しく貴族院御發還幸あらせられた、次いで開院式勅語奉答文作成に關する衆議院本會議は二十六日午前十一時三十二分開會藤澤議長より十八名の勅語奉答文起草委員を指名し同三十五分休憩に入つた

開院式 勅語

【東京廿六日發電通至急報】廿六日第五十九議會開院式に賜りたる勅語左の如し

朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

帝國ト締盟各國トノ交際ハ益々親厚ヲ加フ朕深ク之レヲ欣フ

朕ハ國務大臣ニ命シテ昭和六年度豫算案及ヒ各般ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷審議以テ協賛ノ任ヲ竭サムコトヲ望ム

外相の首相代理は非立憲を意味せぬ 民政黨幹部の意嚮

【東京二十六日發電通】政府並に與黨では休會明け議會に濱口首相の出席が遲れる場合は首相の意志に基き現幣原首相代理を繼續せしむることに根本方針を定めてゐるに對し政友會では施政演說の後首相の出席能否を質問し且つ幣原外相を代理せしむるを非立憲なりとして追及する意嚮あるやに傳へられてゐるがこれに對し與黨幹部の意嚮は

幣原臨時代理は濱口首相の意志に依りその名に於て上奏御裁可を得たものであるから幣原代理も自己の意志で自由に辭める譯にも行かぬし況んや他から勝手に之れを更迭せしめることは出來ぬ、畏くも 陛下の御意志に依り內閣官制第八條に依り決定したものたる以上法律上何等疑惑はない、只政治上黨出身閣僚でないので多少の不便あるは免れぬが等しく民政黨內閣の閣僚としての主義政策の實行の任に在るは勿論であり且つこれには先例もあること故議會に入つても幣原代理で何も非立憲ではない

と云ふに一致して居り少壯派に多少異論あるとは云へ首相が今十日か二十日で出席し得る以上敵を前に內輪揉めをなすべきでないとの意嚮に傾いてゐるので與黨一致して議會に當ると

議會對策協議

【東京二十六日發電通】民政黨の原幹事長、頼母木總務は二十五日午後四時から五時迄麻布廣尾町の私邸に安達內相を、五時から六時迄赤坂の私邸に江木鐵相を訪問し今期議會に提出の諸法律案殊に減稅案、勞働組合法案、小作法案、米穀法案、婦人公民權案等の重要法案の提出に就ては其の時機を誤らざるやう政府及び與黨との連絡上に就き協議を遂げ尚休會明け劈頭政友會が濱口首相の議會出席能否問題に就き緊急質問を爲し場合に依つては首相の出席迄休會の動議を提出するやに傳へらるゝに就き之等の對策に就ては深甚の注意を拂ひ萬遺算なきを期することを協議する處あつた

第五十九議會成立

廿六日召集日の衆議院議場(上)同外部の光景(下)

走馬燈　犀生

第二の故鄕

邯鄲たる人生には到る處に青山ありと云ふも、故鄕、忘じ難しの念こそ唯一の憮味を人生に與ふるものであらねばならぬ。さればにや、第二の故鄕と云ふのも、相當に津々たる憮趣を、そこに寄せしめらると見られぬでもない。

◇

戴季陶と云ふよりも、戴天仇なり、戴サンで通る處の、國民政府考試院長の戴天仇君は、近く日本に遊ばんと傳へられて、日本と支那との間に、何らか重要なる使命を帶ぶるが如くである勿論、時局から戴サンの使命はそれと推察せらるゝのであるが戴天仇君は何氣なく、たゞ第二の故鄕に遊ばんがためといつてゐる。國民黨發生の歷史より見れば、日本は確に彼等の生みの親であり、その育くまれたる故鄕である。戴サンの云ふまでもなく、第二の故鄕として日本を[illegible]り關心がなかつたやうであつた強て、その故鄕を求めたなら、革命起義の地か、その記念すべき故鄕と云ふかも知れぬ。それと均しく汪精衞君も、多年の江湖に落拓せるためには、第一の故山も第二の故鄕も省するに暇がないやうである。パリーを第二の故鄕とするならば、汪精衞君や張繼君も、その類であらう斯うして見る時に、蔣中正君に對して、その第二の故鄕が何處[illegible]運が熟したに歸せねばならぬが黃埔軍官學校で育成した處の、ソヴエット式訓練が與つて力ありと云はれてゐる。それは蔣介石君が親くモスコーに學んだ唯一の結果であり記念である。從つて蔣君の身邊に若し第二故鄕の印象がより深く感ぜらるゝとしたら、それは確にロシヤと言ふべきであらう。併しながら最近の蔣中正には、戴天仇や胡漢民君等と均しく、日本を第二の故鄕と見るやうに思はれぬでもない。

◇

伍朝樞とか孫科とか云つた人々は、アメリカとは切つても切れぬ關係があるやうに思はるゝ。そして張溪賦君にも何となく、アメリカ臭が、その身邊に絡まるやうである。若し第二故鄕と云つたものが必要の場合には、日本よりもアメリカを選ぶでないかとも思はれる。アメリカの地を踏んだことは絕無であるにしても、その氣分からいへば。

政友會の委員長候補

【東京二十六日發電通】政友會は二十六日午前九時四十分院內に代議士會を開き森幹事長より勅語奉答文起草委員全院委員長各常任委員の氏名報告あり十時半散會した尚全院委員長及び常任委員長の候補者左の如し

全院委員長 佐々木平次郎
豫算委員長 井上孝哉
請願委員長 山下谷次
決算委員長 工藤十三雄
懲罰委員長 名川侃市

民政院內總會

【東京二十六日發電通】民政黨は二十六日午前十時半より院內に於ける初議員總會を開き櫻井院內總務より勅語奉答文起草委員の氏名を發表し委員長は正式に西村丹次郎氏に決定し牧山總務より本日若し議場において突發事件が起る樣なことがあつた場合は萬事院內役員に一任されたいと提議しその通り決定した

樞府貴院廢止案 何としても提出 兩代議士の意氣込み

【東京二十六日發電通】無產各派から五十九議會に樞密院並に貴族院廢止に關する決議案を提出する事は過般の無產黨共同委員會に於いて決定した處であるが樞密院並に貴族院廢止は憲法事項に屬することゝて衆議院の權限以外に在る爲め衆議院事務局が果して決議案を受理すべきや否やが第一の難關とされてゐる、依つて大衆黨淺原、社民黨片山兩代議士は二十四日召集日に衆議院事務局と早くも內交涉を遂げつゝある、卽ち議事課に於ては若し秘書課が決議案を受理しさへすれば問題なく議事日程に繰込む旨を回答したのに對し秘書課は憲法事項に屬するとの理由の下に甚だ難色があるので淺原、片山兩代議士は先例を楯に交涉を進めてゐるが多少形式を變更しても是非該決議案だけは提出すると意氣込んでゐる

各植民地特別會計 明年度豫算案決定 總額四億六百六十八萬五千圓 けふの閣議に附議

【東京二十五日發電通】昭和六年度各植民地特別豫算に就いては拓務、大藏兩省に於て協議中であつたが二十五日左の如く決定し二十六日の閣議に附議さるゝ筈であるが豫算總額四億六百六十八萬五千圓で節約及び繰り延べ總額は二千四百三十一萬九千圓新規事業二千七百九十八萬五千圓で其の內譯左の如し(拓務省發表、單位千圓)

豫算總額 四〇六、六八五
經常部 三一〇、五九五
臨時部 九六、〇九〇
節約總額 一九、九一八
經常部 一四、〇五七
臨時部 五、四六一
繰延總額 四、四〇一

にして各廳別豫算及前年度との比較次の如し(單位千圓、新規增加額は前年度實行豫算との比較)

朝鮮總督府

歳入
經常部 二〇七、七三八(五、六一八增)
臨時部 三二、三一五(四、五八七減)

歳出
經常部 一八三、四二〇(三、二五二減)
臨時部 五六、六三三(四、三四七增)

既定經費節約額
歳出
經常部節減 九、八三四
臨時部節減 二、〇九四
繰り延べ額 三、一〇五

新規增加額 一五、四〇〇
內主なるもの
キャベツ栽培補助 八七
煙作改良補助 一〇八
北鮮開拓調查 九五
煙草販賣直營 三、三二八
私設鐵道補助 四〇〇
窮民救助 五二五
窮民救助工事費總額約六千六百萬圓(三ケ年に施行の事)六年度年割額約二千二百萬圓地方公共團體にて預金部低利資金の借入れにより施行し右に對し國庫より補助す
恩給分增金 二、八一六
災害復舊費 五八一

臺灣總督府

歳入
經常部 一〇三、四九九(一、九五四減)
臨時部 一一、四六五(五二六減)
內公債金 五〇〇(一、〇〇〇減)
前年度剩餘金繰入れ 八、〇二三(九三增)
其の他 二、九四三(三八一增)

歳出
經常部 八八、二七〇(一六、六二增)
臨時部 二六、六九四(四、一四三減)

既定經費節約額
歳出
經常部節減 二、六〇四
臨時部節減 二、三四二
繰り延べ額 四〇四

新規增加額 八、九八五
內主なるもの
恩給分增金 二、五五〇
糖業試驗場實施費 四〇五
臺南高等工業開始費 二三〇
基隆及高雄臨港線增設費 三一六
烏溪及曾文溪改修費 八二五
淡水河護岸用地新營費 一五〇
花蓮港築港費 四二二
移民補助費增額 一五九

關東廳豫算總額 二千二百十餘萬圓 新規增加額百六十萬圓

關東廳(單位圓)

歳入
經常部 一四、五七一、六八九 二、三八五、五八八減
臨時部 七、五九九、六二七 一、六〇六、九六五增
內補助金 四、〇〇〇、〇〇〇 增減なし
公債金 六〇〇、〇〇〇 一〇〇、〇〇〇增
前年度剩餘金繰入れ 二、五七四、一七四 一、三七六、一三三增
其の他 四二五、四五三 一三〇、八三二增

歳出
經常部 一七、六五七、二七三 九〇、七〇八減
臨時部 四、五一四、〇四三 六八七、九一五減

既定經費節約額
歳出
經常部節減額 六三〇、五四〇
繰り延べ額 なし
合計 六三〇、五四〇
臨時部節減 三四一、九二二
繰り延べ額 六三四、四三二
合計 九七六、三六四

新規增加額 一、六〇八、三二六
內主なるもの
警察力充實費 五五、八七三
郵便電信電話事業費 一〇五、八八八
恩給分增金 四四五、四〇四

南洋廳(單位圓)

歳入
經常部 四、一三六、七三三 八三六、六〇九增
臨時部 八一六、七二〇 七三三、五〇三減

歳出
經常部 二、六九八、〇四二 七、三九四增
臨時部 二、二五五、四一一 九五、七一二增

既定經費節約額
歳出
經常部節減額 一、三三四、八八三
臨時部節減額 六七三、九三九
繰延べ額 二五九、四八九

新規增加額 一、一六八、九五九

豫算案審議

【東京二十六日發電通】本年最終の閣議は二十六日開院式後午後一時より首相官邸に開會植民地特別會計豫算其の他の審議を行ふ事となつた

トロツキー 孤島で重態

【ハルビン特電二十五日發】ルイコフ氏去りスターリン氏獨裁の天下に返り咲きを傳へたトロツキー氏は裏海の孤島に病臥に襲はれ目下重態であると、ルイコフ氏一派の失脚で再び工業黨の如き反スターリン運動が釀成しやうと言はれてゐるがスターリン氏の天下を覆へすことは覺束ない

既定經費節約額
歳出
經常部節減額 八三、七一一
臨時部節減額 一二、三〇二
新規增加額 八二一、七〇三

樺太廳(單位圓)

歳入
經常部 二二、六三〇、一三七 三、六六三、四三二減
臨時部 一、九一四、五一八 二、四六七、四六六減

工事部を皮切に 滿鐵の一部移轉 年內には全部一段落

滿鐵々道部裏に新築中であつた五階建の新館は內部の煖房裝置電燈その他の部分的工事も兩三日前に一段落を告げたので二十六日工事部の引つ越を皮切に近く各部からの引つ越が開始されることゝなつた、而して新館全部の室割はまだ決定してゐないが一階へ部は鐵道部が占有し二階、三階、四階の一部が工事部に振當てられ元消費組合本部に封じ込められてゐた土木課及建築課も新館に引越すことゝなり工事部の引越は二十六、二十七日の兩日に終了する筈である、準備事務所六階に遠島の浮目にあつた總務部調查課も新館が舊本館かに舞戾ることゝなるが未だ新館の室割が全部決定してゐないため何れに落付くかは不明である、然し交涉部の職制改正が近く實現するので同部の擴張は當然考查課の移轉を見ればなるまい、各部各課の移轉先については目下總務部庶務課に於て硏究中であるが勿論年內には一段落を告げる筈だといふ

在支邦紡 對策協議

【上海二十五日發電通】日本側紡績業者は祭日にもかゝはらず二十五日緊急會議を開き支那側の統一稅案對策を協議した結果重光代理公使より外交々涉に移す前に今一度我最後の對策を以て支那側の反省を促し何とかして局面を打開すべく最終的努力を試みるに決し在支紡績同業者會理事長船津氏は石黑(豐田紡)木村(東洋紡)兩理事と共に十六日南京に赴き宋子文氏に直接會見折衝することゝなつた

滿鐵職制變更

滿鐵交涉部の一部職制變更は既報の如く庶務課の增設でこの改正による人事の異動も現資料課長の石井成一氏が庶務課長に轉じその後任に高見成氏が就任することも內定してゐるが目下上京中の仙石總裁に決裁を仰いでゐる關係があるので正式發表を見るのは來年一月にならうと觀測されてゐる

大連市參事會

大連市役所では明春一月七日午後一時から市參事會を招集し

一、戶別割制定規程に伴ふ定員制改正の件

を附議すると

田中署長赴任

新任貔子窩署長田中稔氏は廿六日午前十時大連發列車で牙子夫人同伴赴任の途に就いたが驛頭には辛島民政署長、田中市長、森本法院長を始め大連官界實業界のお歷々多數の見送りがあつた

新任挨拶

新に警務局刑事課長心得を拜命した星武氏および同課田口警部、大崎警部補、上郡山部長、齋藤、阿部兩刑事は廿六日各所を歷訪し新任挨拶をなした

大觀小觀

陛下、貴族院に親臨、第五十九議會の開院式に方り、優渥なる勅語を賜ふ。

◇

國民の代表たるもの、上、陛下の大御心に對し奉り、議場の混亂だけは御免、蒙りたし。

◇

張學良氏の山西、西北兩軍善後策、甲に厚く乙に薄しといふので殊に西北軍に不滿あり。

◇

張氏の天津滯在、かくて遷延、そこで蔣介石氏側からは例により睨みのあるのは當然

◇

そこで支那の內、この政問題もま、明年に持ち越され、問題は問題として依然、殘される譏。

天氣豫報

廿七日(南西の風)晴後曇

各地溫度

	十一時	昨日最低
大連	六、三	零下二、三
旅順	六、四	同 一、九
營口	二、一	同 一一、一
奉天	〇、〇	同 一一、七
長春	零下六、〇	同 一四、三

俄然、絹布類の値上りに 呉服屋さんが大狼狽

トテも荒い問屋さんの鼻息 來春の仕入氣遣る

不景氣、諸物價低落と悲鸞のうちに昭和五年も暮れやうさするが、對瓶落しに半額にまで暴落した布類が十一月末から俄然値味となり今大連の呉服店で問屋へ注文すると二割以上問屋から言つて來る値が中小賣店の賣り値と同樣と……

書入れ時 の師走を控

……の少かつた呉服屋は大狼狽してゐる、この原因については……月末生絲が五百四十圓の記値に下り、八月九月に六百から五十圓を動き上り氣味……たが、十月にまた……百圓臺……そして最近生絲の輸出……

景氣持直 しと騒いで

ゐる有樣である、大連の各呉服屋では大てい十月末に仕入れてしまひ特に歳末賣出しの時期でもあるので小賣値には現在未だ一般に高くなつてはゐないが、品物・賣切つて後から仕入れた分は前記の如く高くなつてゐるので漸く上り氣味の亂調子を示さんとしてゐる、右について某呉服店主は語る

事實内地問屋では高くなつてゐます、本年秋の絹物の値段は全くお話にならないほど安いものでした、小紋が格安九圓八十錢からあつて十七、八圓どまり、無地金波が九圓から十三圓なんて値で買へたんですからね、また問屋に注文したら恰度この値段で送つて來ますよ、今問屋の鼻息の荒いことつたら、當地の或る呉服屋さんが問屋の高値に驚いて

値下交渉 したところ、

「直ぐ品物送り返せ」と電報でいつて來た程ですよ、來春の仕入が難しいもので斷くとも絹布類は一割ところは上るだらうと私共は思つてゐます

機關車に男の生首

北崗子—濱橋の中間に胴體轉る 死因に殘される疑問

廿六日午前八時ごろ大連驛構内で……機關車の入れ替へ中機關車前部の……ン鴻吉泥河の宮玉美（三七）と妻子三人、友人二人が廿六日午前七時着……く本人に相違ないことが判つた、……

上海の檢疫方法

至極穩健文句はない

一、大型客船は上流の都合にてはその最後寄港地において傳染病の發生なかりし時又は吳淞錨地において檢疫信號を掲揚せざる場合はその儘上海埠頭に進航する事を得、但し此場合は陸上との交通を開始する以前に檢疫官の臨檢を受くるべし

一、上記の取扱ひは神戸長崎線、大連青島線の船舶も適用す

一、船醫（醫師免狀を有する）の乘船船舶の檢疫は省略……

一、支那沿岸航路の船舶は沿岸諸港内に傳染病の……き限り檢疫を省略す

一、以上の便宜以下尚改良……事又は氣附た事は申出……

大要前述の如くだが右について局の木村檢疫官は

大汽の方から通知があつてその大要を知る事が出來……が頗る碎けた穩健な檢疫……らあんな位の事なら別に……云ふ必要はないと思ふ……しても實際を見るより仕……まい

誰何されて拳銃發射

海城驛附近で 二人組の曲者

二十五日午後五時卅分ごろ……附近警行中の大石橋署員……

苦い經驗 で鍛錬された

大連署 から千葉縣に

首實驗 させた嫌疑者

開院式の還幸に直訴を企て

直ちに取り押へらる 犯人は山口縣生れ卅二の青年

ますく尖鋭化する電氣のサービス

一九三一年への前奏曲

天の川の發電所

水上署表彰

精神異狀の支人 列車便所から飛降り自殺

これも借金でカルモチン自殺

『滿洲は景氣がよい』に乘せられ 渡滿した無職の男

不景氣風よ どこを吹く

だが爭へない收入減 大連三業組合三〇年の成績

少女方に急告

奇特な女學生 花賣代を寄贈

無効バス使用 飛降りて大怪我

大連運動場 氷滑場

けふから開場

日本から米國へ「六段」の調べ

國際放送に出演者緊張

【東京廿六日發電通】クリスマス交驩のラヂオ放送は二十五日午前のアメリカのエヌ・ビー・シー放送の好成績に力を得て愛宕山放送局でも軍縮放送以來の國際的ラヂオの進出と二十五日午前中から北村技術長指揮の下に準備に忙殺されてゐたが、いよく二十六日午前零時三十八分になると堀内アナウンサーが

明確な 英語で「ハロー

ハロー」とエヌ・ビー・シーのボイントレースタヂオを呼出しメリークリスマスの祝辭を送り出演者の名前と樂器を簡單に紹介する、マイク前の雛壇には宮城道雄、牧闘子、吉田安子の諸氏、尺八の吉田青風氏等が晴れの國際放送に緊……闘の四氏の指は一齊にさつと動いて夜半の放送室から忽ち三曲六段の妙音が流れ有線で檢見川へ檢見川からボインレーへ、そして全米の人の

耳と心 へ、六段の曲が

終ると堀内アナウンサーが再び閉會の挨拶をなしかくて零時四十分に放送を終つた

ニッポンの『琴』

ピアノ 米國で大受け

【サンフランシスコ二十五日發電】……比島より響いて來る國際放送の電波は當地では午前七時から、ニューヨークでは午前十時から極めて調子よく受信され全米のクリスマスの朝の食卓に爽かな東洋的情緒を漲らせた、六段の曲については「隨分落附いたテンポだ」とか「琴と云ふ日本のピアノはどんなものだらう」とかいろくな批評や疑問が出た、時々空電の妨害が入り受信技術上からは相當困難があつたが一般の批評は大受で最初の試みとしては成功であつた

歳晩の巷に命の總決算

『復讐して呉れ』

債鬼の居据り催促を苦にして 大工職がネコ自殺

大晦日を前に債鬼に責め立てられ命の總決算をする人々……市内二葉町八六番地大工職山口隣一（三〇）は廿六日午前零時ごろ强か酩酊のうへ猫いらずを呷り「復讐して呉れ」と口走りしつゝ覺悟の自殺を遂げた、隣一は山なす借財に苦め……妻の友人から年末に支拂ふからと金を借り昨今手厳しく返濟を迫られ自殺當夜も居据り催促を受けてゐたので、これを苦に自殺を圖つたものらしい「復讐して呉れ」と叫んで息を引取つたことは何の意味か判明せず大連署で關係者を……中、附添ひの目を盜んで便所から飛び降り自殺をしたものと判明、死體は附添ひに引渡したがわたされた附添の友人二人は死體を眞ん中に途方に暮れてゐる（瓦房店電話）

……は料理屋四十八萬二千二百九十五圓、貸席七十八萬九千八百八十圓、藝妓置屋八十一萬四千二百四十圓で何れも昨年より一割以上の減收である、更に忘年會で書入れ時の本年十二月の揚げ高豫想を見ると三業を合せ十五萬五千九百九十圓で、これも昨年に比べ一萬七千三百八十三……

俠艶一代男 (150)

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

悲戀相合傘（七）

「道玄か？」と、加賀鳶の鐵太郎も苦々しく眉を寄せ「お前のやうに氣心のいゝ娘に、どうしてあんな父親があるか、俺も不思議に思つて居る、お前を前にして言ふも變な事だが、神田川沿ひの櫻の馬場前で、加州浪人依田八左衞門さまを殺害した。いやまだそれ許りぢやない。重なる惡事が露顯して江戸市中はおろかなこと、街道筋の要所々々に人相書きで、手が廻つてゐる。氣の毒だが身から出た鏽、長い娑婆とは思はれない」

「あい、その事なら覺悟してどざんす」

「覺悟？」と、鐵太郎が意外と言ふ風。

「堀の藝者、叶家の一葉もその時まで、お前さんとも、淸さんとも、永のお別れでござんす」

濡りかれたか、ほろ〳〵と涙が頰を流れる

「無理もねえ」と、鐵太郎はしんみりと「お前の日頃の氣性なら、さう覺悟はしやうけれど、一葉！

「二つか三つで別れて二十年餘り立派な藝者姿のあれが妹とは思はれねえ位だが、血を分けたと云ふ奴は爭はれねえ。俺ア無性にひと目に逢ひたくなつた。爺さん。これから俺が一走り妹を呼び戻してくるから、晴れて親子を名乘り合つては異れめえか」

「なられえ。そりやならねえぞ」

典膳が心からの叫びである。

芳五郎は烈しく首を振つて

「折角あゝして何も知られえで居るものをまたあの上に嘆きを見せるには忍びれえ。時がある。時があるよ」

「さうか？俺ア餘程、このかつぎ屋稼の陰から飛び出して、道玄はお前の父親ぢやれえ。こゝに居るのが本當の生みの親だと知らして異れやうかと、むづ〳〵してゐたが俺が身のことを思ひ返し、ジッと耐へてゐた。生じに江戸で知られた大惡黨の火の玉小僧典膳が、實の兄だと名乘つて出たら道玄を父に持つたどころの悲しみぢやあるめえと思つてな。俺ア、今も云ふへのみせしめに、俺を最後のお役に立てゝくれ」滂沱と流れる涙を拂はず「爺さん、さらばだ」「まア待てッ！芳松……！」と引留める雨の中、跡をも見ないで走り去つた。

そりや考へ違ひだらうぜ」

「いえ、私ア前から考へぬいて居ります。あゝ云ふ父親を持つた身の不幸せより、立派な男を二人まで、思ひ思はれて、添ひ遂げられない因果に泣いてござんす。勝手なこともお思ひか知らないが、私アお前にしろ、淸吉さんにしろ、他所の女を女房に持つたと知つたなら、どのやうに悲しいことか？どうで生きては居りますまい。二人の男を思ひ詰め、一方が破れたなら一方へ行くが世間普通の慣わしでござんしやうが、私ア人と變つて居ります。そんな片意地な私の心地なら、今日までかうして苦んで居りませぬ。私のやうな女から思はれたお前も、淸吉さんも因果なら、思ひ詰めて、どうにもならぬ私も因果でござんす」

鐵太郎も、あまり一途な女心に何といつて慰めていゝか言葉に迷つて居つた。

さん〳〵と降る雨の下、悲戀を語る相合傘、鐵太郎と一葉とは、右と左からしつかりと輕く、傘の柄を握りしめ、暗に溶け込んで行つた。

「爺さん！」と、尾案の陰から立ち上つた火の玉小僧典膳は「今のが叶家の一葉、妹のひさだれえ！」

暗に消えて見えなくなつた後姿いかにも可哀しさうに腕を組んで見送つた。

通りジッとジッと耐らへてゐたんだ」

「芳松！よく耐へてくれた。わ れがその氣になると、俺はもう先刻言ひ過ぎた事が情けねえ。こりや俺の本心からの頼みだ。どうかこれからは碌い事をふッつりと止め、どこぞで地道に活してくれ！お官のお手を逃れろと、俺の口から言ひ難いが、出來ることなら、どんな山中、離れ島でも、お前が一日も長く生き長らへることを、俺ア頼む。な。芳松！頼んだぞ」と、性根もなく爺は咽び入つてながら〳〵聲で賴んだ。

「爺さん。折角の決心をにぶらしては困る。不孝な鬼が世間さま

〔挿絵〕幾久藏畫

キネマと演藝

萬歲大會は二回興行

辨慶辨天一行

既報の如く歌舞伎座の正月興行はエロとナンセンス百パーセントの五條家辨慶、辨天一行の全國萬歲珍藝大會に確定したが、入場料は時節柄大衆を目標として特等一圓五十錢、一等一圓二十錢、市內各商店から二十錢引の割引券を發賣し、開演時間は晝間は正午より、夜間は六時からの晝夜二回興行なると（寫眞は五條家辨慶）

劇話

今夜陸路歸連する南帝國館主を最後に內地へ行つてゐた連中が全部歸つた▲いろ〳〵と流言蜚語を飛ばして賑やかだつたが、この際一つ內地土産、發表放送の夕をやつたら興行價値滿點▲その上に上海にまで飛火してゐるのだから大連映畫界も大したものではある▲夏川靜江と村田監督は三十日か元旦に京都を出發陸路來連するが▲目下撮影中の大河內の浪人と「阿片」があがらないと撮影所の休みが出ないので他人の仕事をやきもきしてゐる▲嵐寛壽郎一行の實演「幕末」に琵琶が入るので大連で適當な人を物色中、一役買つて出る人はありませんか▲常盤座はけふから連鎖商店の年末奉仕で無料解放、時節柄いゝ値だなんて他館の連中が人の懷を勘定するのも年末氣分か

映畫週間準備の 撮影所訪問記（四）

永賀見太郎

十五日

朝九時に東亞等持院撮影所に行く、全部ロケーションに出てスタヂオ內はガラン堂、天谷本社大阪支社長と小泉常盤座主を待合せて東亞の車で事務所の宵山氏に送られてマキノ撮影所へ、此所はロケーションに出來上つてゐるが撮映所の爭議化した組織でされた撮影所は立派に出來上つてゐるが撮映所の爭議化した組織で活動に乏しく何となく淋しい、小泉氏に釜山の撮影座映會主が京都で撮影された縁があるので、撮影所の爭議化した組織で見せる、何處へ行つてもシネマ

れる、マキノ滿男氏がまだ起きないといふので車を上加茂に馳せる神社前の菖蒲園を本據にして仁科と堀江組が附近の社家町を背景にロケーション。堀江組は「天誅黒馬隊」で絞彈が東の近藤勇に追はれて逃げ廻つてゐる。野球チームに有名な仁科組の捕手連中はツラをつけたまゝ野球に餘念がないこの附近の社家町は例へば「逃げゆく小傳次」で千惠藏が逃げ廻つた屋敷町になる有名なロケーション地である。仁科組は寛壽郎の扮裝「業平」物で原駒子と寛壽郎が出來上つてスナップを一枚。原駒子から「一チヤン（早川一郎氏）によろしく」といふ傳言を聞いて大連に來演する東と同車して北野に歸る。マキノ營業所を再び訪ふて映畫展覽會の打合せをすまして帝キネ大泰撮影所へ（小泉氏は正月番組で大阪に行つた後だつた）阪妻プロ時代に較べて遙かに新興帝キネの意氣に滿ちてゐるが、內部の紛糾から立花所長が辭表を提出したとか傳へられ、立花所長は出所してゐず、宣傳部の伊藤氏に就職をこゝへ朝日グラフの佐々木氏が正月物のスナップ撮りに顏を見せる、映畫展の出品を依賴して、松竹の京都撮影所に急ぐ、スタヂオが設立當時の姿もまだ殘つてはゐるが、附近は家で埋まつてゐる、衣笠監督岸田秘書も不在、白井所長の顏も見えず宣傳部に出品を依賴。天谷支社長に別れて記者の友人である下加茂の旅亭「サガミヤ」の主人を訪れると原駒子と共に撮つたエロ的なスナップを見せる、こゝにも日本の聖林の縮圖がある、何處へ行つてもシネマの話であり、映畫人の街である京都を後に夜行で東京へ。

第廿七回 滿日勝繼碁戰

【秋元氏四回勝五回目】

先番互先　秋元豐二郎氏
　　　　　高本吉郎氏

〔棋譜〕——【5】——

●八一チの　三　○八二ルの　三
●八五ルの　二　○八六ハの十三
●八九への十四　○九〇への十二
●九三への十三　○九四ホの十二
●九七トの十三　○九八ロの　八
●八三チの　二　○八四ルの　五
●八七ヌの　六　○八八ホの十三
●九一トの十二　○九二への十一
●九五ロの　九　○九六チの十三
●九九八の　八　○一〇〇ロの十

▲淸水三段講評　白八六は（い）に當て黑をして（ろ）に粘がせ八七に約へるのが至當です白九四は（は）に突當り黑（に）の覗きを防がば白は九八に尖んで打てます

ラヂオ

東京 JOAK

十二月二十七日午後六時二十五分

▲放送喜劇（未定）曾我廼家五郎一座
▲ラヂオドラマ（新家庭双六）佐々木邦作嚴谷三一脚色（場景）里見君の家、或る會社の事務室、垣根の外（配役）里見君（花柳章太郎）妻德子さん（水谷八重子）其の他、解說（柳永二郎）放送指揮（嚴谷三一）

講師荻榮
▲「萬歲」川田梅丸、正木ツネ
▲筑前琵琶（新琴）法祭山大賀旭柴
▲職業紹介事項
▲料理献立
▲天氣豫報

大連 JQAK

十二月廿七日午後七時

▲ラヂオ體操
▲獨逸講座（第二十課）大連語學校

◇◇若者よなぜ泣くか◇◇

文壇の耆宿佐藤紅綠氏原作「富士」連載小說の映畫化、牛島虛彦監督、鈴木傳明、岡田時彥、田中絹代主演オールスターカストで、主題歌はサトウ、ハチロ作、資本階級へ對する、其の赤裸々な諷刺は、けだし現代社會の一斷層を描くものであらう。松竹蒲田の超特作映畫【帝國館正月第三週上映】

支那鐵道差別運賃撤廢交渉方と訓令

再度の抗議も効果なきため

【南京特電二十五日發】民國各鐵道運賃の差別待遇は在支邦商の一大打撃で從來我が當局では嚴重なる抗議をつゞけてゐるが來る一月十五日南京で開催さるゝ運輸會議に於て是非之を撤廢さすべく嚴重交渉方を東京より訓令して來た

大連經由綿糸布今後增加か

安東經由扱ひの合同運送への運賃割引取消されん

滿洲輸入綿糸布の朝鮮經由に對抗するため日滿聯絡の衝に當つて居る大阪商船會社では本月初めより特定連絡運賃制を設け安東經由に比し綿糸布一才噸につき四十錢安さいふ英斷的の運賃引下げをなし、大連經由の增加を圖り殊に大連支店ではサービスに特殊の改善方法を講ずべく關係方面との間に萬遺憾なきを期し居り、努力を拂つて居ることは既報の如くである、然るに其後安東經由の大阪では積込貨の引下げに懸命の努力をみるに不景氣と銀安に祟られ、當初豫期せる程の輸入なく、之がため陸境關稅の撤廢と共に朝鮮鐵道三割引、鐵道省二割五分引の英斷的運賃の値下げによる大阪安東間一キユビツクメーター（約三十六才）の綿糸布運賃四圓を以て引受けたる合同運送は這般の大阪商船の新運賃率の實施によつて多大の脅威を受けて居る、卽ち鐵道省側では明年三月迄に於て安東經由輸入綿糸布が七千噸に達せざる場合は鐵道省は運賃二割五分引を取消し　運賃引下げによる差額全部を合同運送をして吐き出さしめる條件であつたもので上記の如く商船の新貨率の實施により果して所定の七千噸に達するかは覺束なきものがあるので、最近非常に狼狽し應急の手段として鐵道省に對し制限噸數の撤廢方を運動してゐる、而して鮮鐵にせよ鐵道省にせよ現在以上の運賃率の引下げは到底困難なるものと觀られ、從つて今後の滿洲輸入綿糸布は當然商船會社の特定連絡運賃による大連經由が增加するものと期待されて居る

浦鹽向大豆の格付案に首捻る

南滿大豆が困るこ

ハルビン特產商組合が廿日の總會で浦鹽向大豆の一、二、三等格付檢查案を可決したが、その實行方法としては國際運輸に依賴して實現しやうとする方針である、これについて古田三井物產所長は保留を言明し、三菱岡支店長は考慮の餘地があるといはれてゐる、岡支店長の談によると現在の豆粕にしても大連と浦鹽向の相場を常に注意し一錢でも浦鹽が安くなれば大連で買ふことをやめる結果遂に大連油房界は北滿粕に驅逐され今日の悲境を招來したのであるから、若し浦鹽向大豆の格付が實行されゝば勢ひ北滿大豆の日本輸入が盛んとなり南滿ものは壓迫されることゝ豆粕の例によると同一なれば相當大連に店を有するもの一般にこれに贊同することはできないといふ說も生れるのである、日本向大豆は醬油釀造、豆腐製造其のため相當南滿から輸入されてゐるので、北滿大豆も近來大粒の立派なものができるやうになつたから廉價の安い浦鹽向が盛んとなる場合は想像に難くはないその場合大連はいかになるか——一方も利害を超越して考へねばならぬであらうと格付實現の曉は南行大豆に影響するところが多い【ハルビン發】

哈爾濱安を入れ大豆けさ暴落す

豆粕もまた相伴安　場面は活況を呈す

銀價の不安定に伴ふ買氣杜絶のため久しく無味閑散裡に推移した特產市場は休日明けの今朝大豆はハルビン安を移して一氣に下押し八錢乃至九錢方の暴落を演じ、豆粕も又大豆安と相伴つて三錢方の低落商狀を辿り場面は異常なる活況を呈し大豆は六百十八車、豆粕は十一萬六千枚の出來高を示した、大豆の主なる仕手をみるに買方では聚成祥、昇源の各百廿車、廣源泰の六十五車、成發東の四十五車等があり賣方では福順厚の百二十車、裕祥源の九十車加藤の八十車日淸、瓜谷の各二十車等相當に纒まつたものであつた、豆粕は出來高の多い割に纒まつたものもなく丁新昌の買四萬五千枚が主なるものである、豆油は現物の南支筋の買氣に刺戟されて定期も小堅く引け一萬一千五百箱の手合があつた、高粱は何等の材料なく無味閑散であつた

鮮銀引揚ぐれば噸稅が高くなる

但し一擔一錢値上を輸出商が承認せば東行特產物は減らぬ

【ハルビン特電二十六日發】浦鹽鮮銀支店の引揚げの如何は同地在留邦人の運命に多大の影響を來すことは事實であるが、前途を悲觀し直に在留民が歸國することは早計であり、どこまでも愼重な態度をもつて善處せねばならぬであらう、この意見は期せずして在留邦人の間に動いてゐるが、ウスリー商務代辦所と密接の關係にある川崎汽船ハルビン支店長井川薫氏は語る

鮮銀が浦鹽向圓金爲替の取扱を中止したので在浦邦人はいづれも不便を蒙つてゐるのは事實である、ゴス・バンク（ソウエート國營銀行）がその爲替取扱をすると聲明してゐるが、圓金對チエルオネツツの爲替を一對金一圓五錢では物價が非常に高いため生活必需の食料品購入に困ることになる、從つてこれまでよりも船會社の手數料はコストが高くなるかも知れぬが、第一の問題は噸稅が高率となるのは止むを得ない然しその程度は一ピクルに付金一錢の値上を特產輸出商が是認して貰へば問題はないのである、たとへピクル一錢値上しても南行大連仕向に比べてはなほ十二錢見當は安いのであるから東行特產が減少するとは考へられない、いづれにしても鮮銀支店の引揚が事實として具體化するまでは研究の程度で、これといふ明言はできないが船會社、運輸業者方面には鮮銀浦鹽引揚が決定するまで自然の推移に俟つ考へであると

世界經濟恐慌【10】

その實相と歸嚮

◇……大野生

F　通過の問題

現下の世界的恐慌の原因として茲に最後に、最も紛糾せる論題たる通貨の關係が殘つてゐる。日本現在の不況に關し金解禁の影響を主たる原因と見る人々が有ると同樣に、世界のそれに關しても通貨の關係を主因と答へる人々が有る。而して日本に於ける其等の人々が、圓價を新平價に切下げる事によつて好景氣を招致し得ることを主張すると同樣に、世界に於ける其等の人々も、通貨政策を改革することによつて、現在の不況を克服し得るものと主張する。卽ち其等の人々の考ふる所によれば、戰後米國が世界の金の半分を吸收し、其他の國々に於ては佛國を初めとし必死となつて金の吸收に努力して居る結果、金に對する需要が激增し、併も其供給は增加しないから、世界的の金饑饉が起り、金の値が暴騰し、甚い不況を來したのである。詳說すれば戰前に於いて世界の金產額は年々三％の增加を示した。而してその三％は世界的物價の維持に必要な額である、然るに戰後は二％に過ぎない。從つて物價の下落は當然である。然のみならずこの生產は將來尙減ずべき豫想である。且つ一九二六年から二八年迄の三ケ年間に、米國以外の各國の中央銀行の金準備高は四十九億弗から六十億弗に增加したが、それですら佛國以外の金準備率は法定準備率を超える事餘り高くないから、從來の政策が繼續さるゝ限り、世界的金爭奪の熱は今後も鎭まるものとは見られぬ。その上に尙銀の暴落によつて支那が金本位に轉換する事や、印度の金需要の增加等をも見越せば、金饑饉は尙一層甚だしく、世界的經濟恐慌の到來が必然である（以上は大體に於てカツセル・セオリイとして知らるゝもので、國際聯盟の本年九月の中間報告の基礎をなすものである）この前提の下に彼等はその善後策として

第一に先づ米國は宜しくその吸收せる金を世界的に公正に再分配せよと主張する

第二には、世界各國は、その金準備率を低め、金爭奪に狂奔することを已めよと主張する

而して更に急進的なる者は、キーズ、コール、フイツシヤアの如く無用なる金本位制を廢止し、管理通貨制度（或は指數調節制度、銀本位制度、金銀兩本位制度、物價指數本位制度、重要貨物本位制度等）を執るべしと提唱する。平價切下論は、この論陣の最右翼に屬するものと見てよからう。思ふに戰時及び戰後の數年間に於けるインフレーションと、これによる物價の下落は、明かに、貨幣の持つ偉大なる魔力を吾々に示した。エドウイン・ケムラアは云ふ「現在の經濟狀態の下に於て、通貨の不安定は、日夜盲目的に運轉して富の再分配を司る巨大なるエンジンである。それは此處では富を奪ひ、彼處ではそれを與へる、それは無分別に、或る階級から財產を奪つて、他の階級に與へる」卽ち

	物價騰貴（貨幣下落の場合）	物價下落（貨幣騰貴の場合）
商品原價と賣價	値開き大	同縮小（又は原價が高くなる）
商工業者	儲かる	倒產續出
株式所有者	儲かる	損する
農民	地價と農產騰貴	同反對
債權者	損する	儲ける
定款收入者	苦しむ	樂する

と云ふやうな現象が、一の運命の波として、貨幣の價値の騰落ごとに、或る階級を損せしめ、或る階級を得せしめる。貨幣制度は社會が社會のために造つた一つの道具である。併もそれが不完全なるが爲めに、此の如く不都合なる影響を及ぼすことは忍ぶべからざる事である。出來るならそれは當然改善されねばならぬ。尙「金本位はその重心の中心點を金融的に最も強い國に置く」かくして國際經濟用として金は世界的物價の水準作用をなす。大戰前、その中心は英國であつた「英國の物價は金を通じて世界各國の物價を左右した」併しそれは物と金との自由なる移動（中心から、又中心へ）を條件として始めて可能な事である。然るに戰後、米國は世界の金の半分を吸收して、世界は磅本位から弗本位に代つた。然も米國はその金を死藏し物價に作用せしめず、その上に高い關稅障壁を築いて物の自由移動を妨げて居る。それは米國として已むを得ない處置かも知れぬが斯くして國際的物價水準作用をなす爲めの金本位制の價値が甚だしく低まつた事は爭はれぬ。この點も出來るなら改善されねばならぬ。されど現在の世界的不況が專ら通貨の關係に依つて起り、從つて通貨問題を解決することによつてこの不況が一掃さるべしと考へるのは當を失してゐる。貨幣の數量が常に必ず物價を支配するものでなく、寧ろ實際上多くは物價が貨幣の數量に先行するといふ事を考へねばならぬ。この場合物價を決定する最後のものは需要と供給の關係であり、それに加へて一時的又は局部的に、價格の吊上やダムピング、關稅等の作用が近年は特に强く働く。かくして物價が通貨の數量を決定する。その場合の通貨の數量なるものは必ずしも金準備額にはよらぬ。金の多少は現行制度の下に於ては、永き期間に於ては通貨の數量の最後の決定者たる事は明白であるが、問題となる景氣不景氣の實際的關係における貨幣の數量なるものは、寧ろ兌換券の外に、各種信用貨幣や、その流用の速度が大きな意義を持つ。從つて、現下の不況への對策としても、再び何等かの形に於てインフレーション政策を執ることは確にそれ丈、經濟界の苦痛を一時的に緩和するには有効であるとしても、それは胃病患者が食ふことによつて一時胃の疼痛を止めるやうなもので、その疼痛の程度によつては、それも亦必要なる應急手當ではあるが、それによつて根本的に問題が解決されない事は勿論、却つて一層症狀を惡化する虞があるものと覺悟せねばならぬ。

最近の獨逸經濟界

在獨逸　田畑爲彥

不景氣對策研究所の發表に依ると、大戰後に於けるドイツ經濟界好況の頂點は一九二七年五月であつて同年の十月末頃から漸次下向きの兆候を辿り始めてゐる、然し其のテンポは至つて緩漫であつて翌一九二八年を通じては未だ好景氣が續いてゐたのであるが、一九二九年の初めに至つて不景氣の兆候を顯著にして來たのである。

一九二七年から二八年のドイツの好景氣なるものは、何れかといへば外國市場への進出——卽ち輸出の增進に依るよりは、寧ろ國內市場の活躍に負ふことが甚大であつたといへるであらう。此の事實は、ドイツ政府發表の統計を見れば明かである如く、此の兩年度間に約四十億マークの輸入超過を示してゐるのであつて、所謂產業の合理化に伴ふ工場設備の改良とか外資に依る住宅の建築等が國內市場を賑したのであるから、極言せば外國からの借金の齎した一時的の繁榮に過ぎなかつた。

然し一九二八年の末頃から政府當局者は、外資の借入れの增加に伴ふ弊害を顧慮して、之れに嚴重なる制限を加へた爲めと、一面に於て米國に於ける金融市場の緊縮とが相俟つて、一九二九年初め頃から外資の流入が激減したと同時に、國內の市場も住宅建築や工場の改良設備等の爲めの需要が減退して市場一般の活氣が無くなり、其の上更に、當時パリーに於て開催中であつたヤング委員會の賠償問題解決の雲行が惡く、ドイツ側の期待に反した爲めに、之れに伴ふ失望不安も加つて經濟界が益々惡化したのである。續いて同年の後半期頃から、更に世界的不況の影響を享けて一層其の度を增し、一九三〇年に這入つてからは益々深刻化し、失業者の數は今や三百八十七萬五千八百餘人と稱さるゝ狀態に陷つてゐるのである。從つて政府當局においては幾度か大藏大臣の交迭となり、財政の窮乏は或る種の不安をさへ想はしむるのであるが、唯此處に聊か意を強うすることは、一九二九年後半期以來の輸出の增加であつて、一九三〇年上半期に於て約三十二萬マークの輸出超過を示してゐるのではあるが、然し毎年多額の賠償支拂の義務を有する此のドイツとしては、之れ位の輸出增進では決して經濟的の樂觀を許さないであらう

左に輸出入の概數を示せば

年度	輸入	輸出	差引
一九二七年	一三、八〇一・二	一〇、九五四・三	△二、八四六・九
一九二八年	一三、六四九・五	一二、四二〇・六	△一、二二八・九
一九二九年	一三、四三四・六	一三、四八二・二	四七・六
一九三〇年（後半期）	五、七〇二・七	六、〇二四・六	三二一・九

（但し單位百萬マークです）

斯樣に經濟界になるに伴れて、曾ては產業界の福音の如く稱へられてゐた「合理化」も有難味が薄らいで來て、現在では之れに代つて「合理化の失敗」とか或は「合理化を合理化すべし」といふ樣な言葉が現れ始めた。

生產者側の不平を聞くと、合理化の結果到る處で生產能率が增進した爲めに、各自の工場の運轉率が減退し、合理化の實施に投じた資本が今となつては、重荷となつて壓迫を感じてゐるとのことである。殊に合理化された工場は、需要の增減に對し調節する伸縮性を失ひ、景氣の變動に對し一層鋭敏になつて困るとの話である。

他方勞働者側では、失業者の增加を合理化の罪に歸してゐるが、尤もドイツの勞働者は初め合理化運動には最も理解を持ち、其の目的の遂行に對しては、何等の干渉がましい態度に出でず、一時の苦痛を忍んでも最後の効果を得るならば、幸ひであると信じて滿足してゐたのであるが、失業者の數が甚だしく增加するに從つて、漸次不安の念を起さしむる狀態に立到つたのである。

更に一般需要者側の方では、生產費の安くなる割合に物價が下らないので、之れも合理化に對して不滿を抱いてゐる。

然らばドイツに合理化は、果して失敗であつたか？吾人は現在の不況を觀て一概に失敗呼ばはりをすることは早計ではなからうと思ふのである。勿論「合理化を合理化すべし」といふ言葉の必要はあるであらう！例へば技術家專横の爲め、技術的の合理化に偏重して營業的方面の合理化を若干忽せにしたこととか、餘りに組織を重要視し過ぎて組織過度の弊害があることと等は、其の更に合理化すべき重要な點であらう。

兎に角現在ドイツの經濟界の不況は、世界的不景氣の影響を享けたものであつて、必ずしも合理化のみの罪とはいひ得ないと思ふと同時に、若しドイツに合理化を實施しなかつたならば、今日果して如何なる狀態を呈したことであらうか？恐らくは戰後の難局から現在の狀態迄の經濟的回復は、絕對に不可能であつたらう——ことは勿論、尙進んで將來に於て再び世界的の景氣が立直つたならば——如何であらうか？其の秋こそドイツは其の合理化された能率の優秀なる生產設備と組織の力とを武器として、一層目覺ましい活躍を爲し得る偉大なる潜勢力を持つてゐると觀なければならないであらう——（終）

黃塵

◇…銀價の救濟策としては曰く新しき金銀復本位制、曰く國際銀プール、曰く政府の買上、曰く銀器大衆化、曰く造幣需要促進、等々いろ〳〵に唱へられてゐる

◇…最近歐洲方面では歐米有力國が法律を定め、大藏省をして毎年何百萬オンスかを買ひ上げさせる而してこれを以て銀貨の純分を增し、又小額紙幣を廢して、この代りに銀貨を流通せしめる——かう云ふ手段を講ずれば銀は忽ち好影響を受けるに違ひないと言ふ議論もある。

◇…いづれにせよ明年は銀價救濟の國際會議が開かれんとする議論が米國及メキシコ方面で持上つてゐるから銀をどうして救ふかと言ふのが明年の世界經濟界の一大題目とならう。

市況（廿六日）

特產　奥地安を移して大豆暴落

今朝の定期は大豆は奥地安を移して暴落を辿り豆粕も相伴つて低落商狀を示し豆油は小堅く高粱は區々保合を辿つた

◇定期前場

▲大豆（暴落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	五八九〇	五八九〇	五八二〇	五八三〇
一月末	五九二〇	五九二〇	五八四〇	五八四〇
二月末	五九四〇	五九四〇	五八七〇	五八九〇
三月末	五九九〇	六〇一〇	五九四〇	五九四〇
四月末	六〇三〇	六〇三〇	六〇〇〇	六〇〇〇

出來高　六百十八車

▲豆粕（低落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一八二五	一八二五	一八一〇	一八一〇
二月限	一八六〇	一八六〇	一八四〇	一八四〇
二月末	一八六〇	一八六〇	一八四〇	一八四〇
三月末	一八九〇	一八九〇	一八六〇	一八七〇
四月限	一九〇〇	一九〇〇	一八八〇	一八八〇
五月限	一八九五	一八九五	一八九五	一八九五

出來高　十一萬六千枚

▲豆油（小堅）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一七三〇	一七三五	一七三〇	一七三五
二月限	一七三〇	一七三五	一七三〇	一七三〇
三月限	一七三〇	一七三五	一七三〇	一七三五
四月限	一七三五	一七三五	一七三五	一七三五

出來高　一萬一千五百箱

▲高粱（區々保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
二月末	三四八〇	三四八〇	三四七〇	三四七〇
三月末	三五三〇	三五四〇	三五三〇	三五四〇
四月末	三五八〇	三五九〇	三五八〇	三五九〇

出來高　十八車

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

品名	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	五九〇〇	五八一〇
出來高	百二十車	
普通大豆（出來不申）		
豆粕	一八二五	一八一〇
出來高	二萬二千枚	
豆油	一七九〇	一七八五
出來高	一萬三千箱	
高粱	三四〇〇	三三九〇
出來高	六車	
包米	三六五〇	三六五〇

錢鈔　仕手關係で鈔票强調

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は十四片四分の三と（十六分の一安）先物十四片十六分の十一と（十六分の一安）紐育は三十一仙八分の五と（四分の一安）孟買銀塊は四十四留比丁度と（四分の一安）舊期は七十二兩二五〇新申は七十二兩七五大洋は百一圓三十五錢日米は四十九弗八分の五と（同事）英米は四十九弗十六分の十一と（同事）英米クロスは八十五仙三十二分の二十五と（三十二分の五高）米支は三十五弗十六分の十一と（十六分の一安）上海標金は休會仕手關係で當市の銀價は強調を辿つた

◇定期前場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近期	五一〇〇	五一四五	五〇九〇	五一二五
遠期	五〇八〇	五一三〇	五〇八〇	五一二〇

出來高（期近）三百二萬圓（遠期）四百十八萬圓

◇現物前場（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五一一〇	一〇八一〇	二一二五五
十時	五一一〇	一〇八一五	二一二六五
十一時	五一二五	一〇八二〇	二一二五五
十二時	五一二五	一〇八二五	二一二六〇

出來高（銀對金）十二萬六千圓（銀對洋）三千圓

商品　麻袋變らず　綿糸踐り

麻袋　產地休會暗相場にて當市も氣乘薄く見送つたが氣配は保合商狀であつた

綿糸　米棉印棉銀塊共クリスマス休會のため情報なく大阪三品は一月限百三十四圓と一圓高六月物は百十九圓二十錢と一圓十錢高を示し當市はマバラ買屋の利喰ありて小手合せをみた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	四月限	一二三〇	二〇
同	五月限	一二〇三	四〇

出來高　六十梱

株式　內地株堅調　當所新甫高

北濱寄は大株二十錢安大新六十錢高鐘紡一圓高鐘新一圓四十錢高東京短期の東新は五十錢高と堅調を入れ當市の五品は當中四五十錢高新甫は十八圓ドタと踐りに生れ引は八十錢高と跳ねた東新は內地を上廻りて百八圓と上放れ錢鈔新豆も一二十錢高と踐り商狀を示した

◇定期前場

銘柄	當限	中限	先限
當所（寄）	—	—	一八〇
新豆（引）	—	—	一〇三
錢鈔（引）	—	—	一六一
氷新（引）	—	—	—

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
當所	—	—	—	—
新豆	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇
錢鈔	一五八	一五八	一五八	一五八
氷新	—	—	—	—

後場（軟弱）

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
當所（寄）	一八〇	—	一八七
新豆（引）	—	—	一〇三
錢鈔（引）	—	—	一六三
氷新（寄）	—	—	—
東新（引）	—	—	—
當所（引）	一八一	一八二	一八六

◇現物（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
當所	—	—	—	—
新豆	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇
錢鈔	一五八	一五八	一五八	一五八
氷新	—	—	—	—

滿鐵株（强保合）

▲東畑前場　滿鐵新株　二十五圓二十錢
▲大阪現物　滿鐵舊株　五十圓四十錢

市場電報

◇爲替及受渡日歩

銘柄		爲替	受渡	代引	日歩
當所		—	—	—	—
商信		—	—	—	—
新豆		一〇、〇	四〇	一〇	三
錢鈔		一六〇	四〇	九	三
氷新		—	—	—	—
東新		一〇六、〇	四四	渡一〇	逆一

◇現物（乙部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
大新（引寄）	四八、六	東新（寄引）	一〇八、〇	一〇七、七
鐘新（引寄）	六〇、七	郊外土地（寄引）	—	—

銀塊及爲替

品目	相場
倫敦銀塊	十四片四分の三
同　先物	十四片十六分の十一
紐育銀塊	三十一仙八分の五
孟買銀塊	四十四留比〇分
スチール	二十六弗八分の三
アナコンダ	三十六弗〇分
英米爲替	四弗八十五仙三十二分の二十五
米日爲替	四十九弗十六分の十一
米支爲替	三十五弗十六分の十一

棉花

◎米棉　現物　九仙八五

限月	前場
十二月	九仙七二
一月	九仙九八
三月	一〇仙二八
五月	一〇仙五二
七月	一〇仙七〇
十月	—

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	六一〇〇	六一〇〇
大新	四九〇〇	四九〇〇
鐘紡	一四六〇	一四八〇
鐘新	六一〇〇	六三〇〇
日糖	—	—
郵船	三八〇	三八〇
東新	一〇七〇	一〇八〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	—	—

安東株式

銘柄	前場寄	前場引
安取（當）	—	一〇〇〇
安取（先）	—	一〇一〇

大阪期米

限	前場寄	前場引
當限	一六一〇	一六二七
中限	—	—
先限	一五九二	一五九五

東京期米

限	前場寄	前場引
當限	一六四三	一六四〇
中限	—	—
先限	一六二四	一六二七

仁川期米

限	前場寄	前場引
當限	一三七〇	—
中限	—	—
先限	一三八八	—

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
十二月	—	—
一月	—	—
二月	六七〇	六七〇
三月	六六九〇	六六五〇
四月	六七一〇	六六九〇
五月	六七一〇	六六九〇

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
十二月	一三四〇	一三五〇
一月	一三六〇	一三六〇
二月	一三五〇	一三五〇
三月	一三四〇	一三三〇
四月	一三二〇	一三三〇
五月	一三〇〇	一三〇〇
六月	一一九〇	一一九二

大阪棉花

限	寄付	大引
當限	三三五	三三五
先限	三三〇	三三六

神戸豆粕

限月	前場一節
十二月	二二〇〇
一月	二二一〇
二月	二二一〇
三月	二二五〇
四月	二二五〇

爲替相場（廿六日正午）

正金（銀勘定）
日本向參着賣（銀建）　五一圓〇〇
同　十五日買（同）　五三圓〇〇
上海向參着賣（銀建）　七二兩七五

正金（金勘定）
倫敦向電信賣（日）　二志〇片廿三分五
信用付三月買（同）　二志〇片廿二分五
米國向電信賣（百圓）　四九弗二分
同六十日拂買（同）　四九弗十六分

鮮銀（金勘定）
倫敦向電信買（日）　二志〇片十六分七
同　二ケ月買（同）　二志〇片十八分
紐育向電信買（金建）　四九弗二分一
上海向電信賣（金建）　一四〇兩四分
同　賣（銀建）　五一圓〇〇
日本向電信賣（銀建）　五二圓〇〇
同　十五日拂買（同）　五三圓〇〇

奥地市況（廿六日前場）

錢鈔

銘柄		
奉天（奉票）（現物）	二八〇〇	—
奉天大洋票（定期）	五一〇四	五一一〇
開原（奉票）（現物）	五一一〇	五一一〇
同（鈔票）（先限）	一五五〇〇	一五四〇〇
安東鎭平銀（近期）	七〇一	七〇一
安東鎭平銀（遠期）	—	—
哈爾濱（大洋）（現物）	四四〇	四四〇

特產

▲大豆

地名	限月	寄付	大引
開原	一月限	一、三六〇〇	一、三三〇〇
開原	二月限	—	—
開原	三月限	一、三九〇〇	一、三六〇〇
長春	一月限	三、九六〇	三、七〇〇
長春	二月限	三、九六〇	三、九〇〇
長春	三月限	三、四六〇	三、九九〇
公主嶺	一月限	一、四五〇〇	一、四五〇〇
公主嶺	二月限	一、四三〇〇	一、四二二五
公主嶺	三月限	一、五〇〇〇	一、四五〇〇
哈爾濱	一月限	九一〇〇	八六〇〇
哈爾濱	二月限	九三五〇	九一五〇
哈爾濱	三月限	九七五〇	九五五〇

▲高粱

地名	限月	寄付	大引
開原	一月限	—	—
開原	二月限	—	—
開原	三月限	—	—
長春	一月限	七〇〇	七〇〇
長春	二月限	七〇〇	七〇〇
長春	三月限	七〇〇	七〇〇

▲小麥

地名	限月	寄付	大引
公主嶺	一月限	一、四〇〇	一、三〇〇
公主嶺	二月限	一、七七五	一、七七五
公主嶺	三月限	一、七八五	一、七五〇
哈爾濱	一月限	一、七〇〇	一、七三〇
哈爾濱	二月限	一、七六〇	一、七〇〇
哈爾濱	三月限	一、七六二五	一、七五〇

錢鈔

今朝の海外材料としては倫敦十六分の一安、紐育四分の一安、孟買四分の一安と一齊軟調を報じた▲爲替は日米米日共に不變上海標金は休會したので材料としては大勢軟弱であつたが▲地場鈔票としては反動高を驅致し二十錢高の五十一圓十錢と寄りあと更に人氣よく高値には五十一圓四十錢を示し結局三十五錢高の五十一圓二十五錢と引けたが▲既報の如く賣買獎勵金として總會の承認を得た二萬圓也は信託會社が保管することゝなつたので▲かゝる條件付の交附は當初の趣意とは少し異るものがあるとて取引人副組合長赤塚氏は今朝高崎專務を訪ひ懇談する所あつた▲手數料引下げに代る獎勵金なら今少しあつさりしたがよい。

（上もの）出來高　七車

定期喰合高（廿四日帳入）

品名		前日對比較
大豆	三七一九車	六一車
高粱	一〇九四車	九車
豆粕	四二八九千枚	六五千枚
豆油	一三〇五百箱	△一五百箱

特產

休日明け今朝の定期は大豆は奥地安を眺めて一氣に下押八錢乃至十一錢方の暴落を辿り出來高も六百十八車で異常の賑ひを呈した▲主なる仕手は買方では聚成祥、昇源各百二十車、廣源泰六十五車、成發東四十車賣方は福順厚百二十車、裕祥源九十車、加藤八十車、日淸、瓜谷二十車等であつた▲豆粕も大豆安に伴つて三錢方の低落を示し十一萬六千枚の出來高があつた▲豆油は現物南支筋の買氣に刺戟されて案外小堅く引け高粱は無味平凡であつた▲現物大豆も百二十車の手合で油房八十五車豐年、三菱、鼎新、昌、聚成、福聚昌、廣源泰三十五車である▲今日の豆粕生產高は四萬五千枚操業工場二十軒現在高は百二十八萬九千枚である

株式

休日明けの北濱寄は鐘新の一圓四十錢高を初め諸株共堅調を示し東京短期の東新も百七圓ドタと踐りに寄つたので當市も強氣配となり東新は內地を上廻つて百八圓と上放れた▲殊に當所株は薄物をめがけて買上げられ當中四五十錢高新甫は十八圓ドタと生れ引際更に八十錢高に跳た▲當所株はあすの總會控へで一寸景氣をつけた譯できの高値に鞘合せをしたが元々賣物薄といふだけで薄商內の裡に吊り上げられた相場だけに大した期待も出來ない▲春相場で東新が百十圓臺でも突破したら買方の理想値である當所株の二十圓臺をみせるかも知れないが二十圓臺には相當まとまつた賣物も出ることを覺悟してかゝらねばなるまい

綿糸

けさ海外材料は米棉印棉銀塊共前日クリスマスのため情報なく大阪三品は期近一圓高先物一圓五六十錢高と踐かりを示し當市はマバラの利喰買ありて小口の手合あつた▲大納會もいよ〳〵あすに迫つたが期待外れた年末相場らしい相場もなく平凡な商狀で越年するらしい▲三品はけさ踐りを示したが現實の品枯れ人氣が市場人の頭に蘇へつてきたので目先一寸明るい氣分をみせた譯であらう▲かうなると春は一杯高からうといふ人氣にもなるがさて明けてからの相場がどうなるか▲三品地場としては品薄と操短を重くみて大體目先强氣が多く一般は銀塊の不安定需要減から鞘氣が多い振り合にあるからいづれにせよ春相場は一波瀾免れまい

社說

反蔣軍の整理
依然として殘る支那統制上の癌

蔣張の南京に會するや、その主なる要件は反蔣聯盟であるところの山西、西北の兩軍を如何に處分するかにあつた。然るに張氏は手を拱して黃河以北を勢力範圍に入れ得ただけに、すくなくとも山西軍の善後措置を餘儀なくせられ、西北軍は中央政府の手で何とかするといふやうなことであつたらしいが、蔣氏は共匪の討伐に出征し歸北した張氏は兩軍の整理を引受けた形となつて、山西軍や西北軍の將領を召集して詮定したと傳へられるが、もとく何よりも第一に必要なものは金であり、その金となるとサスガの奉天側にも難色あり。それが原因で張學良氏も容易に天津から歸寧し能はなかつたやうな次第とも察せられる。蔣氏が自分の正面の敵であつたところの山西、西北兩軍の殘始末をなさんとするのに、それを張氏に一任したといふのも結局するところは金の問題からであつた。それを引受けたのであるから厄介であるといはねばならぬ。尤も奉天派の勢力は金を出しただけ擴大する譯であるが、併しへタなことをすると却つて問題を惹起せぬとも限らぬのである。

勿論、大勢は一に歸するともいふべく、閻錫山氏にしても馮玉祥氏にしても、また汪精衛氏などにしても時代の趨るところに向つて居られれば結局、敗殘者たることを免れぬけれども、さりとて過渡期である以上、敗殘者たる山西、西北その他の雜軍などが、何時、如何なる問題を起さぬとも限らぬ。傳へらるるが如く張氏の措置が石友三軍に手を觸れず、山西軍に少しく厚く西北軍に薄いやうなことから不平不滿が起り時局を紛糾せしむるやうなことがありとすれば奉天側の迷惑は勿論のこと、引いては支那の統制を擾亂することになるのではあるまいか。

尤も支那の統制といふものも明年の一月一日から撤廢するといふことを中外に發表してゐる釐金稅問題の如きも長江沿岸の數省において試みに行つて、さいふ程度であり、それさへ國家の元首であるところの蔣介石主席が高が地方の土匪草賊に毛の生えたやうな共産匪軍を退治に出て行かねばならぬやうでは、大體の狀態は推して知るべしともいふべく、蔣氏として は勇壯活潑、この上なしとも觀られるが少しく輕率の誹りを免れぬではあるまいか。それは兎にかく山西、西北兩軍の整理が張氏の手に一任せられてゐるとして結局は金が問題で捗々しく行かぬとすれば支那の統制問題も蔣張會見の當時と自ら形勢の變化を示すものといはねばならぬ。眞の統制に邁進せば奉天閥を絕滅せねば徹底せぬことになり、そこに張學良氏としても矛盾があり蔣介石氏としても撞着あることを承知してゐる。ゆゑに南北の統一が中途半端に停頓せざるを得ぬのであつて、その邊は例の支那流に牛上落下の不得要領で當面を糊塗するより外はあるまい。それでは對外的に大きなことをいふても結局、仕方がないといふことになり、蔣介石、張學良らの面子も立たぬことになる。

反蔣軍の整理ばかりではない。支那の建設には各方面に亘つて各種の整理整頓が行はれねばならぬのであるが、多年の懸案であるところの釐金稅さへ長江沿岸の八省かに行はれ他は後になるといふのを見ても大勢を推するに足るべく長江の八省でも一月一日から必ず撤廢し得るとも限らず支那のことは愈よ實現して見れば豫斷は出來ぬところから察すると山西、西北の處置が明春の禍亂の因子とならぬとも限らぬ。吾人は何よりもそれを恐れるのである。それだけまた張學良氏としても些少ぐらゐの金のことなら、この際、一ト奮發して支那統制上の癌ともいふべき反蔣軍の殘黨、それから雜軍の善後處置に最善の努力を盡されんことを望まざるを得ぬ。吾人は明春においで蔣張の對峙衝突を見るべしなどと不吉のことを豫言するのは避けるけれども若し張學良氏にして山西、西北兩軍の善後處分を上手にやり蔣介石氏にして共匪の討伐に失敗するが如きことあらんかそれこそ支那の統制は必ずしも期して俟くの要あるを思はざるを得ない。

全員總起立のうちに滿場一致奉答文可決
宮中の御都合を伺ひ議長捧呈
きのふ衆議院本會議

【東京特電廿六日發】開院式勅語奉答文作成に關し二十六日午前十一時三十二分開會された、衆議院本會議は藤澤議長より十八名の勅語奉答文起草委員を指名し同三十五分休憩、奉答文起草特別委員會を開いて文案を決定、零時四十五分再開藤澤議長は奉答文起草委員長西村丹次郎（民）を除く西村委員長登壇特別委員會の經過を報告し委員會で作成せる奉答文案を朗讀すれば總員起立滿場一致可決議長は宮中の御都合を伺つた上で參內捧呈する旨を述べたる後

藤澤議長　島田俊雄君（政）から動議が提出されてゐますこれより暫時休憩します

と宣す時に零時五十五分、勅語奉答文左の如し

恭シク惟ルニ車駕親臨シテ茲ニ第五十九回帝國議會開院ノ盛式ヲ擧ケ優渥ナル聖詔ヲ賜フ臣等感激ノ至リニ勝ヘス臣等愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ上陛下ノ聖旨ニ對ヘ下國民ノ委託ニ酬イムコトヲ期ス衆議院議長臣藤澤幾之輔誠恐誠惶謹ミテ奏ス

直訴犯人に關して政友、緊急動議提出
『甚だ遺憾』と內相報告

午後一時五十八分三度開會安達內相は議長着席に先立ち議席を離れ一人大臣席に着く

藤澤議長　先刻島田俊雄君より陛下御還幸の際起つた容易ならざる事件につき政府は眞相を明かにすべしとの動議が提出されて居りますが安達內相よりの發言がありますと告げ安達內相登壇

安達內相　陛下御還幸の際比谷公園裏門にて拜觀者中に挙動怪しきものあり直ちに引致取調べた結果何か奉書に認めたるものを懷ろにしてゐた事判明した此の者は山口縣人で今朝四時京したもので恐怖的精神病患者なる事判明した斯る精神病者が拜觀者中に交つてゐた事は甚だ遺憾である

と述べ次で島田俊雄君（政）登壇

島田氏　私の動議を提出せざ……と述べ一本釘を打つて降壇駆くて二時七分議長散會を宣す

けふの兩院

【東京二十六日發電通】二十七日兩院の議事順序左の如し

貴族院　午前十時開會勅語奉答文の決定を爲し十一時德川議長參內し奉答文を捧呈す、其の後須賀副議長議長席に着き全院委員長の選擧を行ひ德川議長より奉答文に對する優渥なる詔勅を賜りたる旨報告して散會

衆議院　午前十時開會全院委員長の選擧を議長より奉答文に……

緊急質問打合

【東京二十六日發電通】政友會は二十六日午後零時五十分院內控室に代議士會を開き森幹事長より我が黨は島田總務をして左記緊急質問を爲さしめることゝしたから御諒承を乞ふ

と述べ異議なく決定次で議長が休憩を宣するに只動議が出てゐるから云ふだけで如何なる動議か其の內容を說明せざるは先例に依る事であるから議長に警告を發したいとの意見出で適宜の處置を院內役員に一任することゝして一時十分散會した

動議

本日の陛下還幸の際突發したる容易ならざる事件に就き政府より顛末を求む

緊急質問答辯方針協議

【東京二十六日發電通】幣原首相代理安達內相江木鐵相等木幹長は奉答文議事に入る前大臣室に集り本日陛下の御還幸途上起つた不敬事件につき野黨より緊急質問ありとの情報に依り答辯方針を協議した

羅馬御訪問の高松宮殿下

首相出席せねば休會の動議を提出
又は緊急質問で徹底的に糾彈
政友會の對議會策

【東京二十五日發電通】政友會は今議會に臨むに先立ち最高幹部の間に於て一切の戰端は來年休會明けの議會勞會より其の火蓋を切るべき事に方針を極めてゐたので年內の議會では絕對に政府に對し交戰的態度を避けてゐる、然して政友會は濱口首相の議會出席如何を重大視し萬一首相が休會明け議會に出席不能の場合は法律論としては兎も角、政治上の責任に於て看過する事は出來ぬとの見解の下に斷然糾彈的態度に出で、首相の出席を見るまで休會の動議を提出するか、又は緊急質問に依つて徹底的に之れを糾彈し、先づ政府に致命傷を負はさんと目論でゐる、然して一般的作戰方法としては財政外交不景氣問題其の他各般の政治問題に就いて飽くまで其の內容に亘つて徹底的に之れを糾明し、政府の失敗を國民の前に暴露する方針を執る事となつてゐる

民政代議士會

【東京二十六日發電通】直訴事件に關する政友會の緊急質問に對する動議に對し民政黨は院內總務に於て協議の結果之を許さずに決し直に代議士會に諮つた結果反對意見も出たが、事皇室に關する以上進んで國民に眞相を明かにした方が良いと云ふに決し質問を許可する事となつた

開院日の濱口首相
たゞ、ムツツリと默想に耽る
正月半ば頃には退院

【東京二十六日發電通】議會開院式の日病室生活の濱口首相は午前九時二十分起床と云ふ勇敢振り寢臺の上に坐り椅子を乘せて兎ながら家人と談笑し九時半の診斷も健康者と變りはない濱口首相は病室に餅飾りをなし本當に更生の新年を迎へると云ふ議會開會以來訪問客もウンと減つて病院は俄に寂寥の感がある、首相は相變らず無精者の本質を現はし腕も動かさず一日中南向きの窓から差し込む冬の日を全身に浴びながら只ムツツリと默想してゐる退院は正月半頃の豫定であるが鹽田博士は溫泉にでも行くのでなかつたら當分病院生活が一番よからうと云つてゐる

勝利を見越して事勿れ主義で進む
難題を持掛くれば力で押切る
民政黨の根本作戰

【東京廿五日發電通】第五十九議會を乘り切るべく政府に於ては……

中央擁護は名のみ
學良氏の態度露骨
事によつては北方大同團結で
蔣氏の勢力に對抗

釐金撤廢通電
遼寧當局に到着

遼寧省政府は昨日財政部長宋子文氏の釐金撤廢に關する二十三日附通電を接受したがその要旨左の如し

北方軍整理に一抹の暗影
西北軍は滿腹の不滿

【北平廿五日發電通】張學良氏は二十四日夜自邸に西北、山西兩軍將領を招致し各個別に會見して……

討共軍の給與を增額

太田關東長官に政府上京を要望
貴院方面の諒解の爲

東京電燈總會

東北政務委員會は明年一月から撤廢
既に全國統一完成の建前から
閉鎖準備に着手

東北鐵道網十二線明春から起工豫定
二、三を除く外實現不可能か

昭和五年掉尾の閣議

東鐵の減俸一月から
決定まで一議論

整理具體案
大評定で決定

共匪討伐後雜色軍整理

特典範圍擴張
貨物の吸收策

六千六百萬圓で朝鮮の窮民救濟
三年繼續事業に決定

航空隊員視察

五龍背溫泉と各地との通話
近く實現せん

人事

市況（廿六日）

株式
內地株軟弱
當市軟調

特產
買氣薄く一齊軟弱

錢鈔
反動的に鈔票軟調

商品
綿糸不勢

市場電報

文藝

レヴュウを語る
＝大劇場出現せよ＝
（七）　酒井眞人

レヴューは、安直に、近代人の末梢神經を滿足させるので、空前のレヴュー時代を現出するに至つた。

實際日本に於けるレヴューの流行は、寧ろ運過ぎる感があつたことは、勿論流行を助長すべき誘導劇場がなかつたことが一つの原因であつたが、又一方、これを實際に實現しようと踏ん張る人がなかつたせいもあつた。

レヴューには勿論、俳優以外に優秀なオーケストラや、贅澤な舞臺裝置が必要であり、それはパリーのムーラン・ルージュを取り入れたトーキーや、その他のレヴュー映畫によつて私達にも知られてゐることであるが、かういふ條件を考へると、レヴューはどうしても中々容易ならぬ大事業であるのだ。たゞ芝居が出來て、踊りが踊れて、歌が唄へる丈けでは、本來のレヴューとまでは豪語し得ぬのである。レヴューには是非とも贅澤な舞臺裝置が必要なのである。

絢爛だとか、莊麗だとかアメリカのレヴューがいへるのも、實にその華麗極まりなき舞臺裝置によるのだ。狂言に溺れる前に、觀客は、先づその舞臺面から來る夢幻境に溺れるのである。レヴューを助けるものは、舞臺なのである。そして舞臺に金をかけてゐる點では、パリーのレヴューも、アメリカのそれには到底及ばぬのだ。

この舞臺に金をかけることは、しかし向ふでは、一シーズンも永續するのだから、引き合ふ譯であつて、素晴らしい當りを取つたレヴューなどになると、何年も同じものを打ち續けてゐる位だから、成程これなら、華麗な舞臺も意のまゝな譯である。ローズ・マリーの如きは、三年も打ち續けたといふ長期興行の記錄を持つてゐて、かうなると出演劇團の名を呼ぶよりか、劇場の名で呼んだ方が、分りが早い位である。

そして又かういふところの舞臺を踏む踊り子達は、大概座附で三年位は稽古するのである。だからこそ、脚をあげた寸法までも、描いたやうによく揃ふので、かくの如く長期興行の出來るのも、又六十何人もの踊り子達が一齊に踊れるといふのも、畢竟レヴューの爲めの大劇場があればこそなのである。

そこで必然的に、この日本のレヴューに要求される事柄は、大劇場の創設である。レヴューを革新し、本當のレヴューを創成する爲めには、是非ともこの大劇場が必要なのだ。

そしてこの大劇場に相應しい唄ひ手や、踊子達が出て來れば、日本もやつと映畫常設館的レヴューと離れた概念の、本格的レヴューを持つことになる譯だ。

試みに今臺辭の問題を捉へて見れば、歌舞伎劇における女形として第一流、たとへば梅幸、松蔦を始めとして多賀之丞、時藏、秀調、福助等は、皆女に扮して舞臺に立ち、何れも隅から隅まで聞える臺辭の持主である。

これを見ても分る通り、臺辭の徹らない俳優に立女役はないのであるから、レヴューの踊り子達に於ても、結局臺辭の徹らないものは、落伍者となるのである。

しかしそれかといつて、徒らに日本のレヴューを悲觀すべきではない。既に前にも述べた如く、寶塚にも日本劇場にも、聲樂、舞踊、臺辭等の、それぞれ長所を發揮せしめる專門研究科があつて、大劇場出現の曉、そこの大舞臺に立つて十分美しい本領を見せてくれるやうに訓練を積んでゐるのである。この上は、大劇場さへ出來れば、レヴューは萬歲である（完）

飛行士（一七）
ヴ・イテイン作　浦路觀譯

彼等はしみぐ輕い煙を樂しんだ、つい前までは飢をたしのぐ爲めに藥草か何かのやうに煙草を嚙んでゐたのであるが今は滿腹の上に充分煙を味はふことが出來た。

——愉快だなア——とチャンツエフが言つた。

——そこでさ……チャンツエフ君、プロペラーを廻して見やうぢやないか——とエルテイシエフが力を入れて言つた。

彼等は壞れたプロペラーを廻して見た、それから貯藏したガソリンを注ぎ込んで今一度懷しさうに機體を檢べ始めた、チャンツエフは又高い所に立あがつて緊張した顏付きで何人かの信號を聞くかのやうに耳をそば立てた。

——確に飛べる——と彼は自信ありげに靜かに言ひ放つた。

彼はそれからプロペラーの破片を拾つて不時着の原因と日附とを書きつけてそれを一番高いどちらからも見える岩の角にしつかりと立てた、後で彼は今度は無電裝置の前に來てしきりに聞いてゐた。

そんなことをして又一日が暮れた。又嚴しい寒さが雪と星とに手を延ばして來た、二人は蒲團を何枚も重ねてその中に寢て更に五枚づゝ上に掛けた。石の上に寢てゐるのであるが蒲團の下には不自然な溫かさがあつた。

——君、言ふなよ——とエロテイシエフは最早夢心地で言つた。

——何をさ？——

——いや、僕が奴をファシストらしいと言つたことをさ——

——ウム、よし……——

チャンツエフは煙草をふかしながら微笑した、彼れは上衣と靴とを脱いで寢た。何時だつたか年寄のユダヤ人が汽車の中で彼をゆり起して言つたことを彼は思ひ出した、その時チャンツエフは着たまゝ眠つてゐたのでその男は履物をつけたまゝ眠る人は六十分の一だけ死んでゐるのだとタルムードに書いてありますよと言つた、甘いことを言ふと思つた、履物をはいておまけに腹が空いたまゝだつたらこれア六十パーセント位は死んでゐるのかも知れぬ、脫がなくちやいかぬと彼は思つた。

チャンツエフは又先のことを考へ出した、自分の足下に展開される世界のことを考へて見た、明日見るだらう所の世界、それは一切の物を飛び越へて最短距離を、高い天空を走つてゐる自分だ、溫かい海の上に出る、女共が水浴着を着て橫たはつてゐる、褐色に色取られた山の中腹には葡萄が實つてゐる、目の前の世界は益々急テンポに先きへ先きへと展がつてゆく、モーターの奏する三絃が高く鳴り響く。

山、山、そしてそれらを閉した氷、それは皆他の何人も考へたことも見たこともない未知の光景だ。

明日は今日のやうに又あの黑い鐵色のユンケルが飛んで來るだらう、そして又大きな柔かい包みを落としてくれるだらう、その中には新しいプロペラーが入つてゐる……………。

チャンツエフは煙草も吸ひ飽きて寢返りを打つた、それから暗闇や淡い光線やの交錯してゐる中で靜かに目を閉じた。

彼は安心して靜かに眠つた、父に抱かれて自分の後には大きな、力強い、親切な保護者のついてゐることを知つて安心して眠る子供のやうに（終り）

『雪崩』その他
——ジャック・フエデイのこと
大庭武年

峻峰には雪が眞青に輝いてゐるけれど、然し麓村には平和な春の陽光が溢れ、村人は咲き亂れた高山植物の花の間を屈託もなさゝうに野良に通つて行く——斯うした明媚な瑞西山村を背景に、牧歌調豐な物語が、天才少年俳優ジャン・フォレストを中心に抒情詩の如く繰展げられたあの名畫「雪崩」（原名——子供の顏）を諸君は觀られたであらうか。私は若し出來るなら此映畫を三度迄觀た私の感激を諸君に告げたい。又若し何人かゞ私に「嘗て觀た最高の映畫は？」と問ふたならば、私は直に此映畫を擧げるに躊躇はしないであらう。

それ程この映畫は私を惹きつけた。キャメラの良い譯なら、ストオリイの良い譯なら、アクテングの良い譯なら私は他に幾編もの優れた映畫の名を擧げることが出來るだらう。然しこれ程迄に綜合的な映畫美で私を魅了した映畫を、私は他に擧げることが出來ないのである。

藝術に限らず、その國柄といふものはどんなものにも著るしく反映するものであるが、實際此の映畫なぞを觀ると、フランスの作品でなければ見られない味が沁々と感ぜられる。そしてなほ、映畫を監督者の全人格（才能、個性、性格、教養）のよき反映物とするならば此の映畫は、ジャック・フエデイでなければ示し得ない味を沁々と感ぜさせてゐた。

私は「雪崩」を觀て一度にジャック・フエデイの心醉者になつた。そして次々と發表される氏の作品に限りなき憧憬の念を寄せた。然し、私が氏を知る以前に封切られて了つたのか、又は輸入せられなかつたかして、私の渴望に拘らず遂に私が見る事が出來なかつた次の三本、即ち「女郎蜘蛛」——1919「クランクビーユ」——1922「成り上り者」——1928等は別として「雪崩」——1925「面影」——1925「カルメン」——1926「テレズ・ラカン」——1929等は幸ひにして、一度乃至二度は泌々と觀賞する事が出來た。決して惚れた欲目ではなく、私の氏に對する期待は一度として裏切られた事はなかつた。例に依つて氏の自然に對する詩情は「面影」に於てはオーストリアの地方色を「カルメン」に於てはスペインの高原地帶を自由にキャメラに求めさせた。そしてそのワン・カット、ワン・カットは詩のスタンザの如く美しく相關聯して一篇の抒情長詩を生んだ。

又氏の針の如き纖細な心理描寫のリアリズムは「雪崩」を極致として他の孰れも他人の追從を許さぬ刻明さ、深刻さを示し、又氏の持つ運命觀上のニユアンスは、特に「面影」ドイツで撮つた「テレズ・ラカン」等に著るしく認められるが如く、その畫面に妖氣な含んだ陰を醱漂はせた。

私は氏をロマンテストであるとするには異論はないが、然し氏が徒らにリリシズムのみを追求する詩人であると考へる者には反對したい。氏は常に人間の宿命を凝視めてゐる。人間の性格のどうにもならない悲しいもつれを眺めてゐる「愛慾と性格の相剋」「運命と死」は、氏の一貫した暗い人生觀らしく思はれる。

映畫雜誌を久しく手にしない私は氏の近狀を知る者ではないがニユースによると、氏の渡米第一回作品「接吻」が近く日本に公開さるゝとの事である。必ずや刮目に價するものと期待される。なほ聞く所によると氏はまだ若いさうである。氏は先輩アベル・ガンスやエプスタンやレルビエに決して貢けぬ未來性を有してゐる。氏の將來にこそ「雪崩」以上の作品が期待さるべきかも知れない。

此の一文は折にふれ別段の理由もなく成つた隨想であるが、私は讀者の中にも必ずや隱れたるジャック・フエデイ宗がゐるものと信じ、敢てそれ等の諸君と共にひそかに氏を可愛しまんと考へたのである。

追記——最近當地常盤座に於ける「テレズ・ラカン」の映出方法は筆者をして憤激さすのに十分であつた。心なき業ではある。

スタヂオ風景
白藤愛光

所長——。能率といふことのみを朝から晩まで考へてゐる人種。そして次に賣出すべき女優に就て熟慮する。然しA子は彼の待合行に賛成しなかつた——その理由で端役から一歩も出さず、Bは彼のウインクに心よく答へたといふ結果から准幹部に昇進の辭令を出す。所長とはまアそんな役である。

◇

監督——。全地球上に絶讃を貰ふやうな大作品が創つてみたいと一樣に誰もが考へてゐる。が、幸か不幸か、そんな映畫はたゞの一本も創られない。

如何に經費を節減し、如何に時日をカットするか、それにのみ腐心する。先づ配役が決定して、その主役女優と道出の一泊を樂しむ——そんな餘得でもなければ、迚も歩に合はない商賣さ。

◇

男優——。大會社の大幹部とまで月俸僅か百五十圓程。であるが故に、いつも金持の後家かなんぞをパトロンとして物色する。毎月下宿屋の支拂ひに困惑し通して、たまに地方の撮影旅行に船車の一等待遇にノホホンと收まりかへり、この時とばかり威張り散らす。配役が惡いとゴテる。色男役をやりたがる。女優とすぐクックツク不良少年上りでないとても出來ない商賣である。

◇

助監督——。カントクの小使兼給仕なり。

◇

女優——。處女を護つてゐるやうでは、到底ワンサから一歩も出られない。今日本で一流と謂はれてゐる人たちは、皆揃つて、それぞれ、特殊條件を具備してゐる。最近梅村蓉子がその消息を暴露して了つた。朝にAに嫁ぎ、夕にBと戯す、まさかそれほどでもないけれども英百合子を看よ。彼女等は概れカントクと結婚する。それが最高の安全瓣だからだ。その例外の人はたいてい、シネマブルヂョアの妾何號がある……と思つていゝ。

◇

字幕人——。原作者の間違つた臺本の文字を修正しないでその儘書いて了ふ。故意にだ。月給が安いから妙なところで仇を討つ。

◇

脚本家——。月々の責任脚本に苦勞する。[illegible]がない。地方から送つてよこす無名作家のシナリオを、良い部分だけ切り抜いて、それをいくつも繼づけにして一つの筋を構成させる。それが特作品——そして誰もが自分の職業を呪つてゐる、それほど慘めな役廻りである。

◇

撮影者——。監督の意嚮を表現しやうとすればカントクと喧嘩になる。何れにしても緣の下の力持だ。撮影所で一番損な役所。碧川弘光だけは別。

◇

黒んぼ——。大切な俳優が、危險な撮影をする場合、遠景にしてその替り役をさせられる。水へ飛込んで一圓五十錢の手當。勿論會社から生命保險にも傷害保險にも加入させない。死んだら金一封で追拂はれる。近頃病院に輸血志願者が殺到しても條件がむづかしいやうに、この黒んぼも、主役俳優に酷似してゐないと不可だ。だから志願者が多くても成功する者が少い。今東亞で賣出してゐる阜秀人は、死んだ目だまの松ちやんの有名な黒んぼだつた。

◇

撮影助手——。カメラを擔いで踊る人足。

◇

大部屋女優——。臨時待合御用職人。

探偵小説　D市の暗殺事件（六）
瀧銑三郎

さて事件のあつた日の三日前から私は持病のために寢込んでゐました。此れは私にとつて非常な苦痛だつたのです。なぜと云へば、丁度其の頃出來た、妻の新らしい相手青柳新之助との秘密の遊戯を見て樂しむ事が出來なかつたからです。處が事件の前日、より以上の心配が私の枕元へ飛び込んで來ました。それは無名の主より一振りの青龍刀が送られて來た事です。貴方とは御存じないかも知れませんが、某方面の手先となつて働いてゐる秘密結社紅巾會では或る人物を暗殺せんとする場合には必ず其の當人、又は最も身近の人物に青龍刀を一振り送る事になつてゐるのです。私の場合、此れは淩親王暗殺の前ぶれである事は勿論の事です。私は其の青龍刀を秘に私の部屋にかくしておいたのですが何かのはずみに藤澤秘書が其青龍刀を手にしたものと思はれます。從つて當然彼の指紋が殘つてゐたのですが、事件後現場にあの青龍刀が發見された際、藤澤秘書が嫌疑を受ける動機となつたのです。では何故其の青龍刀が現場で發見されるやうになつたか、それは後に御わかりの事と思ひます。

心配と焦燥に駆られた私は遂に其の翌晩、つまり事件當夜、眞夜中に親王と相談する爲病軀をおして庭へ出たのです。御存じでせう私共の居る庭から親王の寢所へは庭を通りぬけて行かねばならないのです。

處が私が庭の中程まで行きますと、其處で實に意外なものを見たのです。何と其處で私の妻と現在主人の淩親王とが密會してゐるではありませんか、いかに變態的になつてゐるとは云へ、私も相當驚かずには居られませんでした。

しかし、これも今になつて考へて見れば、私がもう少し二人に近づいて居たなれば、此處のやうに此事件をもつれさせずとも濟んだかも知れなかつたのです……何故なれば、私や妻が花井氏から突き込まれたやうに當夜は闇夜で見たとは云ふものの、ハッキリ二人の姿を見るには餘りに暗過ぎたからです。

とにかく私がいきを殺らして二人の様子をうかゞつてゐる時、私と反對側の木陰から一つの影がパッと飛び出して來るなり、親王の橫腹へ短刀をブッスリ突き込んだのです。

しまつたッ……身に寸鐵を帶びてゐない私は大急ぎで部屋に飛んで歸りました。そして持ち出したのが例の青龍刀です。

再び庭へ飛び出して見ると……勿論犯人がいつまでもそこに居やう筈がありません、それに私の妻の姿も見えないのです。唯淩王の死體が橫にわつてゐるのみです。處が親王の死體を引き起した私は二度びつくりさせられたのです……」

と急に花井氏が口を出した。

「殺されてゐたのは親王の服をつけた青柳新之助だつたのでせう」

「えッ」今度は私が驚かされた。

「さうです、親王ではなかつた。新之助だつたのです。そこで思ひついたのが、新之助の首を切りおとして、かくし、あくまで親王が暗殺されたと云ふ程にする事です……」

「で貴方は青龍刀で新之助の首をおとした。が、不注意にも其の青龍刀を現場に忘れた。處がそれには藤澤秘書の指紋が殘つてゐた。何故藤澤氏が辯明しなかつたか？ それは青龍刀の持主が戀人の父である事を知つて居る彼として、どうしてもそれを云ふ事が出來なかつた。そこで持つて來て濱江夫人の自己防禦の爲めでたらめの證言があつた。で藤澤氏が犯人と云ふことになつたと云ふ譯ですね」

まくし立てる花井氏の言葉に對し、松本老顧問は一々肯定するのみであつた。

其夜例のバーで、私は花井氏に云つた。

「どうして始めつから殺されたのが親王でないと云ふ見込みを立てたかね」

「解らないかね。つまり助けて、人殺しッ……と叫んだのは日本語だ、わかつたかね、親王は支那人だ、いくら日本語を使ふと云つても、あの咄嗟の場合日本語が出るはずがない、もう一つは濱江夫人の僞證だ。夫人は、一度藝臘をしらべておくとよかつたのだよハハハ」

×　×　×

花井氏の帰で、日本名にかくれ引續き戲計畫を進めてゐると聞いてゐた淩親王も、築中ばにして斃れたと花井氏の使ひにあつた事が私に此の手記を書かしめる事になつたのだ。（完）

滿日各地版

哈爾濱

お約束に觸ねば何も構はぬ
鐵道問題に餘り神經過敏だ　宇佐美所長の話

[illegible]者支那の鐵道會議を開くのも、其の理由は交通の統制も主なる話だが何でも銀安の運賃率でしかも奮いタリフだからこれを改正せねばならぬといふてゐるから當然運賃を引上げる肚裏で會議を召集する考へであるから運賃率は現在よりも高くなる筈である、さうでなければ支那鐵道は自滅するより仕方がない、從つて一時的現象の支那鐵道銀安運賃に對して

滿鐵が 競爭的態度にでるここは地方の共同資源開發のために良い結果を齎すものでない、それが合理的のものならばよいたさへば鐵道の集貨策により經費を節減しそれだけ運賃を安くするといふことは研究せねばならぬ問題である、尙內地で騷がれてゐる東北交通委員會の鐵道網政策——北滿の新鐵道敷設といふが如きも本年一ケ年間にいかなる新線ができたかといへば僅かにチチハルから克山に至る廿五キロの延長が竣工したに過ぎぬ狀態である

中國が 東北四省間に鐵道を敷設することはそれが日中協定、條約に抵觸しないものならば支那はどし／＼新線を敷設すればよい、兎に角神經過敏にならぬことだと思ふ

哈市輸入組合の擔保貸出不成績
非常な不便に原因

ハルビン輸入組合の利用率は各地に比較して良成績にあるが、擔保貸出は出資額の三倍まで認められてゐるにも拘らず三十數萬圓の融資額に對し僅かに二萬圓程の貸出よりない現狀であつて擔保貸の項目はあつても事實利用されてゐる程度は問題さならない、その原因は

融資を 受けんさする組合員が擔保物件はあつても小口打出に非常なる不便あるためださいはれてゐる、たさへば五十梱の綿絲を二、三梱賣約し小口打出をしやうさすると先づ輸組の承認を得た上、正隆に現金を持參しその許可を得てから國際の倉庫に到り小口出荷をするさいふ有樣で銀行は午前十時から午後二時の營業時間であるためざうかすると其等の手續きを經るのに一日を空費し自然

購買力 を阻害する結果さなり、このため輸組への擔保を見合し直接國際の倉庫を利用し金融の道を講じてゐるのであるさい

日本の不況
いや驚いた　軍司顧問談

內地からこのほど歸來したハルビン滿鐵事務所顧問軍司義男氏の印象談

兎に角十年振りで日本にかへつたので東京なごはすつかり樣子が違ひ銀座街の一路にはいつてごちらが北か南かさへ判らぬのに驚いた、日本の財界は極端な不景氣で一例をいふと三越の如きも顧客は多數つめかけ食堂の如きも人でうづまつてゐる景氣だが、總體的の賣揚高はと聞くと何でも二割五分乃至三割の減少だといふ、絹布類の如きも好況後の時價さして半額以下になつてゐる、各方面の深刻なる生活苦に思想的傾向も左翼化してゐることは事實である、一女事務員を雇ふとの廣告が出ると百有餘の希望者が殺到する狀態で

ふのである、この點が改革せられない限り擔保貸出の便宜は全く有名無實であるさ

お醫者も不景氣

就職戰線の恐しいストーム來たを豫感せしめる、總てが全然變つてゐるのでみるもの聞くもの一つとして愕きの種であつた、それに東京、大阪目拔の場所に貸屋札が横に張られてあるのが眼につき、家賃の如きも家主の言ひ値ではいるものはないといふ有樣でどこまでこの現狀が續くか豫測でなきない

不景氣のせいか各方面では緊縮、節約、節儉の聲でいづれも一つの品物を購ふにも手控える有樣である、そのためでもあるまいが無くてならぬ醫師の收入まで半減し景氣が惡いと病氣まで緊縮するのだらうといふ、その代りに賣藥が賣れるかといふと平常よりは矢張り三分の一は賣行が惡いとあり、大體の病氣は我慢するためであらうと年末大賣出しもこのため例年にない不況である

嚴寒の北滿には兒童保健が第一
先づ運動をさせやう

放課時間だらう校庭の銀盤上には大きい黑いまりをほうり投げたやうに兒童が飛んでゐる、スッーさ風を切つて辷つて行く勇ましい姿嚴寒零下廿度、眼鼻を切るやうに痛い、太陽の光も微いスケート場に活躍する兒童の元氣のよさ——ながめて校長室にはいつて來た白髮校長は語る

大體に元氣で運動をしてゐますが南滿さちがつて腺病質系の血色の惡い子供が多いので父兄保護者の人々さ相談して肝油を與へては目下御意見を伺つてゐるのです、公主嶺では感冒のため全校生の大半が感染し休校してゐる狀態ですからできるだけ豫防法について家庭さも連絡をさり子供の壯健といふことに注意せねばならぬと思ひます、最近催しました母の會も主さしてそのためでしたがこれからは各シーズン毎に會を開きたいと思ふのです、たさへば春先さか夏の如き疫病豫防の必要がある際に會を開く考へですが皆さんの熱心に嬉んでゐます、來年度の卒業生は高等科が二名で一名は師範入學の希望で他は家庭さのことです、五、六年生中から男女生約三十餘名が中等程度の學校へ入學するの希望ですが入學には滿洲ではやはり學校の內申が一番效果的ですれ、大阪では內申制のために弊害が現はれましたが、先生の罪ですよ、先生さへしつかりしてゐれば內申はよいと思ひます

——さ眞の我子が入學するやうに子がチラツさ見える——來年の新入學生は男女さもで約八十餘名です、學級は本年度同樣十一學級でやつて行かればなりません——

露支電話權會議の露代表

東鐵の露支電信、電話權會議はデニソフ副管理局長が病氣のためモスクワに歸還したので一時停頓してゐたが、デニソフ氏の後任代表さして電信課長メルズーロフ氏が任命され、委員さして次長が就任した、これによつて近く交涉を續行することに決定した

さ苦さう、校長室の硝子戶棚に兒童に關する衞生、學術其他の統計資料が就任以來の努力で稍完備したらしく識別レッテルが光つてゐた

バルコニー

ソウエート聯邦の滿洲における輸入——ダンピングの實質について調査したのは商陳さ商議の二つ▲ところがその數字がマルキリ反對で商陳は一ケ年半分の統計か、商議が半ケ年分かの判別がつかぬさいふ▲同一の調査資料に二重の數が出るのだから中村調査主任は眼を丸くしてゐる▲愕いたのは中村さんばかりではない聞いたバルコニー子も調査といふものの甚だ六ケしいに魂をつぶした▲これでは商陳商議の腕比べさいふことになる▲机上の調査ではない實地調査は仲々困難なものにて候？

安東

メリケン粉で銀貨を偽造
……すると稱して詐欺

安東縣南松面龜頭洞一〇一八李日賢(二七)は貨幣偽造の妙技を有するが如く吹きかけて利慾な鮮人から金を捲き上げた事が發覺し安東署に捕へられたが連累者として李の友人三名も相前後して擧げられ目下取調べを受けて居る首謀者李日賢は連累者の金應綱以下を夫々手先に使ひメリケン粉又は木炭等を藥品だと欺罔しこれを練つて五十錢銀貨をメッキすると手品師の如き手段で巧に本物の五十錢銀貨とスリ換へ甘く偽造が出來た風に裝ひこれが資金として現金を提供せしめたものだが被害者は同地の利慾者三名で捲き上げた金は八十八圓に上つて居る

郵便事務延長

安東郵便局では現金出納の多忙な年末に迫つたので公衆の便宜を圖る爲め特に二十五日大正天皇祭の休日を廢し午前九時から正午迄爲替貯金振替貯金等一般現金受拂事務を取扱つたが二十八日の日曜日も前同樣取扱ひをなす筈

リンクに注水

大和小學校では數日前より校庭に設置せる氷滑リンクに注水を行つて居るが二十五日全部の注水を終る筈である同リンクは約百五十米突程度の滑走が出來凍結の曉には可愛いスケーターで同リンクは大賑はひを呈するであらう

高橋貞二氏就任を承諾
競俱後任會長

安東競馬俱樂部は創立以來事毎に紛糾を續けてゐた爲め創立以來同俱樂部會長たりし荒川六平氏は圓滿なる諒解の下に會長を辭任する事さなり高橋貞二氏を後任會長さして推薦　たる結果過般開催されたる同俱樂部總會に於ては滿場一致を以て高橋氏を推薦したが時恰も同氏は歸鄉中にて同氏の歸安を待つて斡旋役たる藤平、中川、瀨ノ口三顧問より就任方交涉を開始したるも同俱樂部紛糾の後の事であり暫く就任方を承諾せざりしが二十四日各方面よりの切望の爲め就任方を承諾した就正式就任は荒川現會長旅行中に付き歸安を待つて兩氏より發表の筈

水道事故激減

近年稀なる暖かさで鴨綠江の凍結も明年であらうと觀測されて居るが地方事務所水道係は此の暖かさの爲め水道事故がなく冬季に入つて僅に凍結事故四件にすぎず同係は非常に閑散である、今後も一層注意を拂つて事故の發生を未然に防いで貰ひたいと語つてゐた

集金を横領

去る十九日安東署刑事が市內大和橋通大和旅館に於て偽名投宿の擧動不審の內地人男を認め本署に引致取調べるとこの男は原籍熊本縣熊本市無職住所不定の田中肇(三[illegible])

大麻雀會を開催
五地方の同好者を糾合
本社煙臺取次店の迎春催物

本社煙臺取次販賣店に於ては迎春の催し物として沙河、十里河、煙臺、張臺子、煙臺炭礦等の各地同好者を以て煙臺炭礦クラブに於て大麻雀會を開催することに決定しました、優勝者には本社及取次販賣店より賞品を贈呈いたします、尙大會期日其他は追つて發表する筈であります

にて本年二月頃まで撫順印刷所に勤め約二ケ年間に亘つて同所の集金を約二千六百餘圓橫領全部遊興に費消し發覺を惧れて同所を辭め同地の洋服店より新調の背廣を買求め代金を支拂はずして出奔各地を流浪の揚句當地に來り大和旅館に投宿したもので當局に於ては業務橫領詐欺罪として目下引續き取調中である

警察武道納會

新義州署の武道納會は二十三日午後一時より擧行し劍道及柔道さも個人並高點試合をなしたが來賓の參加もあり盛會であつた當日の入賞者左の通り

▲劍道　一等加茂、二等鄭春山、三等金奎煥、四等三瓶
▲柔道　一等鈴木、二等柴田、三等今田、四等田中

宮代校長赴任

安東高等女學校教諭宮代周輔氏は今回長春高等女學校へ轉任する事さなり二十五日午前の列車で單身赴任し家族は明年三月當地を引揚げる筈尙後任さしては撫順高等女學校教諭小川讓太郎氏が近日中着任するさ

北京村今昔
顧問全盛時代　辻野朔次郎氏談

村の生立

北京日本人村が村らしき形態を備へたのは明治三十三年北淸事變の後からである、それ以前に於ける北京は村の形なく、事變の治まつてから段々さ日本人の數も殖え明治三十五年北京村に於ける邦人の戶數は四十九戶で、男子が一六五名女子は僅に七名であつた、軍人及その家族は含んで居ない、斯くして合計一七二名の北京村が初めて形を造つたのである、ところが三十六年頃に至つて淸朝が北淸事變の影響を受けて永き眠りから

村の住民

覺め、淸朝の有識者の間に政教の改革論が、唱へられ、先づ改革の第一歩さして國民教育から改造せればならぬと氣付いた、如何にして斯く氣付いたかと云ふに、日本の明治維新からヒントを得て、國民教育の、重大なる事を悟つたからである、それで先づ第一着に教育を盛にするには日本に學ぶを得策と考へる人々が多くなつた。

斯くて三十六七年に亘つて盛んに日本の教育家を招聘した、その結果我が北京村の戶數は一大飛躍をなし、戶數一一六戶、男子三一七名、女子一二二名となつた、これ等の人達は主に教育家であつた、その當時警務學堂は川島浪速氏が監督し、教習は全部日本人で占めて居つた、それから、京師大學堂には服部宇之吉博士外九名が教鞭を執つて居り又京師法政學堂は巖谷孫藏博士を始め外五名さらに、京師法律學堂には岡田朝太郎博士外四名、その他、陸軍學堂には岩永義晴氏外五名その他藝徒學堂に十七名、八旗高等學堂、第一師範學堂農事試驗場、北京國等にも多數の日本人が招聘されて居り是等の人々の總計六十名を越ゆる勢ひであつた、斯く北京村も一時は教育方面に却々勢力のあつたものだ、この時代を稱して教習時代と云ふべきであらう。

▽——△

更に一年を越えて明治三十七年には一六二戶、男子三五六名、女子一六八名で合計五二四名を示すに至つた、ところが三十七八年の日露大戰に依り、一時北京村の人口は減つたのである、その原因は支那に在つて多少支那語を解し支那に通じた者は相踵いで通譯等として滿洲に去つたからである、その結果三十八年には一〇八戶に減り、男子二二三名、女子一六九名で合計三九一名となつた、女子は減らないで男子のみ減つたのは男子が滿洲に行つた結果である、それから一年を過ぎ三十九年に至つてはやゝ殖えて戶數は一二九戶男子二七七名、女子一九五名、合計四七二名になつた。

▽——△

四十年に至つて更に殖え一四八戶男子四一七名、女子二六七名合計六八四名になつた、斯んな工合で北京日本人村は北淸事變で開け、日露に依つて發展の緖に就いた、教習時代の全盛は光緖三十四年卽ち光緖の末年に至つて了つた、是は西太后さ光緖帝の相繼いでの崩御さ共に南方に於て革命運動が盛になり、淸朝が動搖を來した結果である。

▽——△

それで北京村も宣統一、二、三の三ケ年の間は非常に淋れた。然し教習時代の人々は減つたが、商人や事業界の人達は殖えて來た。

▽——△

それから愈々革命が成功して民國元年さなり、民國の基礎がやゝ固まるに及んで教習時代に代るに顧問時代が繼續して來た、民國二三年頃から七、八年迄は顧問時代さ稱す可きである。

▽——△

その招聘された顧問連中は、大總統府には軍事顧問さして靑木宣純中將、鐵道顧問には平井晴次郎博士、通信顧問には中山龍次氏、政府顧問に有賀長雄博士、財政顧問に常吉德壽、川田貫造の兩氏が居り、それ他諸機關に多くの顧問が招聘されてゐた、此の時代を稱して顧問時代さ云ひ得るであらう

村で最も古い銀行は橫濱正金銀行支店で、明治三十六年頃から開かれてゐる、又村の銀行さしては天津銀行支店がある、會社には三井三菱、大倉、等の支店又滿鐵公所日本鐵道省の辦公處等がある、數年前迄は古河公司、住友公司等の支店もあつたが今は無い、その他所謂土着の商店は可なりの數に達してゐる、病院には同仁會の經營になる日華同仁病院があり、廣く日華兩國民の間に一視同仁の主旨により仁術を施して、大いに村人に安心を與へて居る。

四平街

更新の生花大會
一般の生氣を添ふべく
本社四平街支局の新春催し

光輝ある昭和六年を迎ふるに方り本社四平街支局は全市各階級の夫人達を網羅して一月十五、十六兩日新裝成れる驛前輸入組合事務所階下に於て生花大會を催すこととなつた、生花大會は各流生花の出瓶を歡迎し興新の氣に燃ゆる市勢に一段の生氣を添ふる筈である

四洮列車の襲擊事件
多數の犧牲者を出さん

去る九日四洮列車の馬賊襲擊事件は所管警備區域である梨樹、昌圖の兩縣長並に公安局長及公安分局長以下の警戒不充分にして斯の如き大椿事を惹起せるものなりさて目下遼寧省警務處に於て嚴重に責任者を審議中なりさいふが問題が重大なるだけに責任者の範圍も相當擴大するならんさ見らる

震災義捐金

靜岡、伊豆地方の地震罹災民に對する義捐金申込は純地方人二百四名にして金額二百〇九圓八十八錢、これに滿鐵側を合計すれば四百八十七圓八十八錢さ云ふ數字に達した

市井雜俎

四平街キリスト教會所屬日曜學校は廿六日午後六時より滿鐵俱樂部に於て例年の如くキリスト降誕祝賀會を開く▲凜冽骨を砭るきのふ午後四時頃昭平橋畔に一見勞働者風をした年齡四十歲位の支那人の男が凍死してゐたが、地方に身寄りのない者かあの寒い吹き晒しの橋の袖にいつまでもコロがしてあつた▲國際支店のタイピスト佐藤芳子さんさ谷口龍次郎氏のお孃さんの二人は輸入組合の聯合賣出しで白米三俵さ西陣お召一反の一等賞品の籤を引當てゝ嬉しいやらキマリが惡いやら綺麗な花のかんばせに時ならぬ紅葉を漲へてゐた

鄭家屯

元旦の行事

鄭家屯居留民會の元日行事左の如し

(1)午前十時　小學校新年祝賀式
(2)午前十時半　領事館御眞影拜賀式
(3)午前十一時半　鄭家屯ホテルに於て新年互禮會

民會役員認可

鄭家屯領事は昭和五年十二月廿二日附を以て昭和六年度民會役員を左の通　認可した

▲會長稻田、袈裟義▲副會長、山口雄造▲會計主任岩崎鐵平

菅野氏引揚

特産商さして又は民會副會長さして日支人の信賴篤かりし菅野高治氏は今般都合に依り四平街に引揚ぐることゝなつたので二十三日各方面を歷訪挨拶した

長春

各學校御眞影

聖上陛下の御眞影を捧持した太田滿鐵會社學務課長は二十四日二十時三十分着列車で來長した、同課長は官民多數の奉迎裡に驛貴賓室に入り御眞影を奉置、直に御下賜の光榮に浴した長春高等女學校、長春商業學校、室町小學校、西廣場小學校の四校々長は貴賓室に伺候、太田課長より夫々御眞影を拜受し出迎への職員生徒等と共に歸校し御眞影室に奉安した、尙御眞影は各學校長より貴賓室にて學務課長まで奉還、同課長は同夜二十二時發列車で南行した、官民の奉送迎の外に憲兵隊、守備隊の護衞があり嚴肅莊重を極めた

大正天皇祭

大正天皇祭遙拜式は二十五日午前十時から長春神社境內において執行、官民多數參列盛の如き式次嚴かに十一時式を閉ぢた

各校正月休み

各學校の樂しいお正月休みが來た長春市內では左の日時である
▲商業學校、高等女學校　十二月二十五日から一月八日まで▲室町小學校、西廣場小學校　十二月二十八日から一月五日まで

奉天

商埠地に强盜頻々
居住民脅ゆ

廿四日午後六時半ごろ南市場石炭商福順號に强盜二名現はれ脅迫の上金品を强奪し逃走した、最近商埠地には强盜被害事件が續發するので支那側公安局でも必死さなつて搜査中であるが、賊團はいづれも警戒網を潛つて逃走するので同地居住民は戰々兢々さしてゐるさ

新城子附近に又も馬賊

この程新城子附近に大馬賊團現はれて以來同地方居住民は戰々兢々さしてゐるが又もや廿四日夕新城子を西北方に距る二邦里の支那部落大孤家子、黃圖子に約二百名より成る馬賊團が現はれ盛に掠奪を行ふため同地方居住民は不安に堪へず新城子附屬地內に續々避難し來り、同夜までこれ等避難民が二百名も押しかけて來たとの急報により奉天から守備兵一ケ小隊並に奉天署から福田巡査以下二名同夜新城子に急行し同地を嚴重警戒してゐるさ

全滿飲食店聯合會長問題

大連飲食店組合長兼全滿飲食店聯合會長である桑島氏の辭任問題に關し撫順組合長さ出連し大連組合さ折衝を重ね廿五日歸奉せる白石奉天飲食店組合長は語る

桑島氏さ直接面會して色々辭任された事情につき聞き又全滿聯合會長の後任も桑島氏以上の人物を推すから承認して吳れぬかさ組合側の方針を聞いたが、自分は斷然桑島氏の留任を主張したため大連側は役員會を開いて打合せをなすことになつてゐたしかし更に大連組合側さ會談したところ別個の人を會長に推したさ桑島氏の留任は出來ないと強硬な態度に出たので自分は聯合會には少からず助力してゐる桑島氏を一期でもよいから會長を勸め双方さも可成り硬化したがその中桑島氏を相談役に推すことに妥協成り桑島氏も承認したので歸つて來た

震災義捐金

豆相地方の震災義捐金は奉天に於ても續々集つてゐたが奉天署でも廿五日を以て一先づ打切り廿六日集つた金七百十三圓六十六錢を關東廳に送付した

藤村領事歸省

奉天總領事館藤村領事は亡夫人の遺骨を携へ廿五日十五時二十五分發安奉線で鄕里大分に歸省したが約三週間で歸任の豫定である

同情の金品

市內松島町峰八十一氏は金百圓を、隅田町十一番地竹內繁夫氏は百一圓十二錢ほか子供衣類數點を何れも貧困者救濟のため奉天署に屆け出た

人事

▲柳澤少佐（奉天第三十三聯隊第三大隊長）千葉步兵學校入校のため二十八日離奉の筈
▲草川少佐（同第二大隊長）二十八日着任
▲谷口大尉（同第三大隊第十中隊長）三重縣名賀農學校服務のため廿五日夜離奉大連經由赴任
▲加藤特務曹長（第卅三聯隊留守隊附）廿六日安奉線にて離奉赴任
▲守中淸氏（大連醫院長）廿五日大連より歸奉
▲米澤安東領事　二十五日大連より來奉
▲田中新義州署長　二十四日夜歸任

瓦房店

御眞影奉還さ奉戴

瓦房店小學校に御眞影を御下賜になつたので廿四日午前十時二十分小學校々庭に職員、兒童は勿論、各所屬長、地方委員、新市街在住有志、新聞記者等集合、最敬禮の下に中條校長舊御眞影を奉じ狐出警部補前衞、小野寺所長、佐藤署長後衞沿道警戒、諸員奉送裡に十時五十分奉還、更に新御眞影を奉戴、小學校に奉遷したが肅さして聲なく謹嚴其儘であつた

危險な賣藥

越中富山市丸一泉藥舖販賣に係る賣藥通じ丸は劇藥を多量に含有してゐるので關東廳に於て服用を禁じ且つ賣藥を差押へて居るが約二百二十餘袋に達した

モーターサイレン出來あがる

附屬地警備用及每日の正午を知らしむべくモーターサイレン吹鳴に關しては先般來地方事務所に於て機械の購入に付內地方面に交涉中なりしが幾多の鑑照を重ねて今回漸く到着したので直に警察署屋上に取付けた、試驗の結果は良好である、今月中は試驗、元旦より正式にならすが吹鳴方法は每日正午の時報さ、次は火災その他天變地異の非常事變を在住民に報知せしむるので前者は一分間長鳴後者は一分宛三回に區分して吹鳴する事さなつた

大石橋

大石橋小學校に下賜の御眞影

恙なく奉迎還を終る

既報の如く御眞影の奉送並に奉戴は二十四日午後零時三十七分谷口校長御眞影を捧持して安置せる校長室を出づるや、林警部補は先驅警衛の任に當り河内地方事務所長大津警察署長、橋本司法主任、齋藤憲兵所長、増田地方係長、伊藤地委議長その他官民有志多數參列し全校生徒は中央通りに整列し奉送申上げ、驛—學校間の通路の要所々々には警察官の嚴重なる警戒ありプラットホームに着御間も無く急行列車到着無事奉還、新御眞影を奉戴し谷口校長恭々しく捧持して校内に安置し恙なく奉送奉戴を終りしは午後一時であった

地方委員有志懇談會

二十四日午後三時より地方事務所會議室に於て公會堂改築に關し場所その他を協議し、なほ地方委員は奉天より豫て廻附し來たれる委員選擧に關する規則改正問題を討議し終って忘年會を日本館に於て催し八時過ぎ解散した

七時より小學校講堂に於て第三回修了式を擧行するさ

滿鐵社員俱樂部落成式

鞍山滿鐵社員俱樂部は新築中の處いよ〳〵完成したので二十七日午後四時三十分より有志多數を招待し落成式を擧行するさ

非常消防演習

鞍山製鐵所の非常消防隊は二十九日非常消防演習を實施すべく目下計畫中であるが三十日より一月七日までの休業中は特に火氣に注意されたしさ

石川醫長博士に

鞍山滿鐵醫院内科醫長石川精一氏は博士論文提出中であったが二十五日博士論文通過の報に接したさ

四氏の退團宴

鞍山實業青年團では今年定年に達し退團する植田團長外伊藤益太、野尻彌一、伊藤春治の四氏は廿五日午後六時より實業會本部に於て團の役員二十數名を招待し退團に際し開宴したが頗る盛會であった

富永次長招宴

鞍山製鐵部次長富永能雄氏は二十五日午後二時から新聞記者數名を自宅に招き談話、圍碁、將棋等の競技を爲し懇親宴を催したが盛宴であった

鞍山

消防出初式七日擧行

鞍山消防隊では恒例により新年の消防出初式は一月七日午前十時より構内に於て擧行する豫定である

御眞影奉安

鞍山小學校及中學校に新に奉戴する御眞影は二十四日十四時四分着列車にて到着したが驛頭には上田大隊長、井之上局長、地方委員、實業青年團、小學校、中學校生徒等數百名の奉迎者ホームに整列した太田驛長に日向校長、矢澤校長捧持し所長、松木署長、小山田憲兵所長等護衞し一般奉迎者最敬禮裡を出で警察官の先驅にて自動車にて小學校、中學校の奉安殿に奉安せられた

大正天皇祭

鞍山神社では二十五日午前十時より大正天皇祭遙拜式を擧行せられたが多數の參拜者があった

青訓所修了式

鞍山青年訓練所では二十七日午後

新年初諮大會

鞍山滿鐵醫院の院内新年初諮大會は一月四日午前九時より三階廣間に於て開催する豫定であるさ

阪元理事歸鞍

鞍山輸入組合理事阪元藤三郎氏は鐵嶺、四平街、長春、奉天等に取引狀況視察出張中であったが二十六日用務を終へ歸鞍した

遼陽

小學校自治會

遼陽小學校では四年生以上の生徒をして自治會を組織せしめ學校内に於ては勿論放課後は家庭と聯絡して風紀、體育、衞生、學藝等の向上を圖って居るが最近學藝品展覽會に於て其の成績著るしきものあり引續き三川訓導が主となり冬期休業中にも實行せしむべく廿三日午前十時から自治總會開催左記項目の、行方につき協議した

一、風紀に關する問題(1)氷上で物を食べぬ事(2)休暇中教室に入る時は必らず當直教師の許可を受くる事(3)夜おそくまで起きて居らぬ事

二、體育に關する問題(1)休暇中家庭にのみ居らず時々外出してスケートの練習をなす事(2)なるべく外氣を吸ふて運動する事

三、衞生に關する問題(1)外出先より歸宅の時は必らず含嗽する事(2)食物を食ひ過ぎぬ事(3)夜寢る時は寢卷と着換へる事

四、學藝に關する問題(1)一月二日には書初めをなす事(2)趣味的方面を伸ばす事(3)新學期登校の際は俳句、圖畫、手工、綴方等を出す事

開原

恐るべき密殺肉行商者入り込む

開原署に二名檢擧さる

最近當開原市内に密殺肉を行商する者あり警察署にて嚴探中の處隣接地より入り込める行商二名を檢擧したが右は密殺肉を以て作れる生餃子を行商する者である、この種の肉中には靈蟲と稱する人體中に入り榮養を害するサナダ虫と化する虫及び胞蟲と稱し之を食する時は發熱し一命を失ふに至るが如き恐ろしい虫も含んで居る、各自大いに注意して僅かな値段の違ひに釣られて恐ろしい密殺肉や密殺肉で作った饅頭等を買はぬ樣に又斯る行商人を發見次第公衆衞生上直に其筋に屆出られたいさ

兩校の御眞影

二十四日午後五時開原小學校に奉安の御眞影は永野校長捧持、川崎所長同乘自動車にて開原驛に着聽接室に小憩之れより先驛上りホームには驛長室北側に軍隊南側、前列在鄕軍人分會、小學校、後列驛員、官民一般奉送迎者の順位に整列し列車の到着を待った、午後五時十四分定刻到着御眞影を奉還申上げ新に開原小學校に御下賜の御眞影は永野校長、昌圖小學校に御下賜の御眞影は瀨川昌圖校長奉戴し川崎所長付添ひ諸員最敬禮中を通過驛長室前より自動車にて小學校に奉安申上げたこの間御通路は警察官によって警衞された、また廿五日午前八時五十六分第十三列車にて昌圖小學校へ御下賜の御眞影は瀨川校長捧持、川崎所長附添ひ阿部警部補外一名警衞同乘同九時三十三分昌圖驛着、軍人分會、官民一般有志の奉迎裡に直に小學校に奉安申上げた

吉林

大弓部

非常な成績

吉林大弓部は本年初めて開いたにも拘らず部員の熱心と師範の親切丁寧の指導とに依りてメキ〳〵と上達したので態々沿線を試驗中であった滿鐵道場の石原一弓齋範士の立寄りを煩はして受驗の結果、當ろ永年實施して居る沿線よりは遙かに成績良好との事であった、發表された有段級者は次の通りである

▲二段林大八▲初段三ケ島伊作、遠藤梅三郎、江村武次郎、大高和三▲一級工藤正次、山崎保之丞、上杉策、芝元正次郎、堀梅治、米田喜一、寺尾民雄、細井時之助▲二級岩島勇太郎、平尾芳治郎、町田喜三▲三級石橋啓利、花田半三郎

右の樣な成績であるが、部員は目下此儘來春迄待って居るを好まず最近は名古屋館の地下室に於て猛練習を續けて居る、因に會費は電燈料、的張代として月一圓を徵收して居る

滿鐵公所忘年會

吉林滿鐵公所山崎保之丞氏は豫て病氣入院中の處此程退院し二十一日から出務したので吉林公所も氏の退院で一段と活氣を呈して居る、濱田公所長も氏の退院を見たので非常に喜び早速二十四日忘年會を催した

水道税免除の請願

扶餘縣前省議會議員傅心一及び同縣商務會長田瑞符等の一行六名は二十一日夕來吉し該縣の水道稅當分免除のため省政府に請願したさ

大賣出し活況

吉林商店聯盟の大賣出しは大賑賣のため豫想以上の人出で既に福引券の不足を感じたので今回更に多數の福引券を加へ一層景氣よく大賣出しをなすことになった、因に從來の十品はマッチの外に封筒、鉛筆等をも加へることさ

警官年末學科

吉林總領事館警察署に於ては三の兩日部長以下の年末學科試驗を施行したが何れも頗る好成績にて午後四時終了した

人事

▲省政府委員並農鑛廳長は滿般赴奉中のところ歸來した

▲農鑛廳技正張春恩氏は…の炭礦調査のため出張中の處此程測量を完了して該地の圖面を作製して歸來の上省政府農鑛廳に提出したさ

▲滿鐵公所長濱田有一氏は二十六日頃公務のため長春四平街方面に出張するさ

旅順

歲末氣分

漸く溢れる

日一日と押迫る年の暮に旅順警察署では晝夜の別なく密行張込等の特別警戒に從事し事故防止保安警察の徹底に努めつゝあるが、これがためか茲數日來は石炭泥棒一人さへ無き平穩な態にて平和郷の旅順を如實に物語ってゐる、二十八日を最後の俸給日として一齊に市中は暮氣分濃厚となろう

山火事

二十四日午前九時三十分ごろ旅順管内羊頭窪會後羊頭窪屯九八四官有林に山火事があったが同十一時鎭火した、燒失面積約二千町歩の枯草で損害なく原因不明目下調査中

新年用洋食皿盛

敷賀町食堂キムラの新年來客用洋食皿盛は二圓より五圓までの四種に別ち注文を受けてゐるが、和食料理の腕利きが趣向を凝らした添物盛皿は歡迎を受けてゐる

獨逸語講座

第二十課

c) 紹　　介

Darf ich Sie mit Herrn Greiser bekannt machen?	グライゼル樣ニ御紹介致シマセウ
(Dies ist) Herr Greiser!–(Dies ist) Herr Kimura!	(之ハ) グライゼル樣—木村樣
(Herr G.: Sehr angenehm, Sie kennen zu lernen.)	G氏：ドウゾ宜敷
(Herr K.: Ganz auf meiner Seite.)	K氏：私方コソ宜敷
Es ist meine Ehe, Ihre werte Bekanntschaft zu machen.	宜敷御願申上マス
Wollen Sie die Güte haben, mich Ihrem Freunde vorzustellen (mit Ihrem Freunde bekannt zu machen)?	失禮ですが僕を君の友人に御紹介下さいませんか
Mit Vergnügen! (Dies ist) mein Freund Herr Takahashi, (dies istmein Freund) Herr Ikeda.	よろしい僕の友人の高橋君之れが池田樣

d. 辭　　去

Ich wage nicht, Sie länger in Anspruch zu nehmen. (Wir dürfen Sie nicht länger belästigen.)	餘りお邪魔してはなりませんから
Aber bitte, bleiben Sie doch noch ein bisschen; Sie halten mich ganz gewiss nicht auf.	まあ、何卒、今暫く、いゝぢやありませんか少しも邪魔になんかなりませんよ
Habe die Ehre, (mich zu empfehlen.)	では失禮さして頂きます
Bitte, bemühen Sie sich nicht. Leben Sie wohl! (Aufwiedersehen!)	何卒、御かまひなく御機嫌宜しう(さよなら)

田園地帶を旅して

滿鐵沿線に働らく人々

—(二十七)—

生　波　難

大石橋附近には工業用の鑛石が多い、就中滑石やマグネサイドなど、歐洲戰爭の與へた刺戟によって、鞍山製鐵所が出來、内地の鑛業が發達した當時から、我も我もと探掘に從事したが、南滿礦業會社や、東亞公司も大石橋に出張所を置くやうになった、今は一時ほど盛んでないが、驛發送貨物中の重要品は矢張りマグネサイドだ、卽ち昭和四年度の統計を見ると鑛物(マグネサイド)二一七、三三五六噸、石材一三、九一七噸、生石灰一、九四二噸、粟一、二二九七噸、棉花八二八噸などだ、この外到着貨物では石炭八九、七七〇噸、高粱五、五六九噸、麥粉二、四四五噸、大豆二、〇四九噸、木材一、九六〇噸、コークス一、六四五噸鐵類一、一七二噸が重なる品目であった、猶筆のついでに目下の人口を擧げると、附屬地内に於て、日本人五六四戸、二、四〇八名、朝鮮人十戸、六三名、支那人二七五戸、一、六一四名だが別に接續地に支那人が二、四六三名居る

○—○

時間の都合で兵營に立寄ることは出來なかったが、私には思ひ出多い土地だ、其處には守備隊の外に軍馬班があって、驚野輜重大尉が四五年間馬匹の研究に從事して居た、驚野名譽出身の眞面目な武人だが、支那馬に就ては殊に一纏威であった、君はこが爲に蒙古に幾度か旅行を數回試みたが、馬の話になると徹夜しやうと厭はぬ

歐洲戰爭は武器の發達を證據立て、從來重要視された騎兵の威力は消滅した、日露戰役で日本軍を惱ました克薩兵も、速射砲の連發に逢ふては敵はない、況んや自動車、タンク、毒瓦斯が出來、空には飛行機、飛行船の縱橫に飛び交ふに於てをやだ、然し馬匹は益々必要になった、キャプテン、ベエスが歐洲戰爭は人の爭鬪であり、同時に馬の爭鬪であったといったが、確かに眞理だ、唯だ騎兵が廢って馱馬が必要になった、隨って馬型の標準が違ふ、速力よりも持久力に重きを置くやうになった、輜重と傳令、速力を無視する譯ではないが、強健第一には、外國風の競馬型は駄目、この點蒙古を本籍地とする支那馬は理想的だ、殊に背の低い脚の短い日本人向だが、私は蒙古旅行に依って益々その長所を體驗したと語る

○—○

君は騾のみでなく、牛も…の四ッ脚好きだった、犬の…つて居たが、その理由は…第一だ、それも啻に馬…武器の精鋭が宣傳され…開地の戰爭には矢張り…例へば草原許りで穀物…内蒙古では、人間の外…なく、牛も、駱駝も…糧を運ばねばならぬ…みで結構だ、但に牛…ふが、一日の行程は…い、十里と八里との…ぬが、外蒙の沙漠…して…駱駝である…の足…は沙漠は歩け…い肉瘤のやうな駱駝…な者で、眞に沙漠の…きだが、更に北極圏…なると、橇だ、犬だ…鹿だ、之を除外しては…樣がない…

不老不死 仙遊記

(八十一)

竹内克己

淺枝次朗畫

甘きは男よ (二)

その夜、樂しかった女との思ひ出の妄想に惱まされ、まんじりともしなかった溫公子は、女からの品々が氣になり、朝起きるとすぐ女の手紙を繰返し〳〵て讀んだり黑髮の香をにほいで見たり、女の靴にじーっと見とれたりするのであった。

お午近くに苗の禿が「又やって來ましたよ」と云ひながら部屋に這入って來た。

「今日は斷然あなたに最後の話をしますがね、もしあなたがあの女とほんとうに手を切るお考へなら昨日の品物は返してやって下さい、金鑛を可哀相とは思はないんですか」

「あんなもの燒いてしまったよ」

「アハハ……まあそれはそれとしておいて、一寸來て見て下さい」

旣に門の前まで來てゐた親方の鄭三を書齋に引っぱって來た。親方の鄭三は、溫公子の前に來ると、跪づいて頭を地につけ、ひれ伏して何かくど〳〵とあやまる。

溫「オイ、オイ、そんなにせずともいゝ、まあこゝへ腰掛て話さうぢやないか」

親方「それでは失禮さして頂きます。誠に何ともはや、娘の不都合やら、私どもの不頂法やらで、申…

…と、泣く。

こうまであの女が後悔してゐるのかと思ふと、溫公子も可愛相になり、それに女からの品々が心をそゝってもゐる……

溫「そんなにいはれると何うもしかたがない、では一寸だけだよ」

禿「それでこそ男だ。我が親友だ」

溫「なにッ禿、餘計なことを言ふな。君はあの若僧の太鼓でも叩けつ」

禿「こりゃー、手醜い、そんなわけぢや……だが善は急げといふから、これからすぐに……」

溫「あわてるなよ。めしでも食ってからだ」

意志の弱い、人のいゝ溫公子はついうまうまと罠にかゝり、用意にと奧へいった。

禿と親方の二人切りになると、

禿「オイ、なか〳〵と骨が折れたぜ、あのお坊ちゃん、今度は少し藥がきゝ過ぎたと見え、ひどく旋毛を曲げたものさ、しかしお前も芝居は上手だれ、ウッフフ、、、」

親方「いや全くあなたのお陰でした。お禮ないゝますよ。それにしても靈さんはほんとに策士です

頭目連の自然崩壊で離散馬賊が野盗化す

コレは皮肉な支那の犯罪現象

關東廳管下接續地の匪馬賊

關東廳警務局調査に係る一九三〇年一月から九月に至る間の管轄地域に接續する支那法區域內における匪賊の跋扈の狀況は實に一千六百五十件の多數に上り、既往十數年來曾て見なかつた猖獗ぶりであつた、これを昨年同期間內における匪賊の發生件數九百四十一件と比較對照すれば實に七百九件の增加で、比率から見れば約六割強の

激增ぶり を示してゐる、その害惡の質的方面から觀察すれば例年より著るしい狂暴性を有し、本年八月中の狀況について見るも人質として拉去された無辜の支那人の數は三百廿八名、殺害されたもの廿七名、軍警が討伐に際して殲滅したもの五十三名の多きに達してゐる、翻へつて關東廳管下における馬匪賊事件を見るさ流石に警戒網の完備によつて犯罪件數は管外支那法區域に比較して尠いが、馬賊跳梁期たる夏季六、七、八の三ケ月間の發生件數は六十一件に上り、昨年同期の四十五件に對して本年度は十六件の有難からぬ增加ぶりである、これを

附屬地外 支那側の六七、八月中の馬賊事件九百九十七件に比較すればその差は四百八十五件で洗滅行はれる帝國治下に棲む幸福が感じられる、更に一月から九月迄の匪賊被害者別調査に依ると日本人の被害は五十九件、支那人百九十六件でこれら匪賊の兇手によつて日本人五名は殺害され十名は負傷し、支那人は十九名の死者、三十名の負傷者、人質に十三名が犧牲を蒙つてゐる、本年度における馬匪賊事件の增加は支那における不斷の國內抗爭のため、中央或は山東省方面の避難民が滿洲をして

安住の地 を求めに來ることゝ、奉票及び銀價暴落による下層階級の極貧化、赤露沿線の水害により馬匪賊の北滿洲移動等が主なる原因で、これらが錯綜して北滿各地に馬賊の猖獗を招來したものであるが、こゝに支那の國史的發展段階が馬賊の消長に及ぼす影響として現はれたものに、近時奉天當局が纔に中央政府と合流して國內統一を圖り、社會秩序の恢復を圖る手段として文武官の免黜に事理を明らかにする方策を執ることゝなつた結果、從來匪賊、兇徒から機會を偷んで官界入りした登龍門が梗塞されたため、政治的野心から大馬匪賊團を形成してゐた頭目連が、自然的崩壞の運命に遭遇して

團徒解消 を行ふため衣食に窮した群小鼠輩が野盜化して事を働くのに基因するもので支那の帝國主義的發展階梯が却て國內に洋盜增加を來すといふ皮肉な犯罪現象が現はれる

念願が叶つて濱口首相と會見

もう大丈夫だと

會見後仙石總裁語る

【東京二十五日發電通】仙石滿鐵總裁は濱口首相を見舞ふ爲上京以來一日置きに帝大病院を訪ふてゐたが二十五日午後一時五分到頭念願が叶つて首相と會見し水入らずで二十分間話した、會見後仙石總裁は

濱口はもうすつかり大丈夫だ血色もいゝ之でわしも安心して滿洲に歸れる政治問題は話さなかつた

と嬉しそうに語つた

聖上陛下が靖國神社に御獻納の釣籠燈

畏くも聖上陛下には本年三月十日陸軍記念日の當日日露戰爭二十五周年記念の思召にて靖國神社に角型釣燈籠一對を御獻納の御沙汰あり、過般來上野美術學校教授渡邊香崖氏設計、同清水龜藏氏主任となり金工研究科生徒等が晝夜兼行で謹製中であつたところ、このほど完成したので今日午後二時御獻納遊ばされた、燈籠の高さは三尺五寸、屋根の直徑は二尺二寸にて全部黑味銅を材料としこれに透彫を入れその中央に菊花の御紋章を配した日方廿貫もある見事なものである（寫眞は靖國神社に御獻納になつた角型燈籠）

府縣會にも婦選を

【東京廿五日發電通】婦人參政權獲得同盟、婦選獲得同盟の代表者十餘名は廿五日午後安達內相を私邸に訪ひ

政府が來議會に提出する婦人公民權案は市町村のみであるから府縣會にも及ぼして欲しいと要求する處あり、之れに對し內相は

漸進的に範圍を擴張したい考へである

天津市で識字運動

市內だけに文盲四十餘人

天津市政府の識字運動は毎週火曜日に擧行されることになつたが市政府の調査によれば天津市だけで眼に一丁字もない者が四十餘人に達するといふので市內に民衆問學處を設け、不識字人口調查表を作り大々的に識字の必要を宣傳することになつた

昭和六年度陸軍大演習

熊本縣で御擧行

【東京廿六日發電通】金谷參謀總長は二十六日午後一時半宮中に參內聖上陛下に拜謁仰せつけられ、昭和六年度陸軍特別大演習は第六第十二兩師團を基幹として第六師團管下に於て御擧行あらせられたき旨の上奏をなし御裁可を得二時過ぎ退出した、なほ大本營は熊本市に決定してゐる

滿鐵調查課と築港課移轉

準備ビルにあつた滿鐵調查課並に築港課は本社鐵道部に隣接して建築された調查課事務所に移轉することゝなり廿六日早朝より書類整理、本箱、机の荷造りに多忙を極めてゐる

主なく漂流の血染の舢舨

般內に兇行に用ゐた菜切庖丁

有力な容疑者逮捕

血染の舢舨――今年も暮ると云ふに血なまぐさい殺人事件が海上において發生した、廿六日午後三時ごろ水上署西埠頭派出所に轉がり込む樣に王有勒（四〇）なるものが出頭、同日午後二時ごろ大連港口東燈臺附近に一艘の主なき舢舨が漂流してゐたが船內に夥だしい

血痕が 附着してゐたので仰天して屆出たものと判明、派出所よりは直にこの旨を本署に急報、司法係ではスワと許り滿く該舢舨を發見九番バースに引張り込み調查したところ舢舨內には血のりのベットリついた枕、蒲團並びに支那着衣があり、しかも血のりの中に大人の前齒と覺しきものが數本散在してゐる始末、犯行全く明かとなつたので俄然

色めき たち各方面に手配して檢查の結果、該舢舨は大連管內周水子金家屯二十二生れ大連北大山通居住、舢舨夫曹倉礎（三七）のもので、曹の行方不明から何者かに曹はやられた事と判明、尙船內には兇行に用ゐた支那菜切庖丁があつた、司法係では取敢ず證據物件を押收すると共に廿五日夜、北大山通海岸で同時に船をつけてゐた原籍山東省登州府榮城縣生れ北大山通り舢舨夫趙起明（三五）が有力なる嫌疑者として本署に連行目下取調中であるが、なかなか口を割らず

手古摺らせてゐる

一方水上署では刑事課その他各方面に手配し身寄りのもの等を召喚し種々調查した

双方示談交渉

市內山吹町百廿番地川上夑三から詐欺の告訴を出され大連署司法係吉富警部補の嚴重取調べを受けてゐた市內若狹町九四番地高岡景三は種々なる名目で川上から取つた約六百圓を返濟することを誓ひ双方間で示談交渉中である

直訴未遂犯人精神病者？

所持してゐた訴狀內容

【東京二十六日發電通】警保局發表＝聖上陛下が開院式より還幸の御途次、直訴を企てんとした犯人は、原籍山口縣佐波郡小野村字中山、現住所大阪市此花區上福島北二丁目二七石崎庄次郎方吉武榮（三二）と稱し、今朝五時五十五分新橋驛着大阪より上京したもので警戒線突破前逮捕したが懷中には左の直訴狀を所持してゐた、當局は精神病者と見て鑑定中である

直訴狀（原文の儘）

上　恐懼謹言　平和なる昭和御聖代に置きましては微賤なれども帝國民の一人たる私は相當の理由なくして社會的には信用を拒否せられ且つ又生命は忙殺されんとしてあります、文明開化の御聖代に此の無謀なる事の平然行はるゝは實に人心を惡化せしむる事なるを思ひ默視するを得ず敢て此の重大なる不敬を犯しました次第であります、伏して願ふらむ嚴密なる御精査を垂

擧動不審の七十男逮捕

議長官舍附近をうろつく

【東京二十六日發電通】天皇陛下開院式より還幸直前今朝十一時十分衆議院議長官舍附近で擧動不審の廉で愛知縣海部郡富士松村濱井安次（七〇）なる男を逮捕したが、この男は懷中に新聞の號外など所持し精神病者らしく目下取調べを進めてゐる

水師營の火事

廿五日午前十一時二十分旅順管內水師營東溝屯二三農業王新明方の物置より出火包米千斤、藁草二千斤を燒失したが損害四圓八十錢、原因は煙草の吸殼から

お母樣方へ急告

「幼年俱樂部」を讀む子は成績が大變違ふとは先生方が皆申されます、お正月は素適なオマケが八つもついて大變な評判

賭博を開いて貧困者達に施飯

お客樣が毎日三千人

シカゴの俠賊キャボーンが

ニューヨークのダイヤモンドと並び稱せられるシカゴの賭博並に密輸入の大親分アル・キャボーンは稼ぐことも大きいがそれだけに太ッ腹でサウス・ステート街の或る店を借りて其處で餓た人々に暖かいスープやパン等を供給して居る、此の恩惠に浴してゐる人が毎日三千人、其の費も毎週二千百弗（四千二百圓）に上るといふから大したものである、其の店頭には「スープとコーヒーを御提供致します」と大書した看板が揭げてあり、既に數千の人々がこの恩惠に浴した、献立はといふと朝食はコーヒーと味付パン、夕食はスープとコーヒー而も二度でも三度でも御代りが出來るのである、キャボーンは之れだけでは滿足せず更にもう二軒こんな無料食堂を開く計畫である、キャボーンの相棒で捕まつたグジックの裁判に於て證人が陳述した所によればキャボーンは當局の目をかすめてあちこちと移動しつゝ開かれるキャボーンの賭場の上り高は一月二萬五千四弗から三萬弗に上るとの事である【シカゴ發】

次回新小說

元旦紙上から連載

虹と兜虫

龍膽寺雄氏作　一木弴氏繪

本紙朝刊連載小說仲木貞一氏作、一木弴氏挿畫「海の唄」は好評裡に去る十七日完結を見たので、本社にては次回新小說として文壇の寵兒で流行作家の第一線にあつて活躍し、其の新鮮な感覺と藝術の香り高い筆觸によつて名聲を馳せてゐる龍膽寺雄氏に依囑して「虹と兜虫」を元旦の紙上より掲載することにした、挿畫は「海の唄」でその麗筆を示した一木弴氏が引續き擔當し畫風を一變して讀者に見ゆることになつたが、今回の「虹と兜虫」は滿鮮新聞連載小說の尖端を行くものとして本社の自負し讀者の期待を約束する作品である

作者の言葉

面白いかどうかは書いてみなければわからず、讀んで頂いてみなければともかくずいぶんいろんな人間がゴチヤゴチヤと出て、めいめい勝手な活躍をはじめますから、書く方でもせいぜいまごつかないつもりですから、讀む方でもまごつかないで下さい。では、いづれ。――

蠟涙垂れたケーキに靜に闌けるX・イーヴ

どこの家もクリスマスばやり

サンタお爺さんはおほ忙がし

メリークリスマス――クリスマス・イーヴに煙突からコッソリ忍び込んだサンタクロースのお爺さんは愛くるしいお坊ちやんや孃ちやんが寢てゐる間にマントルピースの上のスタッキングにいっぱい綺麗な

お玩具や その他いろんなクリスマス・プレゼントをお土產に置いて、またどこかへ消えて行きました――これがキリスト降誕祭前夜の子供の夢物語だが、クリスマスは基督教から離れて、もう市民層の間の年中行事の一つになつた、クリスマス・プレゼントは何等の宗教的臭味なくて無神論者の彼女から彼へ贈られ、佛壇を飾つた家にクリスマス・ツリーがデコレーションの綺縟を裝つて立つ、クリスマスを祝ふ各教會はサンタクロースの代りに獻金者の跫音を聽く、さて――クリスマスの祭典は早いところで廿四日夜から遲くて廿七日、サンタクロースの

お爺さん も四日がゝりの奮闘には定めしくたびれるだらうと思はれる程だが、流石に新舊各教會では廿五日の日曜を選んで一齊にクリスマスの夕べを催した、あどけない兒童劇、可愛い聖歌のコーラス、遊戲、對話、そしてクリスマス・プレゼントを假裝のサンタ・クロースから贈られる、山縣通の二つのダンスホールでは、國際都市の夜を樂しむ各國人が跳躍の酒盃を擧げてイエス降誕の夜を祝し、火影搖れる燈架の下に踊り狂ふて祝福に醉つてゐる、國際

テムポに 惠まれた大連都市だけに外風異俗の侵潤の市民層には早くからクリスマスのタを喜ぶ人々が多く、クリスマス・ツリーを飾る綿の雪に故國の師走を偲んで、蠟涙の垂れたクリスマス・ケーキがほろほろと截られるまゝに一九三一年を前奏するクリスマスの夜は靜かに闌けてゆく

旅順管內の犯罪數

本年度中に二百九十一件

昭和五年中における旅順警察署に於て取扱つた刑法上の犯罪者は件數に於て二百九十一件、此被害數二百五十一件にて未檢擧數は三十五件であるが主なる犯罪としては

惠まれた哈市のラヂオ

ハルビンのラヂオは上海を經由して米國との放送ができる外毎日ベルリン、ロンドン、パリーとの連絡もあり、日本からは東京、大阪神戶其他各地にロシヤとはハバロフスク、浦鹽、短波及長波にてはモスクワ、タシユケント、カザンとの放送も聽くことができる、西貢から一日三回音樂を始め世界各國の報道が放送されて來ると【ハルビン發】

一件の竊盜、二十六件の賭博、十六件の傷害、九件の橫領でその他行政上の諸規則違犯者は千六十二件であつた

幽靈郵便物

始末に困る

細かく刻んで屑屋に賣る

名宛人不明の爲め差出元へ返送される郵便物のうち差出人の肩書氏名不完全、氏名無記載、虛僞の氏名記載等のため返す事が出來ずやむなく當地遞信局で處分される不能還付、いはゆる幽靈郵便物は四年十二月から五年十一月に至る最近一ケ年の數量七千五百餘である

遞信局 でも其の途な

これ等の郵便物に對しては本文が脫けたりして還附する事も不能なものは遞信局に於て適宜處分する事になつてゐる、コウした郵便物は花柳界方面に緣ある逢の便りに多く、處分の方法も從來はこれを燒却して來たが、燒却すればこれを運搬する自動車賃もかゝる、人夫賃も要ると云ふので今年からは

商賣氣 をタップリ發揮してこれを細く裁斷し紙屑屋に賣却する事になつた、そして自動車賃や人夫賃を節約した上賣却賃を儲けやうと云ふ新案である、これから差出される年末年始の郵便物の中にもコウした幽靈郵便物が尠くない例であるから差出人は大いに注意して欲しいと遞信局では語つてゐた

紙類は之れを開封して取調べ差出人の判明するものはこれを返戻するの方法を講じてゐるが、名宛が洩れたり又は不完全であつたり、きや否やを確めるために有封の手

素晴しい年賀郵便物

郵便局は何處の郵便局でも年賀郵便の特別取扱で目の廻るやうな忙しさであるが、二十日から二十四日までの五日間に滿洲內各郵便局で引受た年賀郵便物は百四十萬四百四通、で前年の同日間に比し三十七萬一千九十五通、約三割六分の激增を示してゐる、この勢ひで行くと本年中の引受數は豫想より約百萬餘通を超過し六百五、六萬通に達するであらうと觀られてゐる

アルゼンチンの震災被害

【アルゼンチン・カファイアテ二十四日發電通】二十四日朝ボリヴイア國境サルタ州に起つた激震の被害はラボト地方のみで死者三十五名、負傷者七十名あつた、被害地が廣い範圍に亙つてゐるため確定數はなほ不明であるが今後の調査に依り被害は甚大の模樣である

大東京の横顔

ナンセンスな銀座の夜店點描

（九）

一記者

日本の盛り場は、大抵神樣か佛樣を乃至は芝居小屋を中心として構成されてゐる。淺草の觀音樣さか、深川の不動さま、日本橋の水天宮さま一帶に盛り場が生れた。ところが銀座のみは、舶來品を賣る商店街さいふので、盛り場さなつたところに特異性がある。

盛り場はなぜ出來たか?、それは神や佛が有難いからではない、しさに、人が集るのである。激しい生存競爭から、人間は人間を嫌ふやうだが、人さ人さ揉み合ひたがる。あの華やかなネオン・サインを見たいのではない。人の臭がたまらなく嬉しいのである。

そして、その盛り場で、極手輕な程度の消費をしたい。お金を遣ひたい。それも所謂ナンセンスな金遣ひを享樂したいのである。そこに盛り場に夜店が必要さなり、そお手輕な飲食店――お汁粉屋、おすし屋、おそば屋など――射的、魚つり場などが要求されて來る。

×

「夜店」は近代人にさつて、最もナンセンスな存在である。夜店の中に近代人の生命流が渦をまいてゐる。夜店には高い商品がないつまり手輕な消費の目的が多い。その上少々商品が古ぼけてゐやうさ、瑕があらうさ、

「さんでもないものを掴まされた」

さいつて、憤らずに笑つて濟ませる商品が多い。笑へる悲劇が演ぜられる所に夜店のナンセンスがあるさいへやう。

嘗てある文房具屋が、安ものゝ直ぐ穗先が落ちるやうな毛筆を十本十錢で賣つたところが飛ぶやうに賣れた。二三回も使ふさ、すぐ駄目になる萬年筆もよく賣れたので、僅な數で多く儲けやうさ、上等の商品を持ち出したさころ、

「何だい、夜店にそんな高い品があるかい。そんなベラ棒に高いのなら、デパートか伊東屋へ行くよ」

さいって、何人も相手にしてくれないので、また[illegible]

門に賣出して儲けたさいふ一笑話がある。そこに、夜店の眞實性が表れてゐるさいへやう。

たゞ銀座の夜店の缺點さいへば他の夜店さ違つて、比較的高級な骨董屋がゐることゝ、それさ反對に夜店さして最も本格的なテキ屋さ演歌師のゐないことである。

「エー、デパートなら一枚三四圓もする純毛の襯衣!特に今晩に限り半値の二圓――一圓五十錢にまけておきます」

などゝいつて、だんく値をせり下げてゐる、あのテキ屋のゐないことが、何より淋しい氣がしてならない。

また、安下宿を本據に、ヴアイオリンを提げて、緣日から緣日へさ流浪する演歌師のあの唄ひ嗄れた聲、哀調、悲調のヴアイオリンの音は妙に人の心をひきつけるものである。それが銀座にゐない。

だが、電車通りから、ちよつさ入つた横町や夜店の天幕の裏などに、悄然さ佇んでゐる俥屋の姿は見受ける。亡びく車夫が、少々醉つてゐるブラ客さ見るさ、

「如何です、尖端的にダンサーさは……」

などゝいつて、哀れを乞ふやうな聲をかけるのは、盛り場になくてはならぬ點景の一つであらう。